

公益財団法人日本モンキーセンター 事業方針

この法人は定款第4条の定めるところにしがたい、以下の事業をおこなう。

1. 公益事業

- (1) 霊長類に関する総合的な調査研究
- (2) 霊長類の保護及びその生息地の保全に関わる活動
- (3) 霊長類に関する環境教育並びに社会普及活動
- (4) 霊長類に関する図書及び学術誌の刊行
- (5) 霊長類の標本等の資料の収集・管理及び展示
- (6) 霊長類の福祉に配慮した動物園の設置及び経営
- (7) 霊長類の適切な飼育・展示並びにこれに関する技術的指導及び協力
- (8) 霊長類に関する研究会、講演会の開催
- (9) 霊長類等に関する展示、保全、環境教育及び社会普及活動に関わる人材の育成
- (10) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

2. 収益事業

- (1) 動物園における物品並びに飲食物販事業
- (2) 所有する土地・建物の賃貸事業
- (3) その他動物園等に関連する収益事業

I 公益事業

(1) 調査研究

1. 霊長類に関する調査研究の実施

- (1) 霊長類をはじめとする野生生物の社会行動の研究
- (2) 霊長類をはじめとする野生生物の進化に関する研究
- (3) 霊長類をはじめとする野生生物の形態学的研究
- (4) 霊長類をはじめとする野生生物の生態学的研究
- (5) 霊長類をはじめとする野生生物の遺伝学的研究
- (6) 霊長類をはじめとする野生生物の保全研究
- (7) 霊長類の福祉に配慮した飼育管理に関する研究
- (8) 霊長類の福祉に配慮した獣医療に関する研究
- (9) 霊長類を中心とした教材開発に関する研究
- (10) 霊長類標本の作成・管理に関する研究並びに研究利用
- (11) 霊長類の生体及び標本を活用した連携研究の推進
- (12) 研究会等の積極的参加による情報の交換と収集
- (13) 霊長類稀少種の繁殖に関する研究
- (14) 市民参加による霊長類をはじめとした生物多様性の保全に関わる基礎研究

2. 研究倫理ガイドライン

2016年4月1日より施行
外部委員含む7名からなる研究倫理委員会を設置

3. 外部研究費による研究活動（モンキーセンター受入分）

- (1) 日本学術振興会科学研究費基盤C（2019～2022年度）
代表者：赤見理恵
分担者：高野智
課題名：動物園を活用した保全教育プログラムと教材の開発と評価
- (2) 日本学術振興会科学研究費基盤C（2020～2023年度）
代表者：高野智
分担者：赤見理恵
課題名：新新学習指導要領下における博物館学校連携の継続的・定量的評価の試み
- (3) 日本学術振興会科学研究費基盤B（2019～2022年度）
代表者：朝岡幸彦（東京農工大学）
分担者：赤見理恵
課題名：SDGsのための子ども動物園・水族館教育（環境教育）のガイドラインに関する研究
- (4) 日本学術振興会特別研究員奨励費（2022～2023年度）
外国人特別研究員：Raquel Costa
受入研究者：林美里
課題名：野生動物保全とワンヘルスのためのヒトとゴリラの社会的絆の共創
- (5) 日本学術振興会外国人特別研究員（サマー・プログラム）調査研究費（2022年度）
参加者：Taylor Papstein-Novak (Auburn University)
受入研究者：林美里
課題名：各種霊長類における計数と足し算能力に関する研究

4. 他機関との連携

- (1) 大型類人猿情報ネットワーク (GAIN) との連携
綿貫宏史朗
- (2) 地球規模生物多様性情報機構 (GBIF) およびサイエンス
ミュージアムネットへの標本情報の提供
- (3) 環境省生物多様性センター モニタリングサイト 1000
里地調査の実施 (S118 犬山地域: 日本モンキーセンター
哺乳類調査グループ)
園敷地内 3ヶ所にセンサーカメラを設置
設置期間: 2022年5月15日~8月14日
9月25日~11月12日
撮影された中大型哺乳類 (撮影回数順):
イノシシ、キツネ、タヌキ、ハクビシン、
ニホンザル、アライグマ、アナグマ、イタチ類

5. 研究業績

(1) 論文他

- Akomo-Okoue EF, Inoue E, Atteke C, Nakashima Y, Hongo S, Inoue-Murayama M, Yamagiwa J. (2022) Effect of landscape features on the genetic structure of forest duikers (Cephalophinae) in Moukalaba forest, Gabon. *Mammalian Biology* DOI: 10.1007/s42991-022-00301-y
- Costa RFP, Romano V, Pereira AS, Jordan Hart JDA, MacIntosh A, Hayashi M. (2023) Mountain gorillas benefit from social distancing too: Close proximity from tourists affects gorillas' sociality. *Conservation Science and Practice*. e12859. DOI: 10.1111/csp2.12859.
- Costa R, Takeshita RSC, Tomonaga M, Huffman MA, Kalema-Zikusoka G, Bercovitch F, Hayashi M. (2023) The impact of tourist visits on mountain gorilla behavior in Uganda. *Journal of Ecotourism*. (Online First) DOI: 10.1080/14724049.2023.2176507
- Hayashi M. (2022) Introduction to "Evolutionary origins of human language: Hierarchical complexity and communicative signals". *Primates*. 63: 397-401. DOI: 10.1007/s10329-022-01013-0
- Hayashi M, Takeshita H. (2022) Hierarchical object combination and tool use in the great apes and human children. *Primates*. 63: 429-441. DOI: 10.1007/s10329-022-01003-2
- Rodrigues ED, António J. Santos AJ, Hayashi M, Matsuzawa T, Hobaiter C. (2022) Exploring greetings and leave-takings: communication during arrivals and departures by chimpanzees of the Bossou community, Guinea. *Primates*. 63: 443-461. DOI: 10.1007/s10329-021-00957-z
- Tomonaga M, Imura T. (2023) Going forward: perceptual bias for forward-facing motion in chimpanzees. *Primates*. 64: 47-63. doi: 10.1007/s10329-022-01034-9.
- Tomonaga M, Kawakimi F. (2023) Do chimpanzees see a face on Mars? A search for face pareidolia in chimpanzees. *Animal Cognition*. 26: 885-905. DOI: 10.1007/s10071-022-01739-w

- Tomonaga M, Kurosawa Y, Kawaguchi Y, Takiyama H. (2023) Don't look back on failure: spontaneous uncertainty monitoring in chimpanzees. *Learning & Behavior* (Online First) DOI: 10.3758/s13420-023-00581-5
- 山極壽一. (2022) 遊動時代の循環社会を築く. 巻頭言. *棄物資源循環学会誌*. 33 (6): 415-416.
- 山極壽一. (2023) 新たな地球の環境倫理を創出するために. *地球システム・倫理学会会報*. 17: 15-24.
- 山梨裕美, 徳山奈帆子, 赤見理恵, 乾真子, 土手結月, 石井愛夏, 佐々木侖奈, 松浦有花, 高野華花, 奥村逞人, 池田義知. (2022) スローロリス (*Nycticebus* spp.) を題材とした 小型霊長類の保全と福祉に関する教育教材の開発とその評価: 高校生を対象とした調査. *霊長類研究*. 38: 99-109. DOI: 10.2354/psj.38.019.
- Yasui S, Idani G. (2022) Characteristics of Social Relationships in a Group of Captive Asian Elephants (*Elephas maximus*) in the Elephant Village in Thailand. *Animal Behavior and Cognition*. 9: 89-105. DOI: 10.26451/abc.09.01.08.2022.
- Yoshikawa M, Ogawa H, Koganezawa M, Idani G. (2022) Seasonal food changes and feeding behaviour adaptations of savanna chimpanzees at Nguye in Ugalla, Tanzania. *Primates*. 63: 585-601. DOI: 10.1007/s10329-022-01018-9.
- ##### (2) 書籍
- 有賀哲也, 山極壽一, 九後太一, 平島崇男, 西村いくこ, 國府寛司. (2022) 座談会—京大理学部の知とは何か. In: 京都大学大学院理学研究科 (編). 京大理学部 知の真髄 —玉城嘉十郎の2つの遺産. pp. 327-355.
- 稲村哲也, 山極壽一, 清水展, 阿部健一 (編) レジリエンス人類史. 京都大学学術出版会. 520pp.
- 河村幸子, 赤見理恵. (2023) 「総合的な学習/探求の時間」と動物園 —環境教育の場としての動物園教育—. In: 朝岡幸彦 (編) 動物園と水族館の教育 SDGs・ポストコロナ社会における現在地. pp. 40-49.
- 日本モンキーセンター (作) 阿野隆平 (絵) 綿貫宏史朗, 奥村文彦 (文). (2023) 飼育員がつくったサルのお話 かならず会いたくなっちゃう 56のなかまたち. くもん出版. 143pp.
- 尾池和夫. (2022) 序文. In: 宮澤淑子 (著) 港のある街: 宮澤淑子句文集. 青磁社.
- 尾池和夫. (2022) 地震予知研究. In: 京都大学大学院理学研究科 (編) 京大理学部 知の真髄 —玉城嘉十郎の2つの遺産. pp. 145-163.
- 尾池和夫. (2022) 玉城記念講演会と私の地震研究歴. In: 京都大学大学院理学研究科 (編) 京大理学部 知の真髄 —玉城嘉十郎の2つの遺産. pp. 234-239.
- 山極壽一. (2022) 猿声人語: 進化の途上でこの社会を考える. 青土社. 265pp.
- 山極壽一. (2022) フィールドワークが築いた日本発の霊長類研究. In: 京都大学大学院理学研究科 (編). 京大理学部知の遺産: 玉城嘉十郎の2つの遺産. pp. 116-144.
- 山極壽一. (2022) Phase 1. 危機とレジリエンスのはじまり・かたち Introduction. In: 稲村哲也, 山極壽一, 清水展, 阿部健一 (編) レジリエンス人類史. pp. 27-29.

山極壽一. (2022) ヒトのレジリエンスの起源—霊長類の遺産と警鐘と発展. In: 稲村哲也, 山極壽一, 清水展, 阿部健一 (編) レジリエンス人類史. pp. 30-45.

山極壽一. (2022) 結: ヒトの能力を賢く使って「どこへいくのか」を模索する. In: 稲村哲也, 山極壽一, 清水展, 阿部健一 (編) レジリエンス人類史. pp. 483-491.

山極壽一. (2022) 「社会で生きる力」の身につけ方、いろんな人に聞いてみた「なんで勉強しなきゃいけないの?」. WILL こども知育研究所. pp.38-41.

Yamagiwa J. (2023) Foreword. In: Haba K, Canavero A, Mizobata S (eds) 100 Years of World Wars and Post-War Regional Collaboration : How to Create 'New World Order' ? pp. v-vii.

山極壽一. (2023) ワークーションにおけるコミュニケーションのかたち. In: 頼定誠, 新谷雅徳 (編) ワークーションのはじめかた. 技術評論社. 157-159.

山極壽一. (2023) 「家族」と「共同体」のために生きる。それが人生をもつということ. In: 釈徹宗 (著) 住職さんは聞き上手. pp. 120-135.

山極壽一. (2023) 地球を元気にするには? In: 木谷百花 (編) 旅するモヤモヤ相談室. pp. 168-185.

(3) 連載・記事 (モンキー掲載分を除く)

① 尾池和夫 学長エッセイ (静岡県立大学)
「静岡の大地を見る」
その 11 商用電源の周波数と富士川
2022年4月17日
その 12 清見寺と清見 4月26日
その 13 有度山と三保松原 5月23日
その 14 太田川に沿って 7月12日
その 15 伊豆の松崎町と帯広市の歴史 7月27日
その 16 狩野川の流域 (その1) 9月5日
その 17 狩野川の流域 (その2) 11月1日
その 18 御殿場線をたどる 11月29日
その 19 御殿場線をたどる (続き) 地震活動の状況
12月13日
その 20 南海トラフの巨大地震の歴史
2023年3月13日

② 尾池和夫 「菓園歳時記」(静岡県立大学)
(16) チャノキ (茶の木) と茶 2022年4月
(17) カジイチゴ、クサイチゴ、ヘビイチゴ
2022年5月
(18) ザクロ 2022年6月
(19) ツタンカーメン豆とエンドウ 2022年6月
(20) たばこの花 2022年7月
(21) 枸杞の実 2022年8月
(22) 柿 2022年9月
(23) 柑橘類 2022年11月
(24) 里芋 2023年1月
(25) 梅 2023年2月

③ 尾池和夫 氷室 (氷室俳句会) 「瓢鮎抄」
2022年4月号～2023年12月号に (一六〇) ～
(一七一) を連載

④ 尾池和夫 氷室 (氷室俳句会) 「季語つれづれ番外」
2022年4月号～2023年3月号に (116) ～ (139)
を連載

⑤ 尾池和夫 氷室 (氷室俳句会) 「京都の地球科学」
2022年4月号～2023年3月号に (336) ～ (347)
を連載

⑥ 尾池和夫 京都新聞『天眼』
芸術としての書 2022年4月3日
「なかったこと」考 6月12日
家康の築城と地磁気の偏角 8月29日
南から来た火山の贈りもの 11月13日
徳川家康と大震災 2023年2月5日

⑦ 山極壽一 京都新聞『天眼』
花見の宴と縁づくり 2022年4月17日
落ちこぼれが活躍する時代 6月26日
キーンさんが遺した言葉 9月11日
ラグビー第一蹴の地 11月27日
武力より学術を外交手段に 2023年2月19日

⑧ 山極壽一 朝日新聞『科学季評』
地続きのパラレルワールド: 国を超えた「地球の倫理」を
2022年6月9日
健康は個人だけの責任か—地球の課題 カギは地域に
9月15日
科学と人々の信頼つなぐ—新たなナラティブ「未来可能性」
12月8日
共感力と技術 賢い使い方を—人類はどこで間違えたのか
2023年3月9日

⑨ 山極壽一 京都新聞『現論』
食物が世界をつなぐ 2022年7月19日
現論 強まる「契約」信用回復を 11月8日
核ペンは剣よりも弱し 2023年3月21日

⑩ 山極壽一 BE-PAL『ゴリラ先生・山極壽一の
課外授業 森の声、ゴリラの目』
共感力が暴力をもたらした 42(5): 67-69
言葉は何のためにあるのか 42(6): 69-71
人間にとって道徳とはなにか 42(7): 71-73
遊びは生産性の罠から逃れる処方箋
42(8): 67-69
人類と水の惑星 42(9): 71-73
流域の思想 42(10): 67-69
パラレルワールド 42(11): 71-73
食と性 42(12): 71-73
人間にとって学びとは何か 43(1): 71-73
道具と文化の進化 43(2): 67-69
第二のジャポニズムがやってくる 43(3): 67-69
自然と文化は切り離すことができない 43(4): 67-69

⑪ 山極壽一 Popyf スペシャル連載
『未来を生き抜くための AI 社会の子育て』
第 1 回 家族食事をするの本当の意味とは
2022年6月号: 24-25
第 2 回 今の社会で子育てが大変な理由とは
2022年7月号: 24-25

- 第3回 デジタル社会を生き抜くための「身になる」
道徳とは 2022年8月号:24-25
- 第4回 デジタル教育時代における子育てのヒントとは
2022年9月号:24-25

⑫ 理科教育ニュース

「博物館と小中学校が連携して開拓した学び」

- 第1回 博物館を活用する意義 (高野智) 1177:2-3.
- 第2回 小学校4年生理科「人の体のつくりと運動」
における実践例 (高野智, 田中博子) 1179:2-3.
- 第3回 小学校5年生理科の実践例
(赤見理恵, 佐橋幸彦) 1182:2-3.
- 第4回 小学校6年生理科・総合的な学習の時間の
実践例 (赤見理恵, 柿原龍也) 1185:2-3.
- 第5回 中学校理科における実践例 (高野智, 小室武) 1188:2-3.
- 最終回 博学連携を成功させるコツ (高野智) 1190:2-3.

⑬ 犬山市 広報犬山 「モンキーレポート」

- 第61回 犬山から全国へ!世界へ!モンキー
レポートの新連載スタート
2022年4月15日号 赤見理恵
- 第62回 小学校4年生のモンキーワーク
2022年5月15日号 高野智
- 第63回 動物たちの幸せなくらしを願って
2022年6月15日号 綿貫宏史朗
- 第64回 チンパンジーをたずねて
2022年7月15日号 田中ちぐさ
- 第65回 博物館の学芸員を育てる
2022年8月15日号 赤見理恵
- 第66回 9月24日は「世界ゴリラの日」
2022年9月15日号 阿野隆平
- 第67回 10月最終金曜日は「世界キツネザルの日」
2022年10月15日号 坂口真悟
- 第68回 12月3日は「世界ニホンザルの日」
2022年11月15日号 赤見理恵
- 第69回 たき火にあたるサルの歴史
2022年12月15日号 堀川晴喜
- 第70回 日本モンキーセンターの“じゅうい”
2023年1月15日号 武田康祐
- 第71回 ヤクシマザルの故郷・屋久島へ
2023年2月15日号 土性亮賀
- 第72回 もうすぐグランドオープン『新アフリカ館(仮称)』
2023年3月15日号 星野智紀

⑭ その他記事

- 姜尚中, 山極壽一. (2022) アジアの歴史学ぶ新たな世界
秩序のカギ 集英社創業95周年記念企画『アジア人
物史』記念対談. 朝日新聞朝刊. 2022年12月1日.
- 姜尚中, 山極壽一. (2023) アジアの歴史に学ぶ・新た
な世界秩序のカギ. 朝日新聞「EduA」. 2023年1月号.
- 尾池和夫. (2022) 入学式 新たな希望を胸に 「知識
や柔軟性 身に付けたい」 県立大. 静岡新聞朝刊.
2022年4月9日.

- 尾池和夫. (2022) 本県の自然災害解説 大学・高校生
向け出版 楠城県立大特任准教授ら. 静岡新聞朝刊.
2022年4月12日.
- 尾池和夫. (2022) 火山・地震の仕組み解説 専門家8
人が執筆、伊豆半島題材防災本を発行. 静岡新聞朝
刊. 2022年4月19日.
- 尾池和夫. (2022) 県立大に新学部構想 保育・福祉系
「生涯健康科学部」. 静岡新聞夕刊. 2022年4月21日.
- 尾池和夫. (2022) 春、若者へエール 東海大学長、全
文英語・県立大学長、ドラえものの言葉/静岡県.
朝日新聞東京地方版/静岡. 2022年4月23日.
- 尾池和夫. (2022) 地域フェロー 9人認定 県立大.
静岡新聞朝刊. 2022年5月28日.
- 尾池和夫. (2022) 俳誌創刊1000号前に吟行俳句大会
開く 中区で「みづうみ」-浜松. 静岡新聞朝刊.
2022年6月7日.
- 尾池和夫. (2022) 学生広報大使を創設 県立大、内外
に魅力発信-静岡. 静岡新聞朝刊. 2022年6月16日.
- 尾池和夫. (2022) オピニオン『常夜灯』 「なかったこ
と」考 静岡県立大学長(地震学) 尾池和夫. 高知
新聞朝刊. 2022年6月19日.
- 尾池和夫. (2022) 京都府国際センター 理事長に山極
氏. 京都新聞朝刊. 2022年7月5日.
- 尾池和夫. (2022) まだまだ勝手に関西遺産 京大カ
レー部 個性あいがけ、クセもスパイス【大阪】.
朝日新聞大阪夕刊. 2022年8月25日.
- 尾池和夫. (2022) オピニオン『常夜灯』 家康の築城
と地磁気の偏角 静岡県立大学長(地震学) 尾池
和夫. 高知新聞朝刊. 2022年9月11日.
- 尾池和夫. (2022) 地震と二地域居住を考える 来月12
日 工科大 養老・尾池さんら講演. 高知新聞朝刊.
2022年10月28日.
- 尾池和夫. (2022) 山間に第2の木造住宅を 津波対策
シンポ 養老さんら訴え 香美市. 高知新聞朝刊.
2022年11月13日.
- 尾池和夫. (2022) オピニオン『常夜灯』 南から来た
火山の贈りもの 静岡県立大学長(地震学) 尾池
和夫. 高知新聞朝刊. 2022年11月20日.
- 尾池和夫. (2023) オピニオン『所感雑感』 全国博物
館大会高知大会の意義-高知が確認したこと- 高
知県立高知城歴史博物館館長 全国博物館大会高知
大会実行委員長 渡部淳(高知市). 高知新聞朝刊.
2023年1月10日.
- 尾池和夫. (2023) オピニオン『常夜灯』 徳川家康と
大地震 静岡県立大学長(地震学) 尾池和夫. 高知
新聞朝刊. 2023年2月26日.
- 尾池和夫. (2023) 井川小中学校で生徒発表 食害解決
へプラン提案 識者もオンライン参加-静岡. 静岡
新聞朝刊. 2023年3月10日.
- 尾池和夫. (2023) 俳誌みづうみ1000号記念イベント
PR 役員が浜松市長訪問. 静岡新聞朝刊. 2023年
3月16日.
- 尾池和夫. (2023) コロナ禍経験 貴重な財産 県立大
871人が新たな船出. 静岡新聞朝刊. 2023年3月
18日.
- 尾池和夫. (2023) 県立大学長 季語を解説 俳句結社
「みづうみ」 俳誌創刊1000号記念 中区-浜松.
静岡新聞朝刊. 2023年3月30日.

山極壽一. (2022) 人はなぜ戦うのか. 北日本新聞朝刊. 2022年4月4日.
山極壽一. (2022) 人の安全保障に連帯を. 南日本新聞朝刊他. 2022年5月2日.
山極壽一. (2022) 拠点ない「遊動生活」の時代. 日本経済新聞朝刊. 2022年5月10日.
山極壽一. (2022) 研究者が語るゴリラ体験. 産経新聞夕刊. 2022年5月26日.
山極壽一. (2022) 山崎正和著『社交する人間 ホモ・ソシアピリス』 書架散策. しんぶん赤旗. 2022年6月5日.
山極壽一. (2022) 日本の研究力 危機的状況—大学の裾野を広げ若手循環を 焦点7-10 参院選. 京都新聞朝刊. 2022年6月29日.
山極壽一. (2022) 食物が地球をつなぐ—自然の流れに逆らう市場. 奈良新聞朝刊. 2022年7月31日.
山極壽一. (2022) ゴリラみたいな父. それでも親子. 日本経済新聞朝刊. 2022年8月2日.
山極壽一. (2022) 山極さん環境問題語る—明社協富士宮50周年 高校生と交流も. 静岡新聞朝刊. 2022年10月22日.
山極壽一. (2022) 人類進化の「物語」変えた—ノーベル医学生理学賞にスパンテ・ペーボ氏. 京都新聞朝刊. 2022年10月23日.
山極壽一. (2022) 「酩酊」ひらめく瞬間. マチタビ「木屋町界限」. 読売新聞夕刊. 2022年11月12日.
山極壽一. (2022) 新しい暮らし 文化の再構築必要 国立国会図書館関西館開館20周年シンポ. 京都新聞朝刊. 2022年12月16日.
山極壽一. (2023) ほっと幸せ「自然な時間」. 朝日新聞朝刊. 2023年1月6日.
山極壽一. (2023) 第1部 動物の側から考える 公益財団法人りそなアジア・オセアニア財団第10回環境シンポジウム「ゴリラとゾウから学ぶ! ~生物多様性とビジネスのこれから~」. 産経新聞朝刊. 2023年1月25日.
山極壽一. (2023) 書評『ネアンデルタール』詩情豊かに暮らしぶり描く. 公明新聞. 2023年2月20日.

(4) そのほか執筆

林美里. (2022) チンパンジーから見たヒトの発達と子育て. チャイルド・サイエンス. 24: 2-4.
林美里. (2023) 大型類人猿の発達と子育て. チャイルド・サイエンス. 25: 13.
伊谷原一. (2022) ヒトに最も近い類人猿—ボノボが教えてくれること—. 巻頭インタビュー. 月刊なごや. 480(10):15-21.
松本直子, 山極壽一, 大西秀之, 松木武彦. (2022) 座談会「心とアートの考古学—人類にとってアートとは何か」. 季刊考古学別冊. 36: 127-143.
尾池和夫. (2022) 書評『科学技術史で読み解く人間の地質時代 人新世』(平朝彦). 日経サイエンス. 2022年9月号: 111.
尾池和夫. (2022) 特別寄稿 自然災害と俳句. 月刊フェスタ. 2022年9月号: 2-9.
尾池和夫. (2022) 四季吟詠 選者. 俳句四季. 2022年5月号: 136.
尾池和夫. (2022) ある日の俳人 尾池和夫. 俳句四季. 2022年6月号: 84.

尾池和夫. (2022) 俳人発、俳人着 56 とともに俳句を詠んで30年. NHK 俳句. 2022年7月号: 50-51. (文: 尾池葉子)
尾池和夫. (2022) 巻頭エッセイ特集 夏・天文の季語つれづれ. 俳壇. 2022年8月号: 49-49.
尾池和夫. (2022) 四季吟詠 選者. 俳句四季. 2022年8月号: 136.
尾池和夫. (2022) わが家 結社主宰101人競詠. 俳壇. 2022年9月号: 35.
尾池和夫. (2022) 四季吟詠 選者. 俳句四季. 2022年11月号: 136.
尾池和夫. (2023) 自転 2023年新春巻頭七句. 俳壇. 2023年1月号: 26-27
尾池和夫. (2023) 四季吟詠 選者. 俳句四季. 2022年2月号: 136.
尾池和夫. (2023) 『黛執全句集』特集 一句鑑賞. 俳句. 2023年2月号: 123.
尾池和夫, 溝部千花. (2022) 京の伝統工芸(九) 機料店が支える錦織 龍村光峯の織物美術. 氷室. 2022年9月号.
尾池和夫, 溝部千花. (2022) 京の伝統工芸(一一) 鼻緒と紐の歴史. 氷室. 2022年11月号.
奥和登, 山極壽一. (2022) 人類を進化させた食と農の向かう先. VALUE REPORT 2022. pp. 3-8.
阪倉若菜. (2022) 尾西ミュージアム探訪 23: 世界キツネザルフェスティバル 公益財団法人日本モンキーセンター②. 愛知保険医新聞尾張西部地区ニュース. 147.
阪倉若菜. (2022) 尾西ミュージアム探訪 24: 冬の風物詩 たくき火にあたるサル 公益財団法人日本モンキーセンター③. 愛知保険医新聞尾張西部地区ニュース. 148.
澤田昌人, 山極壽一. (2023) ぼくらは、なにを、どうして心ときめかせたのか. 地球研ニュース. 87: 2-7.
高野智. (2022) 尾西ミュージアム探訪 22: ヒトとは何か—サルを知ることヒトを知る— 公益財団法人日本モンキーセンター①. 愛知県保険医新聞尾張西部地区ニュース. 146.
田中恒清, 山極壽一, 瀬川大秀. (2022) 第二のジャポニズムが平和を誘う. Voice 9月号: 104-113.
山極壽一. (2022) 共助の時代を拓く—信頼に基づく社会の構築. 青淵. 885: 3-4.
山極壽一. (2022) 教育のICT化は人間の本質を見つめ直す機会になる(後編). @ Sing アットシング. 19: 12-14.
山極壽一. (2022) 未来の嗜好品とは何か. 嗜好品文化研究. 6: 120-125.
山極壽一. (2022) コロナ禍から考える人間のつながり—ともに食べる。ともに学ぶ。ともに暮らす。特集 コロナに克つII—つながりを紡ぎ続ける。季刊くらしと協同. 2022春号 No. 39: 3-14.
山極壽一. (2022) ゴリラから学んだこと—コロナ後の社会をどう生きるか. 親子読書地域文庫全国連絡会第23回全国交流会. pp. 29-44.
山極壽一. (2022) ゴリラの民主主義. 世界思想. 29: 18-22.
山極壽一. (2022) いのちをつなぐ共生社会—ゴリラに学ぶ. 第6回コウノトリ未来国際会議報告書. pp. 10-21.
山極壽一. (2022) 茶道は未来の社交を創る. 京都大学医学部茶道部40周年記念誌. p. 6.
山極壽一. (2022) 京都文化力プロジェクトを終えるにあたって. 京都文化力プロジェクト2016-2020事業報告書. p.1.

山極壽一. (2022) コミュニケーションの進化とコロナ後の社会. 国際京都学だより. 第35号: 20-39.

山極壽一. (2022) あらためて「つながり」の意味を問う時代. 第5回徒然草エッセイ大賞入選作品集. pp. 4-6.

山極壽一. (2022) 科学技術の振興と大学の未来. IDE 現代の高等教育. 640: 4-8.

山極壽一. (2022) 人類の進化といのちのつながり. 季刊民俗学. 180: 83-87.

山極壽一. (2022) 月評. 新建築. 2022年5月号: 201.

山極壽一. (2022) コロナ後の社交. アステイオン. 096: 186-189.

山極壽一. (2022) 類人猿の食と性から見る人間社会 菅野稔人と巡る「超・人間学」. サイゾー6・7月号: 78-82.

山極壽一. (2022) 河合先生をしのぶ、河合雅雄先生追悼記念誌「自然に遊ぶ」. p. 16.

山極壽一. (2022) 人間の進化と文化からコロナ後の社会を考える. KPC NEWS. 496: 10-11.

山極壽一. (2022) 「推し」によって広がる現代のアニミズムの世界. 書評『「推し」の科学: プロジェクション・サイエンスとは何か』久保(川合) 南海子著. 青春と読書. 2022年9月号: 48.

山極壽一. (2022) コロナ・パンデミックと未来社会. 特集「ウイズ/ポストコロナ時代の民主主義を考える」. 学術の動向 27(9): 12-16.

山極壽一. (2022) 建築と健康を考える. めいんすとおりいと. 公研. 709: 16-17.

山極壽一. (2022) 踊る人類. スピン. 創刊号: 100-103.

山極壽一. (2022) 「受け止めるのは事実だけ」、「自分で考え、気づく」. 私のNEWSの拾い方第31回(前編). スカパー. 2022年10月号: 212.

山極壽一. (2022) 建築と健康を考える. 公研. 707: 16-17.

山極壽一. (2022) 月評. 新建築. 2022年11月号: 203.

山極壽一. (2022) 人間を豊かにするのは「結果」ではなく「過程」 私のNEWSの拾い方第31回(後編). スカパー. 2022年11月号: 204.

山極壽一. (2022) 聞いてみよう 山極壽一さん(人類学・霊長類学者). 夢を育てる科学の伝記. pp. 40-41.

山極壽一. (2022) ゴリラと歩いて人間の本質を学ぶ 第31回南方熊楠賞受賞記念講演. 熊楠 Works. 60: pp. 4-16.

山極壽一. (2022) 今こそ取り戻したいゴリラの持つ共感力 特集①ゴリラからの警告—インタビュー. いのちの環. 153: 13-25.

山極壽一. (2022) 交流を通じてなわばり意識を希薄にしていくのは、人間の知恵 特集「島に生きる言葉100」. 季刊リトケイ. 40: 14.

山極壽一. (2022) 共助の時代を拓く—信頼に基づく社会の構築. 青淵. 885: 3-4.

山極壽一. (2022) 山極先生、人間の創造性、その正体ってなんですか? 新百姓. 0号: 68-80.

山極壽一. (2022) ゴリラから見た人間の子どもの不思議. 子どものからだと心白書 2022. 154-162.

山極壽一. (2023) 人間に長い老年期があるわけ—ゴリラから学ぶ. 新婦人しんぶん. 2023年1月14日.

山極壽一. (2023) 「第二のジャポニズム」を到来させよ. 特集「世界を変える「日本の知」. Voice. 2023年2月号: 36-45.

山極壽一. (2023) ゴリラから学ぶ、人間社会に必要なコミュニケーション. ダイヤモンド経営者倶楽部 SEMINAR REPORT 2022. pp.10-11.

山極壽一. (2023) 「軍拡競争」の過ちふたたび犯す—学術・教育の力こそ平和戦略. 週刊京都民報. 2023年2月12日号.

山極壽一. (2023) ゴリラに学んだ人間の本質. ACADEMIA. 190: 18-31.

山極壽一. (2023) 京都市動物園と京都大学. いのちかがやく京都市動物園構想 2020 京都市動物園 120周年に寄せて「私と京都市動物園」. 動物園だより. 196: 4-5.

山極壽一. (2023) 思春期とは何か—ゴリラからの提言. 桐光学園大学訪問授業高校生と考える危機の時代の必須教養『21世紀の突破口』. pp. 279-293.

山極壽一, 赤坂憲雄. (2022) 生きることと食べることをめぐる対話. 鶴岡政道大学令和2年度講義記録. pp. 14-27.

山極壽一, 阿部健一. (2022) 靴を脱ぐ 地球環境学と環世界. 所長インタビュー. Humanity & Nature Newsletter. 86: 2-5.

山極壽一, 五木寛之. (2022) 危機の時代ゴリラならどう生きるか 一億総無縁社会にボケない生き方指南. サンデー毎日. 2022年5月22日: 94-97.

山極壽一, 鈴木俊貴. (2022) 動物たちは何をしゃべっているのか? 週刊プレイボーイ. 2022年11月28日号: 54-58.

山極壽一, 太刀川英輔. (2023) 「意味」を超える、身体との共鳴を都市に. Forbes JAPAN. 2023年3月号別冊: 002-007.

6. 作品提供

- (1) 楽曲「マダガスカルはどこですか？」
作詞・作曲: GREEN SABBATH (坂口慎吾、奥村文彦)
編曲: 浅野尚志
歌: リルネード (DearStage Records)
シングル「サルネ!」にカップリングとして収録
発売日: 2022年4月10日

7. 学会参加

- (附属動物園部、学術部のみ。JMCで開催したものを除く)
- (1) ニホンザル研究セミナー
日程: 2022年7月2日~7月3日
方式: オンライン開催 赤見理恵
 - (2) 第76回日本人類学会大会・第38回日本霊長類学会大会連合大会
日程: 2022年9月16日~9月19日
会場: 京都産業会館ホール(京都府京都市)
林美里、高野智、赤見理恵、新宅勇太
 - (3) 第28回日本野生動物医学学会大会
日程: 2022年9月22日~9月24日
会場: つくば国際会議場(茨城県つくば市)
綿貫宏史朗、武田康祐
 - (4) 第24回 SAGA シンポジウム
日程: 2022年11月26日~11月27日
会場: 鹿児島大学、鹿児島市平川動物公園
(鹿児島県鹿児島市)
林美里、赤見理恵、綿貫宏史朗、阿野隆平

- (5) 日本理科教育学会第 67 回東海支部大会
 日程：2022 年 12 月 10 日
 方式：オンライン開催 高野智
- (6) 第 63 回日本動物園水族館教育研究会
 日程：2023 年 1 月 29 日～1 月 30 日
 方式：札幌市円山動物園（北海道札幌市） 赤見理恵
 オンライン
 高野智、江藤彩子、阪倉若菜、荒木謙太
- (7) 第 4 回動物園水族館大学シンポジウム
 日程：2023 年 3 月 24 日～3 月 25 日
 方式：キャンパスプラザ京都（京都府京都市）
 新宅勇太、綿貫宏史朗
 オンライン 赤見理恵、江藤彩子

8. 学会・研究会での発表（プリマーテス研究会を除く）

- 赤見理恵, 江藤彩子, 阪倉若菜, 高野智. (2022) 小動物ふれあい施設 KIDSZOO での教育プログラム改革と施設閉鎖～動物福祉と教育効果の双方から検討して～. 第 63 回日本動物園水族館教育研究会.
- 赤見理恵, 杉山茂, 星野智紀, 伊谷原一. (2022) 特別展「妙高高原のスノーモンキー」の開催とその評価. 第 76 回日本人類学会大会・第 38 回日本霊長類学会大会連合大会.
- 赤見理恵, 辻内祐美, 土性亮賀, 江藤彩子, 新宅勇太, 高野智. (2022) 動物園が主催する生息地研修ツアー. 第 24 回 SAGA シンポジウム.
- 阿野隆平, 星野智紀, 田中ちぐさ, 廣澤麻里, 綿貫宏史朗. (2022) 日本モンキーセンターにおけるマンドリルの群れ管理について. 第 24 回 SAGA シンポジウム.
- 藤森唯, 奥村文彦, 綿貫宏史朗. (2022) 寄附に支えられるバックヤード改善計画～非展示施設の飼育環境向上の取り組み～. エンリッチメント対象 2022 表彰式・受賞者講演会.
- Hayashi M, Yamada T, Umeda Y, Tanabe K, Takamura M, Nakajima K (2022) The study of onomatopoeia from the comparative developmental perspective. Joint Conference on Language Evolution.
- 林美里 (2022) 霊長類の対象操作と道具使用にみる社会学習と世代間伝播. 第 76 回日本人類学会大会・第 38 回日本霊長類学会大会連合大会.
- 林美里 (2022) 比較認知発達の視点から見たヒトの子どもの言語発達研究. 第 18 回日本子ども学会学術集会.
- 林美里 (2022) 霊長類学からの発信を考える. 第 24 回 SAGA シンポジウム.
- 菊池泰弘, 天野英輝, 荻原直道, 中務真人, 中野良彦, 清水大輔, 國松豊, 辻川寛, 高野智, 石田英實. (2022) ナチョラピテクス上位胸椎の変形復元および形態特徴. 第 76 回日本人類学会大会・第 38 回日本霊長類学会大会連合大会.
- 高野智, 赤見理恵. (2022) 新学習指導要領下の義務教育と人類学・霊長類学との接点をさぐる. 第 76 回日本人類学会大会・第 38 回日本霊長類学会大会連合大会.
- 田中千聖, 木下こづえ, 岩下明生, 木滑黄平, 伊谷原一. (2022) 糞中ストレスホルモン分析と行動解析によるツシヤママネコのストレス評価. 第 28 回野生動物医学学会大会.

- 山梨裕美, 一方井祐子, 徳山奈帆子, 赤見理恵, 本庄萌. (2022) 動物園来園者の生餌に対する許容度：対象種と回答者の年齢による違い. 第 76 回日本人類学会大会・第 38 回日本霊長類学会大会連合大会.

9. 講演ほか

- 林美里. (2023) 霊長類学から考える 人間とは何か？. リベラルアーツ for Business (オンライン)
- 小長谷有紀, 山極壽一. (2022) モンゴルと SDGs. 第 523 回国立民族学博物館友の会講演会. (大阪府大阪市)
- 尾池和夫. (2022) 南海トラフの地震と富士山の噴火. 杭泊柏樹碑林の記念第一回. (静岡県森町)
- 尾池和夫. (2022) 地震を知って震災に備える～2038 年南海トラフの巨大地震～. 内外情勢調査会志太支部. (静岡県焼津市)
- 尾池和夫. (2022) 日本列島の自然を学ぶ. 京都府校長会. (京都府京都市)
- 尾池和夫. (2022) 日本列島の自然と変動帯の文化. 第 70 回全国博物館大会(高知大会)基調講演. (高知県高知市)
- 尾池和夫. (2022) 地震を知って震災に備える～京都の活断層と地震～. 一般社団法人日本損害保険協会近畿支部. (オンライン)
- 尾池和夫. (2022) 美しい日本列島は、地震と一緒に生きてきた. 日本に健全な森をつくり直す委員会 "地震" シンポジウム 2022. (高知県香美市)
- 尾池和夫. (2023) 静岡の大地と水. しずおか型ガストロノミーツーリズム研究会. (静岡県浜松市)
- 尾池和夫. (2023) 静岡の大地を詠む ～見る、食べる、学ぶをもとに～. 「みづうみ」千号記念講演会. (静岡県浜松市)
- 尾池和夫. (2023) 静岡の地震と火山～大地のしくみを学ぶ～. 新産業開発振興機構テーマ探索研究会. (静岡県静岡市)
- 尾池和夫. (2023) 地球の歴史. 京都芸術大学 2022 年度総合教育コース天文学・地文学・人文学への階段. (京都府京都市)
- 高野智. (2023) 霊長類学入門 ～サルを知ることはヒトを知ること～. 第 41 回耳の日記念聴覚障害者と県民のつどい. (愛知県江南市)
- 田中恒清, 瀬川大秀, 山極壽一. (2022) 鼎談「いま考える『平和』への願いと祈り」. PHP 研究所文化事業部. (京都府京都市)
- 堤未果, 山極壽一. (2023) 対談「食が危ない！～ゴリラの知恵が日本を救う～」. 大垣書店京都本店トークイベント. (京都府京都市)
- 綿貫宏史朗. (2023) 動物園が受け入れる外部研究 博物館であり動物園であり研究施設でもあるモンキーセンターの事例. 第 4 回動物園水族館大学シンポジウム. (京都府京都市)
- 山極壽一. (2022) 人類はどこで間違ったか—進化と文化から地球環境問題を考える. 京都クオリア経営者塾 4 月例会講演. (京都府京都市)
- 山極壽一. (2022) 野生をのぞく窓. 並木グループ 4 月例会. (京都府京都市)
- 山極壽一. (2022) 人類の進化と文化からコロナ後の社会を考える. 関西生産性大会講演. (大阪府大阪市)
- 山極壽一. (2022) コロナ後の地方の時代を目指して. 大分県経済同友会総会基調講演. (大分県大分市)

- 山極壽一. (2022) 進化と文化のミスマッチを考える—共感から暴力へ. BEYOND ミレニア 2022 基調講演. (京都府京都市)
- 山極壽一. (2022) ゴリラと歩いて人間の本質を学ぶ. 第 31 回南方熊楠賞受賞記念講演. (和歌山県田辺市)
- 山極壽一. (2022) ぼくはこうしてゴリラになった. 子どもの本の森中之島特別講演. (大阪府大阪市)
- 山極壽一. (2022) 科学技術と大学教育. 広島大学特別講演「世界に羽ばたく、教養の力」. (広島県東広島市)
- 山極壽一. (2022) コミュニケーションの進化と学ぶ意味—ゴリラから見た人間の不思議. 開明中・高等学校特別講義. (大阪府大阪市)
- 山極壽一. (2022) 共感力の再考—コロナ後の時代へ向けて. 日本ユング心理学会第 10 回大会. (大阪府大阪市)
- 山極壽一. (2022) コロナ禍を経て我々の暮らしはどこへ向かうのか. HOUSING TRIBUNE CONFERENCE 2022. (東京都千代田区)
- 山極壽一. (2022) 人間にとって学びとは何か. 桜蔭学園特別講演. (東京都文京区)
- 山極壽一. (2022) 共感能力の進化とコロナ後の社会. 犬山市総合大学敬道館入学式記念講演. (愛知県犬山市)
- 山極壽一. (2022) フィールドワークと月経をめぐる対話コメント. 日本熱帯生態学会第 32 回年次大会データベース推進サテライト企画. (愛知県名古屋市中)
- 山極壽一. (2022) 共感社会の進化と美的表現の起源. 京都市立芸術大学 2022 年度総合基礎実技計画プレイパーク特別講義. (京都府京都市)
- Yamagiwa J. (2022) Spotlights on Sustainability & Innovation from Asia: Towards a Sustainable Future. Closing plenary of Asia Spotlight Event. Sustainability Research and Innovation Congress 2022 (SRI2022). (Online)
- 山極壽一. (2022) ゴリラに学んだチャレンジする心. 東進ハイスクール「トップリーダーと学ぶワークショップ」. (東京都、オンライン配信)
- 山極壽一. (2022) 人新世の脱構築—霊長類学の視点から. 日仏会館春秋講座「人新世の脱構築—フィリップ・デスコラと山極壽一の対話」. (オンライン)
- 山極壽一. (2022) 組織と人間社会に必要なコミュニケーション—コロナ後の時代に向けてゴリラから学ぶ—. 社長塾. (京都府京都市)
- 山極壽一. (2022) 人類の進化と文化のミスマッチ. 京都大学エグゼクティブ・リーダーシップ・プログラム. (京都府京都市)
- 山極壽一. (2022) 京都大学ラグビー部創立百周年記念シンポジウム「学生スポーツとしてのラグビーが目指す将来像」パネリスト. (京都府京都市)
- 山極壽一. (2022) 人間にとって文化とは何か—ゴリラから見た人間社会. 城陽市文化芸術協会設立 30 周年市民文化祭 60 回記念事業、市政施行 50 周年記念 令和 4 年度城陽市民大学特設講座. (京都府城陽市)
- 山極壽一. (2022) G-1 ~ U-18 が未来を変える研究発表 SHOW ~ 審査員. (東京都千代田区)
- 山極壽一. (2022) ゴリラから見たこれからの教育. 松戸市教育委員会講演. (千葉県松戸市)
- 山極壽一. (2022) 今西錦司の思想に西田哲学を見る. 西田哲学会第 20 回年次大会講演. (東京都目黒区)
- 山極壽一. (2022) これからの子どもの未来を考える. ハレノヒ保育園講演会. (神奈川県泰野市)
- 山極壽一. (2022) 人類はどこで間違ったのか—ゴリラの目で見たコロナ後の社会. 第 66 回大原孫三郎・総一郎記念講演会. (岡山県倉敷市)
- 山極壽一. (2022) 進化と文化のミスマッチから人間の幸福を考える. ムーンショット目標 9 公開シンポジウム—科学技術を通じたこころの安らぎと活力に満ちた社会の実現を目指して—基調講演. (オンライン)
- 山極壽一. (2022) キーンさんが愛した日本の文化と情緒. 2022 年度ドナルド・キーン生誕 100 年記念街かど古典カフェ「キーンさんが愛した京都」. (京都府京都市)
- 山極壽一. (2022) ゴリラと歩いて学ぶ自然の不思議. 花博記念協会コスモスセミナー出張授業. (大阪府大阪市)
- 山極壽一. (2022) ゴリラに学ぶ私たちの家族の未来. 日本家族療法学会第 39 回淡路島大会特別講演. (兵庫県淡路市)
- 山極壽一. (2022) パラレルワールドとしての地球. 地球オープンハウス講演. (京都府京都市)
- 山極壽一. (2022) 挨拶とディスカッション. カーボンニュートラル達成に貢献する大学等コアリション第 2 回全体シンポジウム. (オンライン)
- 山極壽一. (2022) コミュニケーションの進化と科学する心—ゴリラから見た人間の不思議. 京都府立桃山高校特別講義. (京都府京都市)
- 山極壽一. (2022) 人類はどこで間違ったのか—共感社会の由来と行方. 日本 LD 学会基調講演 (録画)
- 山極壽一. (2022) ゴリラから教わった大切な事—ゴリラ研究から考える、日本の教育の未来. ゴリラと暮らした山極壽一氏講演会. (大阪府大阪市)
- 山極壽一. (2022) なぜ、人は満たされないのか—現代社会にもとめられていること. 宗祖親鸞聖人御誕生 850 年立教開宗 800 年慶讃法要お待ち受け大会講演. (新潟県魚津市)
- 山極壽一. (2022) 人類の進化からコロナ後の社会に未来可能性を考える. 石川県羽咋高等学校創立 100 周年記念講演. (石川県羽咋市)
- 山極壽一. (2022) パネリスト. 世界遺産下鴨神社・糺の森文化講座「鎮守の森でラグビーを語ろう」. (京都府京都市)
- 山極壽一. (2022) コメント. 日独文化研究所第 30 回公開シンポジウム文明シリーズ第 4 回「文明論之機略縦横」. (京都府京都市)
- 山極壽一. (2022) 人間にとって幸せとは何か. 浄土宗開宗 850 年記念法然フォーラム「これからの幸せ」基調講演. (京都府京都市)
- 山極壽一. (2022) 人間はどこで間違ったのか—人類の進化と歴史からかんがえる. 経団連フォーラム東富士の会第 14 回チャリティー講演会. (東京都千代田区)
- 山極壽一. (2022) 講師. 全国幼児教育 ESD フォーラム 2021 フォローアップ SDGs ラウンドテーブル「野生に学ぶ人間の進化と社会」ダイアログ編. (静岡県静岡市)
- 山極壽一. (2022) 地球環境問題を地域から考えるために—ゴリラからの提言. 明るい社会づくり運動富士宮協議会設立 50 周年記念式典特別講演. (静岡県富士宮市)
- 山極壽一. (2022) 地球環境問題の根幹は人間の文化の問題. 五ヶ瀬中等教育学校特別講義. (京都府京都市)
- 山極壽一. (2022) 科学と文化のマッチングによるカーボンニュートラル. 関西大学カーボンニュートラル研究センター設立シンポジウム基調講演. (オンライン)

- 山極壽一. (2022) ゴリラから見た人間の非常識. 高松高校変人講座. (香川県高松市)
- 山極壽一. (2022) ゴリラから見た人間の非常識. 丸亀高校変人講座. (香川県丸亀市)
- Yamagiwa J. (2022) Now is the time to reconstruct the world view. 2022 KLASICA-RIHN-IASS International Symposium “Narrative Insights for Emerging Cultures of Sustainability”, Keynote Speech. (Potsdam, Germany)
- Yamagiwa J. (2022) Panelist. 2022 KLASICA-RIHN-IASS International Symposium “Narrative Insights for Emerging Cultures of Sustainability”, Keynote Speech. (Potsdam, Germany)
- 山極壽一. (2022) 未曾有の地球危機に今考えるべきこと. 京都府立医科大学創立 150 周年記念講演. (京都府京都市)
- 山極壽一. (2022) 人間はどこで間違ったのか? 共感社会の由来と未来. 京都大学有信会令和 4 年度近畿支部総会講演. (大阪府大阪市)
- 山極壽一. (2022) なぜ人間は殺し合うのか? NPO 法人知的人材ネットワーク・あいんしゅたいん シリーズ「湯川博士の贈り物」. (オンライン)
- 山極壽一. (2022) 動物に対する誤解から人間社会の本質を考える. 日本学術会議主催シンポジウム「人類学者と語る人間の「ちがひ」と差別」. (東京都千代田区)
- 山極壽一. (2022) 人新世の脱構築—霊長類の社会から人類社会の進化と文化を考える. 日仏交流イベント「ヒトと動物の共生を考える」. (京都府京都市)
- 山極壽一. (2022) Evolution, Cultural Mismatch and Future Society. 日仏クラブ第 31 回京都総会第 3 セッション「Sustainability」Keynote Speech. (京都府京都市)
- 山極壽一. (2022) サルと歩いた屋久島をゴリラから見つめる. 屋久島学ソサエティ第 10 回大会テーマセッション「屋久島学ソサエティのこれまでとこれから」. (鹿児島県屋久島町)
- 山極壽一. (2022) 京都の文化が世界に誇ること. 東京で活躍する京都人の集い. (東京都港区)
- 山極壽一. (2022) 進化と文明のミスマッチから見たコロナ後の社会. 大阪革新懇「講演と文化のつどい」講演. (大阪府大阪市)
- 山極壽一. (2022) ゴリラから見た人間社会—人類はどう生きるべきか. 共同通信社きさらぎ会 (大阪) 講演. (大阪府大阪市)
- 山極壽一. (2022) コミュニケーションの進化と図書館の未来. 国立国会図書館関西館開館 20 周年記念講演. (オンライン)
- 山極壽一. (2022) ゴリラの社会は生物多様性によってどう変動するか? 公益財団法人りそなアジア・オセアニア財団第 10 回環境シンポジウム「ゴリラとゾウから学ぶ! ~生物多様性とビジネスのこれから~」基調講演とパネル討論. (大阪府大阪市)
- 山極壽一. (2022) 人間にとって集まることの意味. 京都大学同窓会若手会「進化の足跡から考えるこれからの社会」講演とパネル討論. (東京都千代田区)
- 山極壽一. (2022) 人の心をつなぐ食事という文化. 愛知県食育協会講演. (オンライン)
- 山極壽一. (2022) コミュニケーションの進化—自由・差別・人権. 京都精華大学特別講義「自由論」. (オンライン)
- 山極壽一. (2022) 人間社会の本質とコロナ後の社会. 三重大学プレミアムトーク. (三重県津市)
- 山極壽一. (2022) データサイエンスの可能性と不可能性. IU-REAL 連携企画 2022 年度情報・システム研究機構シンポジウム「多様な知の創出を加速するデータサイエンス」. (オンライン)
- 山極壽一. (2022) 多文化共生の視点から見た京都の国際化. 京都府国際センター移転記念講演会基調講演. (オンライン)
- 山極壽一. (2023) コミュニケーションの進化とコロナ後の社会. 津田塾大学公開講座「総合 2022」自画像を描く~“枠”から気づく自分の世界~. (東京都小平市)
- 山極壽一. (2023) パネリスト. 国際ボランティア学会・総合地球環境学研究所連携企画 共話シリーズ 2022: 難民 第 5 回セミナー「レジリエンス・共感」. (京都府京都市)
- 山極壽一. (2023) コロナ後の社会: 人類のレジリエンスの再考. 新春経営セミナー「未来へつなぐ 怯むな 必ず道はある」. (東京都港区)
- 山極壽一. (2023) 人類の進化から見た、これからの人間社会の在り方. 東京海上研究所創立 30 周年記念オンラインセミナー. (オンライン)
- 山極壽一. (2023) 生物多様性の保全と野生動物の管理. 東京農工大学附属野生動物管理教育センター設立シンポジウム「野生動物管理教育の展開と今後の発展へ向けて」. (東京都府中市)
- 山極壽一. (2023) 総合討論パネリスト「野生動物管理教育の発展に期待すること」. 東京農工大学附属野生動物管理教育センター設立シンポジウム「野生動物管理教育の展開と今後の発展へ向けて」. (東京都府中市)
- 山極壽一. (2023) ゴリラに学んだ人間の本質. 令和 4 年度アカデミア賞受賞者記念講演. (京都府京都市)
- 山極壽一. (2023) 人間的な成長とは何か~ゴリラから見た人間の子どもの不思議. 第 40 回横浜学童保育研究集会. (オンライン)
- 山極壽一. (2023) 生物多様性が私たちにもたらしてくれる希望. 自然と人間の共生フォーラム~戻りが育む生物多様性・生命のゆりかご~ 基調講演. (オンライン)
- 山極壽一. (2023) 総合地球学とはどんな学問か. 日経 SDGs フェス大阪関西「変革から共創へ 2025 年大阪・関西万博へ向けて」DAY2 学びのちから. (オンライン)
- 山極壽一. (2023) 科学から私たちはどんな気づきを得るのか. 令和 4 年度滋賀県膳所高等学校生徒課題研究発表会・SSH 事業報告会基調講演. (滋賀県大津市)
- 山極壽一. (2023) ゴリラに学んだ自然の仕組みと人類の進化. 兵庫県立大学自然・環境科学研究所開設 30 周年記念シンポジウム基調講演. (兵庫県神戸市)
- 山極壽一. (2023) 自然から学び、自然を楽しみ、そして自然と共生する~自然・環境科学研究所のこれまでとこれから~ 兵庫県立大学自然・環境科学研究所開設 30 周年記念シンポジウムパネリスト. (兵庫県神戸市)
- 山極壽一. (2023) 人類はどこで間違えたのか? ~人類の進化と歴史から学ぶ~. 第 3 回人文知応援大会「レジリエントな未来に向けて」基調講演. (東京都千代田区)
- 山極壽一. (2023) 第 3 回人文知応援大会「レジリエントな未来に向けて」パネリスト. (東京都千代田区)
- 山極壽一. (2023) 新しい共生社会、共生時代を考える~ゴリラから学ぶ~. 静岡駿府ライオンズクラブ CN40 周年記念式典記念講演. (静岡県静岡市)

Yamagiwa J. (2023) Transdisciplinary research on environmental issues. Seventh International Symposium on Arctic Research (ISAR-7) Keynote Speech. (Tokyo)

山極壽一. (2023) 人間というサルはなぜ自然を破壊し続けるのか? WWF 生物多様性スクール第 1 回「生物多様性と人類」基調講演. (オンライン)

山極壽一. (2023) WWF 生物多様性スクール第 1 回「生物多様性と人類」パネリスト. (オンライン)

山極壽一. (2023) 河合俊雄教授最終講義「発達障害の心理療法と物語の縁起」ディスカッサント. (京都府京都市)

山極壽一. (2023) 地球環境と人間の文化—われわれはどこから来て、どこへ行くのか. 北九州市環境ミュージアム 20 周年記念フォーラム基調講演. (福岡県北九州市)

山極壽一. (2023) 環境・未来・人—北九州の環境の未来、環境ミュージアムの未来. 北九州市環境ミュージアム 20 周年記念フォーラムパネリスト. (福岡県北九州市)

山極壽一, イルカ. (2022) 自然環境とは、いかに守り、活かすかを考える. 沖縄・奄美世界自然遺産登録記念シンポジウム. (東京都中央区)

山極壽一, 北沢利文. (2023) 人類学ビジネスの視点から未来社会をデザインする. 東京海上研究所創立 30 周年記念オンラインセミナー. (オンライン)

山極壽一, 関野吉晴, 高橋和久, 堤伸輔. (2023) わたしたちの社会について考える. 洛南高校 eN 講座. (京都府京都市)

山極壽一, 中野信子. (2022) ホモ・サピエンスはいかに戦争を回避してきたか. Tokyo FM 特別対談. (東京都千代田区)

10. 連携研究の受入

2022001

川合伸幸 (名古屋大学)、田中美希子 (京都大学)

霊長類の行動伝播についての研究

本研究では、フサオマキザルを対象として、「同所に多個体が存在することが問題解決行動をうみだし、集団内の個体が互いに学ぶ」という仮説を実験的に検証することを目的とした。

今年度は、フサオマキザルのオス群およびメス・オス群において実験を行うための下準備と実施の検討を主に行なった。各群の個体識別を行いながら、観察者へのフサオマキザルの馴化を行った。並行して、実験時に使用する木製の箱を試作し、放飼場内に設置してフサオマキザルたちの反応の観察、および馴致を行なった。実験用の箱が設置された状態で個体関係を調査するため行動観察を行ったところ、明確な直線的順位は見られなかったが、上位に属する個体・中間的な個体・下位の個体といった傾向、ブランコの漕ぎ方の工夫や、個体によるクルミの割り方の違いなどが観察された。

今後、食物を入れた実験装置から食物を取り出せるか、またその行動が多個体に広まるか実験する予定である。

2022002

山口庄太郎、結城健介 (天野エンザイム株式会社)

霊長類からの微生物分離と酵素供給源としての可能性評価に関する研究

日本モンキーセンターが飼育する葉食性コロブス類の糞便から各種乳酸菌用培地 (MRS、BL、TOS、GAM 培地) を用いて嫌気条件・37℃で、また一般的な細菌用培地 (SCD 培地) を用いて好気条件・37℃で菌を分離した。最終的にコロブス類 5 種 9 頭から得られた 12 サンプルの糞便から腸内細菌 93 株を分離して酵素探索対象として保存した。これら 93 の分離菌株について、液体培地を用いた培養を実施し、その培養液中の新規酵素を探索した。2022 年度は新たに 1 種の酵素の探索を実施した。一次スクリーニングにより 4 株の活性を示す株を見出したので、引き続き解析を継続してゆく。また今後も上記 93 株の分離菌株を用いて新規酵素の探索を継続してゆく。

2022003

村松明穂 (京都大学)

飼育下霊長類におけるポータブル式タッチモニタ装置を用いたオープンラボ型比較認知研究

アジア館のマカカ属 (アカゲ・ニホン・ミナミブタオ・チベット・ボンネット・トク) を対象に、ポータブル式タッチモニタ装置を用いた研究を実施した。新型コロナウイルス感染症の流行により、来園者に対するポスター・口頭での解説を取り止め、ウェブサイト・SNS を利用した情報発信を試みた。タッチモニタ課題は、1) 画面上の大きなドットをさわる、2) 小さなドット、3) 複数のドット、4) アラビア数字を順に、という内容で進めた。個体の死亡・転出・入替え・復帰・関係性の変化等を踏まえ、全グループが再び「画面をタッチしたら食物報酬」を学習中である。また、実験場面での社会性を比較した。限られた個体が装置を独占する種から、複数個体が比較的平等に接近する種まで、野生下での特徴を、動物園の飼育グループでも容易に再現・展示できることが分かった。さらに、グループ内の順位変動が、実験場面での行動にも明確に反映されることが明らかになった。

2022004

北山遼 (北海道大学)

オナガザル科ゲエノン類の混群形成における分子メカニズムの解明

ウガンダ共和国カリンズ森林に生息するアカオザルとブルーモンキーの混群の成立要因を、集団遺伝学の立場から解明することを目的として研究を実施した。野外ゲエノン類サンプルとして、カリンズのアカオザル・ブルーモンキー・ロエストモンキー (混群をつくらぬゲエノン類) のエクソーム (全タンパクコード領域) 解析を実施した (非侵襲的に採取された糞便サンプルを用いた)。比較サンプルとして、日本モンキーセンター所蔵のアカオザルとブルーモンキーの近縁種・4 種のサンプルについて、死亡個体の組織サンプルを用いた全ゲノム解析をおこなった。これらについて集団遺伝学的な解析をおこなったところ、混群形成と相関のあるいくつかの遺伝子座を同定した。またその中から、混群を形成するカリンズのアカオザル集団からブルー

モンキー集団への遺伝子浸透が確認された。種間でのこのような遺伝子の共有が混群という共存機構を支えているのかもしれない。

2022005

萩原直道（東京大学）

クモザル下肢筋骨格系の二足歩行能力に関する解剖学的特徴と力学特性に関する研究

霊長類の二足歩行運動を分析し、そこからヒトの二足歩行運動の特徴を対比的に明らかにすることは、ヒトの直立二足歩行の起源と進化を考える上で重要な示唆を提供する。そのため、霊長類の二足歩行運動の分析的研究が世界各地で行われており、クモザルの二足歩行はニホンザルのそれよりも、ヒトに相対的に類似することが知られている。クモザルの二足歩行が、ヒトに比較的類似するのであれば、クモザルの下肢筋骨格系の形態・力学特性は、ニホンザルのそれと異なっていると予想される。本研究では、クモザル下肢筋骨格系の未固定標本を解剖し、歩行に関わる下肢筋骨格系の構造的特徴とその力学特性をニホンザルとの対比を通して明らかにし、ヒトの直立二足歩行の進化に必要な下肢筋骨格系の構造改変を解明することを目的とした。今年度、関節力学特性の計測準備を行い、次年度、本格的に着手できる予定である。

2022006

牛田一成、土田さやか、橋戸南美、伊藤響生（中部大学）

ニホンザルの腸内細菌研究

モンキーバレイで飼育されているニホンザルの新鮮糞を採取し、嫌気性検体希釈液に懸濁した後、青酸配糖体アミグダリン加嫌気性PY培地で培養し、シアンガス発生量の測定および培地中遊離シアン量の測定を行った。また、アミグダリン加PY培地での集積培養を行った後、寒天培地に塗抹嫌気性条件下で培養後、細菌の単離および16s rRNA遺伝子解析による菌種の特定制を行った。これらの結果を屋久島山頂部に生息する野生ニホンザル由来試料と比較したところ、両者の青酸ガス発生量および培地中シアン発生量に差異が見られ、アミグダリン分解能力に違いがあることが示唆された。また、野生・飼育どちらの糞便由来試料からも分離された*Lactobacillus reuteri* および *Lactobacillus mucosae* についての糖分解能力を比較したところ、トレハロースなどの糖の分解性に違いが見られた。今後、より詳細に分析し、飼育、野生個体間で腸内細菌能力の違いについての検討を行う。

2022007

松田一希（中部大学）、香田啓貴（東京大学）、豊田有（中部大学）、國枝匠（中部大学）

アヌビスヒヒの群れ形成機構の研究

霊長類の直線的な進行順序の規則性を解明することで、群れの社会機構を解明するための取り組みを、アヌビスヒヒを対象に検証した(2022年11月~2023年2月)。ヒヒは、毎朝屋内のケージから直線的な通路を通して屋外へと放たれるため、ヒヒが放たれるゲートを正面から撮影できる位置に、ビデオカメラを設置し、出てくる全個体を撮影した。現在、撮影動画から屋外に出てくる個体を識別し、その順列を社会ネットワーク生成アルゴリズム (Koda et al. 2020,

PlosOne; Toyoda et al. 2023, Primates) にて分析中である。また本種は、屋外展示場の外縁を反時計回りに個体が秩序だって移動をすることが日常的に観察されている。ヒヒの群れにおける調節された反時計回りの動きが、どのようなメカニズムで生じているかを検討するため、1日2度の給餌の際に、この行動を動画記録し、現在、数理的な解析を進めている。

2022008

中村千晶、添野雄一、田谷雄二、佐藤かおり、工藤朝雄、川本沙也華、埴太宥（日本歯科大学）

ボルネオオランウータン (*Pongo pygmaeus*) の比較病理学的組織解析

動物園などの飼育管理下にある霊長類個体では、ヒトの生活習慣病に類似した症候を示す例が知られている。ヒトでは、口腔衛生状態の悪化が悪性病変の発生に関連することが示唆されており、特に扁平上皮癌の前駆状態として、上皮層形態や細胞表現型の変化が重要となっている。そこで本研究では、細胞表現型を精査する免疫染色の手法がオランウータン組織に適用可能かどうかを検証するため、ヒトの病理診断に用いられる抗体を利用して免疫染色を行った。10種類以上の抗体で免疫染色を実施した結果、オランウータン組織でもヒト組織に類似した反応を得ることができた。オランウータンの口腔粘膜組織では、ヒト扁平上皮組織の前癌状態のマーカーとなるサイトケラチン分子 (CK13, CK17) についても発現・局在を確認でき、上皮組織の表現型解析に有用であることが確かめられた。

2022009

中村千晶、佐藤巖、表原拓也、永堀健太、河田晋一、矢倉富子、李忠連、伊藤正裕（東京医科大学）

ボルネオオランウータン (*Pongo pygmaeus*) の比較解剖学的解析

ヒトの喉頭は発声に適した特殊な構造を持っているが、それに対してヒト以外の霊長類の喉頭の構造は必ずしも同じではない。ボルネオオランウータン (*Pongo pygmaeus*) のフランジオスはロングコールという特殊な音声を出すことができる。本研究ではフランジオスであるフトシの喉頭に着目し、喉頭の形態からロングコールの発声のメカニズムを調べ、ヒトとの比較を検討している。今回、喉頭の筋肉に着目してヒトの喉頭と比較したところ、フトシの喉頭は筋線維の走行や付着部位が異なっていることが示された。このため、今後は筋線維の持つ筋タイプ構成を調べることで、喉頭の生理的機能の特異性を知る。具体的には、切片標本を作成して筋線維構成から喉頭のメカニズムを考察する予定である。将来的には、ロングコールを発声しないアンフランジオス、メス、他の霊長類の喉頭の構造について比較検討し、筋線維構成から発声のメカニズムを明らかにしたい。

2022010

西村剛（京都大学）、中村冠太（京都大学）、佐藤公則（久留米大学）

霊長類における舌骨喉頭の器官形態に関する研究

日本モンキーセンターで死亡したテナガザル2体から摘出した喉頭の新鮮試料を用いて、それに気流を与えて声帯

振動を起こす吹鳴実験を行い、その振動特性を、ハイスピードカメラや声門電図 (EGG) 等により解析した。テナガザルの発声は、声帯振動を主として、声帯膜の振動はほとんど影響を与えていないことを示した。また、テナガザルのソングでは、ヒトでいうところの地声の振動モードからファルセットのものにシフトするが、それは、ヒト同様に、もっぱら声帯形状の変化により、周波数構成を変化させることで達成されることを示した。本研究の結果は、テナガザルでは、ヒトのように声帯膜を喪失することではなく、その解剖学的位置を変えることによって、安定的かつ可変的な発声を実現する進化を遂げたことを示唆した。

2022011

Taylor Papstein-Novak (Auburn University)
Counting and Adding Ability Across Primates

This summer we used the relative numbers task, one of the two quantities tasks, from the Primate Cognition Test Battery to look at cognition across a wide range of primate species. This was the first study to look at all four major primate groups using a component of the PCTB and was the first to use New World Monkeys (NWM). We assayed chimpanzees, gibbons, mandrills, Japanese macaques, common marmosets, and ring-tailed lemurs. Mandrills and gibbons had never been tested before. Two plates were set with varying amounts of same-size food while hidden from participants. Then participants viewed the plates for 5 seconds before being allowed to make a selection. A participant choosing the plate with the larger quantity was scored as correct. Participants were tested with 16 treatments and 4 controls to account for any selection bias. We found no significant difference between species ($p=0.14$) which matches with previous studies. The percentage of correct answers also lines up with previous studies' species averages ranging from 60-80% correct responses. This indicates that the cognitive ability to distinguish between different amounts is not variable between different primate species.

2022012

松田一希 (中部大学)、香田啓貴 (東京大学)、豊田有 (中部大学)、國枝匠 (中部大学)
動物園におけるコロブス亜科とキツネザル上科の生存率に関する研究

キツネザル上科の中でも、ワオキツネザルは世界中の動物園で飼育されており、その繁殖、生存における問題はあまり指摘されていない。一方で、コロブス亜科のサルは、前胃発酵消化という特殊な消化器官を有し、また葉食傾向が強いという特性から、歴史的には飼育が困難だと考えられてきた。対照的なこれら二つの分類群の寿命／生存率を比較検討することで、これまでの動物園における飼育環境の改善状況や課題を明らかにすることが、本研究の目的である。そこで、JMC 開園当初から現在までのコロブス亜科とキツネザル上科の誕生日と死亡日、またそれら各個体情報 (体重や病歴等) に関する資料を収集した。これに加え、Species360 データベースにある世界中の動物園のデータも加え、現在、比較分析を実施中である。

2022013 欠番

2022014

Ivo Jacobs, Kata Horváth (Lund University)
ヤクシマザルのたき火利用に関する研究

ヒト以外の動物における火に対する行動を調べるため、「たき火にあたるサル」として知られる日本モンキーセンターのヤクシマザルが火周辺でおこなう行動を調べることを目的とした。モンキーバレイの約 140 頭のヤクシマザルを対象に、Ivo Jacobs 氏と Kata Horváth 氏が、たき火あり／コントロール (たき火なし) の計 22 日の 10:00 ~ 15:30 に、展望デッキからビデオとサーモカメラによる行動記録をおこなった。前年度までの予備観察の結果、想定された 14 の行動カテゴリ中 12 行動が観察されており、さらに火中の木材の上に腰掛けたり、火のついた枝を取り出したりする行動も観察された。サーモカメラの導入により、特に火の周辺における顔の温度上昇や、熱せられたイモを池の水につけることで冷却される様子も記録できた。また、池の中やフェンス外側の餌をとる道具使用だけでなく、毛を歯間フロスにする道具使用も観察された。これらの結果について英語論文として発表する予定である。

2022015

末永雄介 (千葉県がんセンター研究所)、中谷一真 (千葉大学)
霊長類における比較腫瘍学的解析

日本モンキーセンターの剖検録 (全 137 種、計 7019 検体) から腫瘍の発症と雌雄、系統関係を解析した。腫瘍が認められたのは 28 種、計 59 匹であり、メス ($n=43$) の方がオス ($n=16$) よりも有意に多かった ($p=0.0052$)。腫瘍発症率の高い系統は、順に Lemuriformes (3.5%, 6/173)、Lemuridae (3.0%, 5/165)、Cercopitheciini (2.6%, 8/313)、Strepsirrhini (2.0%, 8/391)、Colobini (1.6%, 1/63) であった。系統間で統計学的に有意差は認められなかった。以上の結果から、霊長類全般において腫瘍発症率が低いこと、メスにおいて発症率が高いという傾向は大型類人猿に限らないことが明らかになった。

2022016

桂有加子 (京都大学)
シルバールトンの性染色体進化に関する研究

ヒトの Y 染色体は矮小化し、やがて滅びるという仮説がある。しかし、ヒトと同じ狭鼻猿類に属するシルバールトンは、既存の説とは異なり、Y 染色体が常染色体へ転座することにより Y 染色体を巨大化させている。つまり、霊長類の一部では Y 染色体上の配列を常染色体へ逃がし、滅びつつある Y 染色体の寿命を延ばしている。本研究課題では、シルバールトンのゲノム配列を新規で決定し、塩基配列情報を用いて性染色体進化のプロセスを明らかにすることが目的である。そのために、2023 年 2 月連携研究に申請し、日本モンキーセンター及び京都大学ヒト行動進化研究センターで保管されていたシルバールトン (11 個体分) の死体由来の冷凍組織・遺伝子試料を入手した。これらの組織サンプルから DNA 抽出を行った。今後ゲノムシーケンスを行い、シルバールトン独自の性染色体進化の遺伝基盤について明らかにする予定である。

2022017

MACINTOSH Andrew, CHEN Peini, XU Zhihong(京都大学)
Behavioral Analytics for Animal Welfare in Zoo-housed
Primates

Our project aims to explore new ways of monitoring and analyzing zoo animal behavior with two key objectives: (1) to detect anomalous patterns of behavior even in the absence of clear signs of stress like abnormal behavior or behavioral stereotypies, and (2) to provide a means of measuring the effectiveness of interventions, such as the application of environmental enrichment, enclosure redesign or animal relocation, veterinary procedures, etc. In March 2022, we conducted 100 hours of direct observation of brown capuchins (*Sapajus apella*; N=22) for comparison with the same species at Kyoto City Zoo. Research assistant Chen Peini presented a comparison of capuchin behavior at the Japan Monkey Centre and Kyoto City Zoo at the 67th Primates Conference at JMC on February 26, 2023. We also collected 280 hours of video records from 21 species of African (N=14) and South American (N=7) primates to relate behavior patterns to species-specific traits. Analyses of these data are ongoing. We are updating our partners and the public about the project through our website www.zoentropy.net.

11. 連携研究に伴う標本の貸し出し

(1) 2022010

申請者：西村剛、中村冠太（京都大学）
題目：霊長類における舌骨喉頭の器官形態に関する研究
貸出：レッサースローロリス他 液浸標本3点
期間：2022年6月6日～

12. 日本モンキーセンター屋久島研修所

2020年7月より運用開始
所在地：鹿児島県屋久島町永田
利用目的：屋久島での調査研究・教育・研修・実習
セミナー・ワークショップ・シンポジウム等の開催
利用料金： 宿泊有り 1,000円/泊/人
 宿泊無し 半日300円/人
 1日500円/人

13. 野外調査・生息地研修

(1) 笹ヶ峰（妙高高原）

2022年10月13日～10月15日
赤見理恵, 星野智紀, 浮瀬百々香
2023年2月6日～2月8日 赤見理恵, 江藤彩子

(2) 白山（ニホンザル調査隊への参加）

2023年2月12日～2月16日 赤見理恵
2023年2月13日～2月16日 辻内祐美

(2) 保全活動

1. コンゴ民主共和国 Mbali 地域におけるボノボ保全

現地調査の実施：2022年8月7日～8月25日

伊谷原一、新宅勇太

2. ギニア共和国 野生チンパンジー保全のための

「緑の回廊」への支援事業

期間：2017年4月～

3. ガボン共和国 ムカラバ-ドウドウ国立公園における ニシローランドゴリラ保全

期間：2017年8月～

4. スローロリス保全センターの運営

(1) 飼育個体の福祉向上・飼育環境改善

(2) 連携研究等による研究の推進

(3) ウェブページの公開

https://sites.google.com/view/jmc-fr5/SLCC_Home

(3) 環境教育並びに社会普及活動

1. 学習利用

(1) 団体入園者数

団体区分	2022年度		2019年度比 (コロナ禍前)	
	件数	人数	件数	人数
幼稚園・保育園	31	3,376	62.0%	63.6%
小学校	63	5,168	82.9%	83.7%
中学校	8	770	80.0%	70.3%
高等学校	10	632	90.9%	111.7%
大学・短大・専門学校	27	1,078	96.4%	107.2%
特別支援・養護学校	0	0	0%	0%
福祉・介護施設	16	254	64.0%	36.5%
一般・その他	21	647	67.7%	107.1%
合計	176	11,925	75.2%	76.9%

2022年度は新型コロナウイルス感染症にかかる行動制限が緩和され、団体利用は回復傾向にあった。高等学校、大学・専門学校、一般・その他の団体はコロナ禍前の水準に回復した。小学校、中学校についても回復傾向が認められる。対して、幼稚園・保育園と福祉・介護施設系の団体利用は回復が遅れていることが見て取れる。

(2) 教育プログラム利用状況

利用団体数： 136件・8,975名

	2022年度	2019年度比
レクチャー	123	73.2%
スポットガイド団体利用	93	55.0%
キュレーター等によるガイドツアー	12	30.8%
行動観察実習	16	114.3%
標本を用いた骨学実習	9	69.2%
骨パズル	3	150.0%
ロコモーション観察ワークシート	5	55.6%
バックヤード見学	5	71.4%
「知ったことを伝えよう」ワークシート	10	—
紙芝居	1	33.3%
事前学習教材	26	108.3%
その他	2	28.6%
合計	305	66.7%

(3) 京都大学霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院 (PWS) 高大連携プロジェクトへの協力

① 愛知県立明和高等学校

・探求ガイダンス

日程：2022年4月21日

対象：1年生生徒 344名

内容：講演

フィールドワーク：放浪と研究 伊谷原一

行動観察レクチャー 赤見理恵

行動観察実習(ワークシート)

・1日研究者体験

日程：2022年7月22日

対象：生徒5名

内容：レクチャー、行動観察実習

林美里、赤見理恵

(4) 犬山市と連携した授業づくり

① 小学校全校児童 1日モンキーデー

犬山北小学校 509名 2022年5月11日

② 小学校4年生 モンキーワーク

理科「わたしたちの体と運動」に関連したプログラム

池野小学校 4年生25名 2022年5月25日

東小学校 4年生63名 6月8日

羽黒小学校 4年生78名 6月8日

楽田小学校 4年生78名 6月22日

城東小学校 4年生100名 6月22日

犬山南小学校 4年生81名 6月29日

犬山西小学校 4年生85名 6月29日

③ 中学校 モンキーワーク

城東中学校 1年生168名 2022年6月30日

東部中学校 1年生127名 9月6日

犬山中学校 3年生214名 10月20日

南部中学校 1年生128名 10月26日

(5) 名古屋経済大学 体験型プロジェクト (XI) 「犬山学」

第1回 ガイダンス・日本モンキーセンターとは

(場所：名古屋経済大学)

2022年4月12日 高野智

第2回 霊長類学入門+事前学習(場所：名古屋経済大学)

2022年4月19日 高野智

第3回 霊長類の多様性(1)(場所：日本モンキーセンター)

2022年4月26日 高野智

第4回 霊長類の多様性(2)(場所：日本モンキーセンター)

2022年5月10日 高野智

第5回 霊長類行動観察入門(1)

(場所：日本モンキーセンター)

2022年5月17日 赤見理恵

第6回 霊長類行動観察入門(2)

(場所：日本モンキーセンター)

2022年5月24日 赤見理恵

第7回 霊長類学の最前線(1)

(場所：日本モンキーセンター)

2022年5月31日 川上文人(中部大)

第8回 動物の進化を学ぶ(1)

(場所：日本モンキーセンター)

2022年6月7日 高野智

第9回 動物の進化を学ぶ(2)

(場所：日本モンキーセンター)

2022年6月14日 高野智

第10回 霊長類学の最前線(2)

(場所：日本モンキーセンター)

2022年6月21日 林美里

第11回 環境問題と霊長類(場所：日本モンキーセンター)

2022年6月28日 新宅勇太

第12回 博物館としての動物園

(場所：日本モンキーセンター)

2022年7月5日 綿貫宏史朗

第13回 期末課題制作(1)(場所：日本モンキーセンター)

2022年8月22日 高野智

第14日 期末課題制作(2)(場所:名古屋経済大学)
2022年8月25日 高野智
第15回 期末課題発表(場所:名古屋経済大学)
2022年8月26日 高野智

⑦ 多治見西高等学校附属多治見西中学校
日程:2022年10月5日
対象:3年生 32名
内容:理科授業「霊長類の進化と多様性」、
骨パズル 高野智

2. 教育普及活動の充実につながる各種ツールの開発

- (1) 学校団体向け利用の手引き
改訂版を2023年3月に作成し、愛知、岐阜、三重の
三県の小中高等学校約1700校に送付。
また、ホームページにも公開。
- (2) ワークシートの開発
- (3) Web サイト上に「犬山市の小中学校と連携して開拓した
学び」を公開
- (4) Web 霊長類図鑑オープン

⑧ 愛知県立明和高等学校
日程:2022年10月12日
対象:SSH生物班生徒 3名
内容:研究発表練習の指導 赤見理恵

⑨ 犬山市立楽田小学校
日程:2022年12月2日
対象:6年生 101名
内容:理科授業「サルの消化管をくらべてみよう」
高野智

3. 教員研修会の誘致

- (1) 愛科研丹葉支部教員研修会
日程:2022年11月18日
対象:学校教員14名
内容:モンキーバレイ解説、常設展示ガイドツアー、
博学連携事例紹介
高野智、赤見理恵、江藤彩子

⑩ 犬山市立楽田小学校
日程:2023年2月24日
対象:5年生 79名
内容:理科授業「人の誕生、サルの誕生と人の誕生の
違い」 赤見理恵

4. アウトリーチ活動

- (1) 教育活動の実践における職員の講師派遣
- ① 愛知教育大学
日程:2022年5月19日(オンラインで実施)
対象:義務教育理科・高校理科
学部1年生・大学院1年生
内容:来園前事前指導 赤見理恵
- ② 金城学院大学
日程:2022年5月9日(オンラインで実施)
対象:現代子ども教育学科1年生
内容:来園前事前指導 赤見理恵
- ③ 犬山市立犬山北小学校
日程:2022年7月13日
対象:6年生
内容:総合学習成果発表会 高野智、赤見理恵
- ④ 犬山市立東部中学校
日程:2022年9月20日(オンラインで実施)
対象:3年生 59名
内容:生物の進化の授業における解説 高野智

(2) 職員の派遣

- ① 京都市動物園 野生動物学のすすめ
日程:2022年4月9日~4月10日
場所:京都市動物園(京都府京都市)
内容:ブース出展
新宅勇太、綿貫宏史朗、武田康祐
- ② 澤田酒造 酒蔵開放
場所:澤田酒造(愛知県常滑市)
内容:ブース出展
日程:2022年5月28日~5月29日
綿貫宏史朗、江藤彩子、武田康祐、今井由香
日程:2022年9月3日~9月4日
高野智、綿貫宏史朗、江藤彩子、
武田康祐、今井由香
日程:2023年2月25日~2月26日
高野智、江藤彩子、今井由香
- ③ 京都大学創立125周年アカデミックマルシェ
日程:2022年6月18日
場所:ロームシアター京都(京都府京都市)
内容:ブース出展 赤見理恵、江藤彩子

⑤ 愛知県立明和高等学校
日程:2022年9月27日(オンラインで実施)
対象:1年生 約40名
内容:探究活動ガイダンス 事後指導グループ発表会
赤見理恵

④ 名鉄スマイルプラス
日程:2022年8月10日
方式:オンライン実施
対象:児童238名
内容:JMCの紹介、マダガスカルの話 赤見理恵
Waoランドガイド 市原涼輔

⑥ 犬山市立犬山中学校
日程:2022年10月14日、10月18日
対象:3年生 234名
内容:理科授業「霊長類の進化と環境適応」
高野智

⑤ 犬山産業振興祭
日程:2022年10月8日
場所:犬山市民文化会館、犬山市南部公民館
(愛知県犬山市)
内容:ブース出展 赤見理恵

- ⑥ なごや生物多様性センターまつり
 日程：2022年10月29日
 場所：なごや生物多様性センター（愛知県名古屋市）
 内容：ブース出展 新宅勇太
- ⑦ 各務原市ライフカレッジ
 日程および場所：
 2023年1月12日： 鶴沼福祉センター
 1月27日： 鶴沼東福祉センター
 1月31日： 東ライフデザインセンター
 （いずれも岐阜県各務原市）
 内容：講演「サルを知ることとはヒトを知ること
 ～日本モンキーセンターのあらましと
 霊長類研究～」 高野智
- ⑧ ファンクショナルローラーピラティスマスター
 トレーナー講習会
 日程：2023年2月18日
 場所：栄ガスビル（愛知県名古屋市）
 内容：講演「進化的観点からヒトの身体を知る
 —霊長類の共通性とヒトの特殊性—」
 高野智
- (3) オンラインイベントへの協力
 ① 第4回おらけんバーチャル動物園
 主催：日本オランウータン・リサーチセンター
 日程：2022年8月28日
 内容：骨格標本観察 新宅勇太
 特別講演「日本のオランウータン飼育史」
 綿貫宏史朗
- (4) 地元、近隣の学校訪問（誘致・広報活動）
 犬山市を中心に、出前授業等の機会も利用して誘致の
 呼びかけ
 愛知県・岐阜県・三重県の小中高校へのダイレクト
 メール発送
- (5) 社会貢献
 ① 日本霊長類学会 理事（霊長類研究 編集長）
 林美里
 ② あいちサイエンスフェスティバル2022 実行委員
 高野智
 ③ 愛知県尾張北部地域生態系ネットワーク協議会
 委員 高野智
 ④ 名古屋経済大学犬山学術センター 客員教授
 高野智
 ⑤ 日本霊長類学会 選挙管理委員 高野智
 ⑥ 日本霊長類学会 評議員 赤見理恵
 ⑦ 日本動物園水族館教育研究会 運営委員 赤見理恵
 ⑧ 第63回日本動物園水族館教育研究会札幌大会
 実行委員 赤見理恵
 ⑨ 特定非営利活動法人屋久島いきもの調査隊 監事
 赤見理恵
 ⑩ 日本哺乳類学会 標本・分類群名検討委員会 委員
 新宅勇太
 ⑪ NPO法人市民ZOOネットワーク 理事 綿貫宏史朗
 ⑫ 日本野生動物医学会 評議員 綿貫宏史朗
 ⑬ 日本野生動物医学会 広報委員 綿貫宏史朗
 ⑭ 日本野生動物医学会 保全福祉委員 綿貫宏史朗

- ⑮ 神戸どうぶつ王国 生物多様性保全担当顧問
 綿貫宏史朗
 ⑯ 日本動物園水族館協会 生物多様性委員会保全戦略部員
 （神戸どうぶつ王国顧問として） 綿貫宏史朗
 ⑰ 札幌市市民動物園会議認定動物園支援事業部会 委員
 綿貫宏史朗
 ⑱ 一般社団法人野生生物生息域外保全センター 理事
 綿貫宏史朗

5. 特別展・特集展示の開催

- (1) 特別展「猿画に映すイメージ」
 会期：2022年3月19日～2022年6月27日
 会場：ビジターセンター 特別展示室
 主担当：新宅勇太
- (2) 特別展「飼育員展 ～あこがれのおしごと、
 のぞいてみよう～」
 会期：2022年9月10日～2023年1月29日
 会場：ビジターセンター 特別展示室
 主担当：綿貫宏史朗
- (3) 特別展「Primates in Forests ～磯野宏夫が描く霊長類の
 いる森～」
 会期：2023年3月18日～開催中
 会場：ビジターセンター 特別展示室
 協力：エメラルドフォレスト
 主担当：江藤彩子
- (4) 特集展示「追悼 河合雅雄先生」
 会期：2021年10月9日～2023年
 会場：ビジターセンター 企画展示室
 主担当：新宅勇太
- (5) 特集展示「猿二郎コレクション60周年」
 会期：2022年3月19日～2023年2月5日
 会場：ビジターセンター 企画展示室
 主担当：新宅勇太
- (6) 卯年ミニ展示「鳥獣戯画のうさぎと野生のウサギ」
 会期：2022年12月15日～2023年1月29日
 会場：ビジターセンター 企画展示室
 主担当：赤見理恵、新宅勇太
- (7) 民俗資料展示「日本モンキーセンター所蔵 民俗資料
 猿二郎コレクション」
 会期：2017年10月13日～開催中
 （2022年4月22日展示替え）
 場所：木之下城伝承館 堀部邸
 協力：特定非営利活動法人 古代瀬波の里・文化遺産
 ネットワーク

6. 2022年度モンキーキャンパス

主催：公益財団法人日本モンキーセンター
共催：京都大学霊長類学・ワイルドライフサイエンス・
リーディング大学院
受講費：12,000円（全6回分）
（ただし2022年4月1日時点で20才以下の
受講者は9,000円、友の会年会費は別途）
方式：ビジターセンターホールでの会場受講コース
Zoomによるオンライン受講コース 併用
受講者数：会場受講コース 73名
オンライン受講コース 23名

プログラム：

- 第1回 2022年6月19日
講師：平田オリザ（劇作家・演出家／
芸術文化観光専門職大学学長）
「霊長類と対話」
- 第2回 2022年7月10日
講師：中村美知夫（京都大学大学院理学研究科）
「チンパンジー的『つながり』のかたち」
- 第3回 2022年8月7日
講師：明和政子（京都大学大学院教育学研究科）
「ヒトの脳と心の発達—多様性はどのように
創発するのか？」
- 第4回 2022年9月11日
講師：伊澤雅子（北九州市立自然史・歴史
博物館館長／琉球大学名誉教授）
「島の生物学：コンパクトな生態系と長い
歴史が生み出したユニークな動物たち」
- 第5回 2022年10月9日
講師：川端裕人（作家）
「霊長類の色覚進化から見るヒトの多様な色の
世界」
- 第6回 2022年11月13日
講師：荻原直道（東京大学大学院理学系研究科）
「デジタル人類学が解き明かすヒトの進化」

7. モンキーキャンパスサークル活動の実施

モンキーキャンパス受講者をメンバーとして活動
募集型サークル
①資料サークル（担当キュレーター：高野、新宅）
②行動観察サークル（担当キュレーター：赤見、綿貫）
自主活動型サークル
①畑サークル
②エンリッチメントサークル

8. モンキーキャンパス屋久島研修ツアー

日程：2022年11月28日～12月1日
場所：鹿児島県屋久島
講師：湯本貴和（ナチュラリスト／京都大学名誉教授）
参加者：5名
引率：赤見理恵、土性亮賀

9. モンキー日曜サロンの開催

主催：公益財団法人日本モンキーセンター
京都大学霊長類学・ワイルドライフサイエンス・
リーディング大学院
提供：京都大学霊長類学・ワイルドライフサイエンス・
リーディング大学院
* Zoomでのオンライン配信も併用して開催

- 第73回
日程：2022年4月17日
演題：「タイ王国で見つめた野生ベニガオザルの
暮らしぶり」
講師：豊田有（中部大学創発学術院）
- 第74回
日程：2022年12月4日
演題：「サルの背骨と体幹の動きから考える
二足歩行の進化」
講師：木下勇貴（京都大学ヒト行動進化研究センター）
- 第75回
日程：2023年1月29日
演題：「屋久島の山とササとサル、ときどきシカ。」
講師：本田剛章（京都大学野生動物研究センター）
- 第76回
日程：2023年3月19日
演題：「知って・見て・触ってみよう
～ニホンザルとの共生に向けた取り組みと
電気さく設置体験」
講師：清野未恵子（神戸大学大学院人間発達環境学
研究科）
鈴木克哉（里地里山問題研究所（さともん））

10. 写生大会の開催

- (1) 第66回日本モンキーセンター写生大会 優秀作品展の開催
期間：2021年7月22日～2022年7月18日
場所：ビジターセンター内企画展示室
- (2) 第67回日本モンキーセンター写生大会の開催
後援：文部科学省、愛知県、愛知県教育委員会、
岐阜県教育委員会、犬山市、犬山市教育委員会、
京都大学霊長類学・ワイルドライフサイエンス・
リーディング大学院
募集期間：2022年4月1日～5月31日
応募点数：234点
審査会：2022年6月15日
入選点数：43点（特別賞12点、特選11点、入選20点）

表彰式：2022年7月23日
場所：ビジターセンターホール
参加者：受賞者およびその家族、64名

- (3) 第67回日本モンキーセンター写生大会優秀作品展の開催
期間：2022年7月23日～開催中
場所：ビジターセンター内企画展示室

11. ミュージアムトーク

* 友の会会員向けに Zoomでのオンライン配信も併用

第44回「葉喰猿（はくいざる）渡来考」
2022年5月1日 綿貫宏史朗

- 第 45 回「19 世紀の霊長類図鑑 ～特別展「猿画に映すイメージ」から～」
2022 年 5 月 29 日 新宅勇太
- 第 46 回「骨が語る動物の生き様 ―成長・疾病・老化―」
2022 年 6 月 12 日 高野智
- 第 47 回「なぜヒガシゴリラにはソーシャルディスタンスが必要か―観光客への近接と絶滅のリスク―」
2022 年 9 月 25 日 ラケル コスタ
- 第 48 回「日本と世界のテナガザル」
2022 年 10 月 23 日 綿貫宏史朗
- 第 49 回「アフリカ・コンゴ民主共和国のボノボの森：2022 調査記」
2022 年 11 月 20 日 新宅勇太
- 第 50 回「吞んで吞まれてフィールドワーク」
2023 年 3 月 18 日 キュレーター 4 名の座談会

12. オンライン講座の開講

(1) 続・オンライン霊長類学基礎講座

(全 12 回、2021 年度に第 1 回～第 8 回を実施)
方式：Zoom によるオンライン配信 (2 週間の見逃し配信)
定員：各回 90 名
料金：各回 800 円

- 第 9 回「日本モンキーセンターの霊長類飼育史」
2022 年 4 月 2 日 綿貫宏史朗
- 第 10 回「博物館のコレクション」
2022 年 4 月 16 日 新宅勇太
- 第 11 回「霊長類の遺伝子とゲノム」
2022 年 5 月 7 日 早川卓志
- 第 12 回「霊長類の保全を考える」
2022 年 5 月 21 日 新宅勇太
- オンライン交流会
2022 年 5 月 28 日

(2) 霊長類学基礎講座 2023

方式：Zoom によるオンライン配信 (2 週間の見逃し配信)
定員：各回 90 名
料金：各回 800 円 (18 歳以下 500 円)

- 第 1 回「霊長類学入門」
2022 年 12 月 10 日 高野智
- 第 2 回「霊長類の多様性生物学」
2023 年 1 月 14 日 新宅勇太
- 第 3 回「霊長類のコミュニケーションと発達」
2023 年 2 月 11 日 林美里
- 第 4 回「霊長類の社会」
2023 年 3 月 11 日 綿貫宏史朗
(第 5 回・第 6 回は 2023 年度内に開講)

13. 動物園イベント

(1) 通年イベント

- ① オンラインガイド
平日 12:00～13:00 の間の 15 分程度、
YouTube でガイドをライブ配信
- ② 園内ガイド (2022 年 9 月より再開)

- ③ スタンプラリー
園内 7 か所にスタンプを設置、オリジナルイラストの台紙を有料配布
春季：リーフフェスティバル
夏季：甲子猿
秋季：キツネザルフェスティバル
冬季：スノーモンキー
- ④ クイズラリー
園内各所にオリジナルクイズを設置
年 4 回更新

(2) MOPWEEKS

- 日程：2022 年 4 月 1 日～14 日
- ① Twitter での参加型ツイート企画
 - ② 食事処『楽猿』にて限定メニューの提供
 - ③ 限定通販ショップ開設
 - ④ モップくんのお誕生日モーニングツアー
日時：2022 年 4 月 14 日 8:30～10:00
参加費：15,000 円
参加者：10 名
内容：誕生日プレートの製作とプレゼント、
写真撮影 など
 - ⑤ モップくん検定
日時：2022 年 4 月 14 日 11:00～11:50 (検定)
15:00 (表彰式)
参加費：1000 円 (モーニングツアー参加者は無料)
参加者：27 名
内容：シロガオサキとモップ君に関するオリジナル
検定を実施し、上位者に景品プレゼント。
 - ⑥ モプトーーーク
日時：2022 年 4 月 14 日 13:00～14:00
会場：ビジターセンター ホール
協力：武真祈子 (京都大学生態学研究センター)
内容：飼育員とサキ研究者の対談
 - ⑦ #MOP 愛 2022 でモップくんをつくろう
内容：Twitter で「#MOP 愛 2022」をつけられた
画像を使用してモザイクアート看板を作成。

(3) リーフフェスティバル

- 日程：2022 年 4 月 29 日～5 月 8 日
- ① スペシャル展「リーフイーターってこんな動物」
会場：ビジターセンター
内容：リーフイーターの解説展示
 - ② Web 写真展「野生のリーフイーター見てきました！！」
内容：特設サイトで飼育員が撮影した野生の
リーフイーターの写真を紹介
 - ③ リーフハンター ～この葉っぱおいしい??～
日程：2022 年 5 月 7 日 (4 月 29 日は雨天中止)
場所：ビジターセンターホール
参加費：500 円
内容：園内で集めた葉の給餌場を観察

- ④ チンパンジーのベッドづくり体験～ポキポキ、バキバキ、ふっかふか！？～
日程：2022年4月30日、5月8日
場所：アフリカセンター
参加費：1組2000円
内容：枝葉を使ったベッドづくり体験
- ⑤ 講演会（第44回ミュージアムトークとして開催）
日程：2022年5月1日
講師：綿貫宏史朗
タイトル：「葉喰猿（はくいざる）渡来考」
- ⑥ 植樹祭～この木なんの木？おいしい木
日程：2022年5月4日
場所：ビジターセンターホール
参加費：500円
内容：園内での植樹
- ⑦ サルたちのハンモックをつくろう！
～コロブスよろこぶす？～
日程：2022年5月5日
場所：ビジターセンターホール
参加費：1組1000円
内容：麻袋を使ったハンモックづくり体験
- (4) 世界キツネザルフェスティバル 2022 in JMC
日程：2022年10月1日～10月30日
- ① しましま集まれ！
内容：期間中に「しましまのもの」を身につけて
来園した人にオリジナルシールをプレゼント
場所：Wao ランド
- ② 来園者が撮影したキツネザルの写真展
募集期間：2022年9月1日～9月15日
日時：2022年10月1日～
場所：マダガスカル館屋内側展示場
内容：来園社が撮影した写真を展示
- ③ キツネザルガイドツアー
日時：2022年10月2日、10月16日
内容：4種のキツネザルのガイド
- ④ キツネザルレクチャー
日時：2022年10月9日、10月30日
場所：Wao ランド
内容：飼育スタッフによるレクチャー
- ⑤ マダガスカル〇×クイズ
日時：2022年10月10日
場所：Wao ランド前
内容：マダガスカルやキツネザルについてのクイズ大会
- ⑥ シファカに会いに行こう！
日時：2022年10月23日
場所：ビジターセンターホール
参加費：500円
内容：マダガスカルからのライブ中継
協力：Richard Randrianasolo (ELIE TRAVEL TOURS)
- ⑦ 「世界キツネザルの日」オンラインガイドツアー
日時：2022年10月28日
内容：Youtubeでの飼育スタッフによるガイド配信
- (5) 世界ニホンザルの日
- ① 生息地から生配信！～幸島のニホンザル～
日時：2022年12月2日
方式：Youtubeでのライブ配信
協力：鈴木崇文（京都大学野生動物研究センター）
- ② 生息地から生配信！～高崎山のニホンザル～
日時：2022年12月3日
方式：Youtubeでのライブ配信
協力：高崎山自然動物園
- ③ 「世界ニホンザルの日」オンラインガイド
日時：2022年12月3日
方式：Youtubeでのライブ配信
- ④ 「世界ニホンザルの日」園内ガイド
日時：2022年12月3日
- (6) 猿 JOY！感謝祭
日程：2023年3月6日～21日
- ① 猿 JOY フォトフェス
期間：2023年3月6日～3月21日
内容：「#猿JOYフォトフェス」のハッシュタグで
ツイートを募集
- ② ありがとうプレート配信
日程：2023年3月7日、8日、14日、15日
内容：寄附された野菜や果物を使った特製プレートの
給餌風景を Youtube でライブ配信
- ③ モーニング配信
日程：2023年3月21日 9:00～10:00
内容：開園前の園内の様子を Youtube でライブ配信
- ④ クリエーターズマーケット「猿日～EN-niche～」
日時：2023年3月11日・3月12日
場所：ケヤキの森
- ⑤ 園内ガイドリレー
日時：2023年3月11日
- ⑥ エンリッチメントなおやつ作り体験
日時：2023年3月11日、21日
内容：ワオキツネザルを対象にしたおやつ作り
- ⑦ 個体識別タイム
日時：2023年3月12日、18日
内容：飼育員の指導による個体識別レクチャー
12日：ヤクシマザル・トクモンキー・
ノドジロオマキザル
18日：ワオキツネザル・チンパンジー・
アヌビスヒビ
- ⑧ ザルバースデー
日時：2023年3月19日
内容：チベットモンキー・ザルバの誕生日会
- ⑨ 「飼育員がつくったサルの図鑑 かならず会いたくなっちゃう 56のなかまたち」
出版記念トークショー＆サイン会
日時：2023年3月11日
会場：ビジターセンターホール
内容：書籍のイラスト担当飼育員・編集者・
デザイナーの鼎談
- ⑩ 生息地報告会 キーパーズトーク
「『遠くに行って来ました』
日時：2023年3月12日
会場：ビジターセンターホール
内容：タンザニア・モロッコの生息地紹介
方式：現地・オンライン併用
- ⑪ 第50回記念！ミュージアムトーク
「呑んで吞まれてフィールドワーク」
日時：2023年3月18日
方式：現地・オンライン併用

- ⑫ スタッフ交流会
日時：2023年3月19日
会場：ビジターセンターホール
方式：現地・オンライン併用
- ⑬ 限定オンラインショップ
期間：2023年3月6日～21日
プラットフォーム：SUZURI、BASE
- (7) 冬の風物詩 たき火にあたるサル
期間：2022年12月22日(冬至)および
2022年12月24日～2023年1月29日の
土・日・祝
(焼きイモは12月22日および
1月1日～1月9日の開催日)
時間：11:30～14:00
- (8) 年末年始イベント
- ① 縁起物「奇跡のみかん」の配布
日程：2023年1月1日～1月3日
場所：アフリカセンター
10:00より各日先着30個を配布
- ② モンキーセンターからのお年玉♪
末尾「36」「8936」の年賀葉書持参者にプレゼント
受付期間：2023年1月1日～2月27日
- ③ サルおせち
内容：飼育員作成の「サルおせち」をふるまう
日程：
2023年1月1日
Waoランド (Youtube プレミア配信)
1月2日 ヒヒの城 (Youtube プレミア配信)
1月3日 ニシゴリラ (現地ガイド)
1月4日 フサオマキザル (現地ガイド)
1月5日 新アフリカ館 (現地ガイド)
1月6日 リスザルの島 (現地ガイド)
1月7日 バックヤード (Youtube プレミア配信)
1月8日 テナガザル (飼育の部屋にてブログ公開)
1月9日 アジア館成人式バージョン (現地ガイド)
- (9) 特定日開催
- ① 第6回日本モンキーセンター飼育施設対抗なんでも
アピール選手権大会 通称「甲子猿」
日程：2022年7月16日、17日、18日(1回戦)
7月30日、31日(準決勝)
8月11日(決勝戦)、8月21日(祝勝会)
内容：園内飼育施設を7チームに分け、各担当動物の
魅力を動画や写真でアピール。参加者投票に
よりトーナメント方式で優勝チームを決定し、
祝勝会を実施。
対戦はビジターセンターホールでの現地参加、
その様子を配信する YouTube LIVE を併用。
投票は現地参加者の投票に加え、Twitter を
使用したオンライン投票を併用。
食事処『楽猿』で各チームのイメージカラーの
かき氷販売を実施。
- ② 動物慰霊祭
日程：2022年10月17日
備考：10月15日～17日の間、慰霊祭のお供え物を募集
- (10) 1日フィールドワーク体験 (参加費 8,500円)
日程：第1回 2022年7月26日
最少催行人数に達せず不催行
第2回 2022年8月2日(補講8月6日)
参加者：18名
対象：小学校3年生～中学校3年生
定員24名(最少催行人数12名)
内容：レクチャー・行動観察・石器作り
カメラトラップ設置
備考：名古屋 ECO 動物海洋専門学校
(学生11名が実施ボランティアとして参加)
- (11) 他団体主催イベントの受入
- ① リルネちゃんといっしょ！ in 日本モンキーセンター
日程：2022年4月23日
主催：ディアステージ
- ② 故河合雅雄先生を偲ぶ会 サテライト会場
日程：2022年5月28日
主催：丹波篠山市、犬山市
備考：来賓として伊谷原一所長が出席、座談会参加
参加者向けガイドツアーの実施(高野智)
14. ホームページの充実
- (1) 日本語サイト <https://www.j-monkey.jp/>
Webサイトの更新件数：272件
(サポーター専用ページを除く)
主な更新：トップページ写真、ニュース
Web 霊長類図鑑 等
- (2) 外国語サイト
(英) <https://www.j-monkey.jp/lng/en/index.html>
- (3) 寄附・支猿サイト <https://sites.google.com/view/jmc-fr>
- (4) スローロリス保全センターサイト
https://sites.google.com/view/jmc-fr5/SLCC_Home
- (5) おうちどうぶつえん
2020年4月12日設置
内容：おすすめ本紹介・Web ミュージウム
オリジナルのゲーム・ぬり絵 など
15. メールマガジン「新 JMC 通信」の発行
2018年4月より不定期配信に変更
2022年度配信数 24回
友の会のつどい開催します！／写生大会、モンキー
キャンパスの受付開始 2022年4月1日
オンラインで学ぶ霊長類学講座 申込受付中！／
日曜サロン開催します！ 4月14日
リーフフェスティバル開催中！ 4月29日
草刈りボランティア大募集！！ 5月11日
草引きボランティア大募集！／オンラインで学ぶ
霊長類学講座 最終回です！ 5月17日
ミュージウムトーク開催します！ 5月28日
第2回草引きボランティア大募集！！／
ミュージウムトーク開催！ 6月10日
サツマイモ作付けお手伝い大募集！／
特別展まもなく終了です 6月24日

甲子猿開催！／1日フィールドワーク体験参加者募集！
7月2日
1日フィールドワーク体験参加者募集！／甲子猿開催！
7月15日
リスザルの島デッキのリニューアル工事が完了しました！
8月19日
特別展「飼育員展」はじまりました！ 9月17日
世界キツネザルフェスティバル2022 in JMC 開催中！
10月21日
今日は世界キツネザルの日！ 10月28日
ミュージアムトーク開催します！ 11月18日
12月3日は「世界ニホンザルの日」です 12月1日
オンライン霊長類学基礎講座 2023 参加申込受付中です！
12月9日
冬の風物詩「たき火にあたるサル」はじまります！
12月18日
来年もよろしくお祈いします！ 12月31日
霊長類学基礎講座 2023 今夜開催です！
2023年1月14日
モンキー日曜サロン開催します！ 1月27日
霊長類学基礎講座 2023 2/11(土) 開催します！
2月10日
猿JOY！感謝祭 開催中です！ 3月10日
猿JOY！感謝祭 ラストスパートです！ 3月17日

16. ブログ「飼育の部屋」

<https://www.j-monkey.jp/jmkeeper/>
2022年度投稿数 296件
(うち231件はオンラインサロン限定記事)

17. Facebook を通じた情報発信

<https://www.facebook.com/japanmonkeycentre/>
投稿数：11件
フォロワー数：3,581 (2023年3月31日時点)

18. Twitter を通じた情報発信

日本語版
https://twitter.com/j_monkeycentre
投稿数：1,613件
フォロワー数：39,499 (2023年3月31日時点)
英語版
<https://twitter.com/JpnMonkeyCentre>
投稿数：12件
フォロワー数：615 (2023年3月31日時点)

19. YouTube の配信 (動画・スライドショー)

公式チャンネル
2022年度新規公開動画：30本
動物園イベント関連動画
飼育職員撮影の動物動画
ライブ配信：244回 (うち34本はアーカイブを公開)
フォロワー数：5,460 (2023年3月31日時点)

20. Instagram からの配信

<https://www.instagram.com/jpnmonkeycentre/>
2022年度新規投稿：54件
フォロワー数：6,457 (2023年3月31日時点)

21. マスメディアへの情報提供

(1) プレスリリース

澤田酒造さんとコラボ日本酒第2弾販売のお知らせ
2022年4月18日
リーフフェスティバルの開催について 4月20日
甲子猿の開催について 7月12日
澤田酒造さんとのコラボ日本酒第3弾販売のお知らせ
9月1日
世界キツネザルフェスティバル 2022inJMC の開催について
9月29日
慰霊祭のお知らせ 10月13日
12月3日の「世界ニホンザルの日」について
11月30日
新施設「新アフリカ館」が完成しました！ 12月7日
冬の風物詩「たき火にあたるサル」について
12月15日
澤田酒造さんとのコラボ日本酒第4弾販売のお知らせ
12月27日
「飼育員がつくったサルの図鑑 かならず会いたく
なっちゃう 56 のなかまたち」の書籍販売について
2023年3月2日
特別展「Primates in Forests」の開催について
3月20日
「新アフリカ館 (仮称)」グランドオープン！ 4/1 の
オープニングセレモニーの開催について 3月27日

(2) 新聞記事掲載 18件

(3) テレビ 38件

① CCNet 「おうちで猿JOY どうぶつえん」
2022年4月より月1本に変更.
#31 リーフフェスティバル 2022年4月16日初回放送
#32 環境エンリッチメント 5月16日初回放
#33 園内で授業をしよう！モンキーワーク
6月16日初回放送
#34 夏の風物詩 甲子猿 7月16日初回放送
#35 園内の楽しみ方 8月16日初回放送
#36 ヒト科の霊長類 9月16日初回放送
#37 テナガザル 10月16日初回放送
#38 飼育員さん 11月16日初回放送
#39 ニホンザルの世界 12月16日初回放送
#40 夜行性の霊長類 2023年1月16日初回放送
#41 パタスモンキー 2月16日初回放送
#42 アビシニアコロブス 3月16日初回放送

(4) ラジオ 1件

(5) 雑誌等掲載 7件

(6) Web サイト 10件

(7) 書籍への情報提供 1件

① 理系の職場 ④ 国立科学博物館のしごと
(こどもくらぶへん編、同友館発行、2022年10月)
「博物館の仕事」として提供

※確認できたもののみ

(4) 図書及び学術誌の刊行

1. 英文学術雑誌「PRIMATES」の発行

PRIMATES 編集委員会 (2022 年 3 月 31 日時点)

Editor-in Chief

中道正之 (大阪大学)

Vice Editors-in-Chief

James R. Anderson (京都大学)

平田聡 (京都大学)

Associate Editors

Kim Bard (University of Portsmouth, イギリス)

Augustin Basabose

(Centre de Recherche en Sciences Naturelles, コンゴ民主共和国)

Fred Bercovitch (アメリカ)

Júlio César Bicca-Marques

(Pontifical Catholic University of Rio Grande do Sul, ブラジル)

Warren Brockelman (Mahidol University, タイ)

Susana Carvalho (University of Oxford, イギリス)

藤田志歩 (鹿児島大学)

古市剛史 (京都大学)

半谷吾郎 (京都大学)

林美里 (中部学院大学, 日本モンキーセンター)

Eckhard Heymann (German Primate Center, ドイツ)

Catherine Hobaiter (University of St Andrews, イギリス)

Michael A. Huffman (京都大学)

村山美穂 (京都大学)

石田貴文 (東京大学)

Patrícia Izar (University of São Paulo, ブラジル)

河村正二 (東京大学)

Kathelijne Koops (University of Zurich, スイス)

杳掛展之 (総合研究大学院大学)

Phyllis Lee (University of Stirling, イギリス)

Baoguo Li (Northwest University, 中国)

松田一希 (中部大学)

John Mitani (University of Michigan, アメリカ)

中川尚史 (京都大学)

中村美知夫 (京都大学)

中村紳一朗 (麻布大学)

中務真人 (京都大学)

西村剛 (京都大学)

小川秀司 (中京大学)

Martha Robbins

(Max Planck Institute for Evolutionary Anthropology, ドイツ)

Crickette Sanz (Washington University in St. Louis, アメリカ)

Gabriele Schino

(Institute of Cognitive Sciences and Technologies, CNR, イタリア)

清水慶子 (岡山理科大学)

David S. Sprague (農業・食品産業技術総合研究機構)

Karen Strier (University of Wisconsin, Madison, アメリカ)

杉浦秀紀 (京都大学)

Bernard Thierry (Centre National de la Recherche Scientifique, フランス)

Peter Ungar (University of Arkansas, アメリカ)

山極壽一 (総合地球環境学研究所, 日本モンキーセンター)

山本真也 (京都大学)

山梨裕美 (京都市動物園)

Advisory Board

Josep Call (University of St. Andrews, イギリス)

Christini Barbosa Caselli

(Federal Rural University of Pernambuco, ブラジル)

Mukesh Chalise (Tribhuvan University, ネパール)

Laurence Culot (Sao Paulo State University, ブラジル)

Frans de Waal (Emory University, アメリカ)

Pedro Dias (Instituto de Neuroetologia, メキシコ)

江成広斗 (山形大学)

Pengfei Fan (Sun Yat-Sen University, 中国)

Renata Gonçalves Ferreira

(Federal University of Rio Grande do Norte, ブラジル)

Dorothy Fragaszy (University of Georgia, アメリカ)

Songtao Guo (Northwest University, 中国)

早川卓志 (北海道大学)

平崎鋭矢 (京都大学)

Tatyana Humle (University of Kent, イギリス)

五百部裕 (椋山女学園大学)

今井啓雄 (京都大学)

井上英治 (東邦大学)

Charles Janson (University of Montana, アメリカ)

香田啓貴 (東京大学)

Andreas Koenig (Stony Brook University, アメリカ)

Amanda Korstjens (Bournemouth University, イギリス)

Jean-Baptiste Leca (University of Lethbridge, カナダ)

Andrew MacIntosh (京都大学)

Bonaventura Majolo (University of Lincoln, イギリス)

Katharine Milton (University of California, Berkeley, アメリカ)

Charmalie Nahallage (University of Sri Jayawardenepura, スリランカ)

荻原直道 (東京大学)

Luciana Oklander

(Consejo Nacional de Investigaciones Científicas y Técnicas, アルゼンチン)

Elisabetta Palagi (University of Pisa, イタリア)

Ryne A. Palombit (Rutgers University, アメリカ)

Annika Paukner (Nottingham Trent University, イギリス)

Jonah Ratsimbazafy

(Study Group and Research of Primates (GERP), マダガスカル)

Ulrich Reichard (Southern Illinois University, アメリカ)

佐藤宏樹 (京都大学)

Michael Schillaci (University of Toronto, カナダ)

Robert Seyfarth (University of Pennsylvania, アメリカ)

下岡ゆき子 (帝京科学大学)

Joan Silk (Arizona State University, アメリカ)

David Smith (University of California, Davis, アメリカ)

Joseph Soltis (Disney's Animal Kingdom, アメリカ)

Volker Sommer (University College London, イギリス)

Cedric Sueur (University of Strasbourg, フランス)

高井正成 (京都大学)

竹ノ下佑二 (中部学院大学)

田中正之 (京都市動物園)

辻大和 (石巻専修大学)

David Watts (Yale University, アメリカ)

山田一憲 (大阪大学)

山越言 (京都大学)

Anne Yoder (Duke University, アメリカ)

湯本貴和 (京都大学)

Editorial Assistant

新宅勇太 (京都大学, 日本モンキーセンター)

CONTENTS

Volume 63 Number 3, May 2022

Editorial

Lee PC: Groups, grouping and networks: dynamic unanswered questions for primatologists. pp. 187-193.

Review Article "Primate Tales: Memoirs from leaders in primatology"

Struhsaker TT: The life of a naturalist. pp: 195-215.

Original Article

Sandel AA, Derby RN, Chesterman NS, McNamara A, Dudas MM & Rawat I: Parallel lasers and digital photography to estimate limb size of chimpanzees (*Pan troglodytes*) at Ngogo, Kibale National Park, Uganda. pp. 217-224.

Cordoni G, Pirarba L, Elies S, Demuru E, Guéry J-P & Norscia I: Adult–adult play in captive lowland gorillas (*Gorilla gorilla gorilla*). pp. 225-235.

Li P, Garber PA, Bi Y, Jin K, Qi X & Zhou J: Diverse grouping and mating strategies in the Critically Endangered Hainan gibbon (*Nomascus hainanus*). pp. 237-243.

Linden B, Dalton DL, Wyk AV, de Jager D, Moodley Y & Taylor PJ: Potential drivers of samango monkey (*Cercopithecus albogularis*) population subdivision in a highly fragmented mountain landscape in northern South Africa. pp. 245-260.

Poornima AMNS, Weerasekara WMLS, Vinobaba M & Karunarathna KANK: Community-level awareness and attitudes towards human–monkey conflict in Polonnaruwa district, Sri Lanka. pp. 261-270.

Traff JN, McGraw WS & Daegling DJ: Masticatory and ingestive effort in *Procolobus verus*, a small-bodied African colobine. pp. 271-282.

Shedden A, Dunn JC, Martínez-Mota R, Cristóbal-Azkárate J, Gillingham PK, MacSwiney-González C, Newton AC, Rodríguez-Luna E & Korstjens AH: Forest maturity has a stronger influence on the prevalence of spider monkeys than howler monkeys in an anthropogenically impacted rainforest landscape. pp. 283-291.

Sánchez-Solano KG, Reynoso-Cruz JE, Guevara R, Morales-Mávil JE, Laska M & Hernández-Salazar LT: Non-visual senses in fruit selection by the mantled howler monkey (*Alouatta palliata*). pp. 293-303.

Book Review

McGrew WC: Close Encounters with Humankind: A Paleoanthropologist Investigates Our Evolving Species, by Sang-Hee Lee, with Shin-Young Yoon. pp. 305-306.

Volume 63, Number 4, July 2022

Editorial

Anderson JR: Dominants, subordinates, enigmatic intermediates. pp. 307-312.

Review Article "Primate Tales: Memoirs from leaders in primatology"

Fedigan LM: My path to primatology: some stories from the field. pp: 313-325.

News and Perspectives

Seike T: Frequent predation on primates by crowned eagles (*Stephanoaetus coronatus*) in Mahale Mountains National Park, Tanzania. pp. 327-333.

Filho RF, Inforzato I, Tabacow FP, Martins W, Possamai CB, Ferraz D, Hack ROE, Rocha S, Slomp DV, Nery MS, Almeida L, Fernandes N, Alves PPR, Mendes SL & Strier KB: Thanatology in the northern muriqui (*Brachyteles hypoxanthus*). pp. 335-342.

Original Article

Cheng L, Shaw A & Surbeck M: Mothers stick together: how the death of an infant affects female social relationships in a group of wild bonobos (*Pan paniscus*). pp. 343-353.

Péter H, Zuberbühler K & Hobaiter C: Well-digging in a community of forest-living wild East African chimpanzees (*Pan troglodytes schweinfurthii*). pp. 355-364.

Kücklich M, Jänig S, Kulik L, Birkemeyer C, Weiß BM & Widdig A: Towards an understanding of multimodal traits of female reproduction in chimpanzees. pp. 365-376.

Zainuddin ZZ, Tarmizi R, Chee YK, Sarkawi NN, Ahmad H, Salleh A, Tahir NDM, Baiee F, Che-Amat A & Fitri W-N: Preliminary findings of age and male sexual characteristics and potential effect to semen characteristics and cryopreservation of the critically endangered Bornean orangutan in Malaysia. pp. 377-386.

Lousa TC, de Grande TO & Mendes FDC: Time budget and foraging strategies of two provisioned groups of tufted capuchin monkeys, *Sapajus libidinosus*, in a small, seasonal urban forest fragment. pp. 387-395.

Volume 63, Number 5, September 2022

Special Feature: Evolutionary origins of human language: hierarchical complexity and communication

Special Feature: Editorial

Hayash M: Introduction to “Evolutionary origins of human language: Hierarchical complexity and communicative signals”. pp. 397-401.

Special Feature: Original Article

Fujita H & Fujita K: Human language evolution: a view from theoretical linguistics on how syntax and the lexicon first came into being. pp. 403-415.

Special Feature: Review Article

Asano R: The evolution of hierarchical structure building capacity for language and music: a bottom-up perspective. pp. 417-428.

Special Feature: Original Article

Hayashi M & Takeshita H: Hierarchical object combination and tool use in the great apes and human children. pp. 429-441.

Rodrigues ED, Santos AJ, Hayashi M, Matsuzawa T & Hobaiter C: Exploring greetings and leave-takings: communication during arrivals and departures by chimpanzees of the Bossou community, Guinea. pp. 443-461.

Review Article

Berman CM: Monkey business: A girl’s once strange dream. pp. 463-481.

Original Article

Yokoyama T & Furuichi T: Why bonobos show a high reproductive skew towards high-ranking males: analyses for association and mating patterns concerning female sexual states. pp. 483-494.

Correction

Yokoyama T & Furuichi T: Correction to: Why bonobos show a high reproductive skew towards high-ranking males: analyses for association and mating patterns concerning female sexual states. pp. 495-496.

Original Article

- Kaleigh R. Reyes, Ujas A. Patel, Charles L. Nunn & David R. Samson: Gibbon sleep quantified: the influence of lunar phase and meteorological variables on activity in *Hylobates moloch* and *Hylobates pileatus*. pp. 749-759.
- Soldati A, Fedurek P, Crockford C, Adué S, Akankwasa JW, Asimwe C, Asua J, Atayo G, Chandia B, Freymann E, Fryns C, Muhumuza G, Taylor D, Zuberbühler K & Hobaiter C: Dead-infant carrying by chimpanzee mothers in the Budongo Forest. pp. 497-508.
- Padrell M, Amici F, Córdoba MP & Llorente M: Cognitive enrichment in a social setting: assessing the use of a novel food maze in sanctuary-housed chimpanzees. pp. 509-524.
- Loudon JE, Lewis AE, Turner TR, Howells ME, Lieurance A & Pender JE: Heavy metal ecotoxicology of vervet monkeys (*Chlorocebus pygerythrus*) across field sites in South Africa. pp. 525-533.
- Spadacenta S, Dicke PW & Thier P: A prosocial function of head-gaze aversion and head-cocking in common marmosets. pp. 535-546.

Book Review

- McGrew WC: Opossums. Chimpanzee memoirs. Stories of studying and saving our closest living relatives, by Stephen Ross & Lydia Hopper (eds.). pp. 547-548.
- Mitani JC: I remember Africa: A field biologist's half-century perspective. pp. 549-550.

Correction

- Hashimoto C, Ryu H, Mouri K, Shimizu K, Sakamaki T & Furuichi T: Correction to: Physical, behavioral, and hormonal changes in the resumption of sexual receptivity during postpartum infertility in female bonobos at Wamba. p. 551.

Volume 63, Number 6, November 2022

Editorial

- Nakamichi M: Good case studies reveal something important. pp. 553-556.
- Nakamichi M: The *Primates* 2022 Most-Cited Paper Award. pp. 557-558.

Review Article "Primate Tales: Memoirs from leaders in primatology"

- Reynolds V: My life with primates. pp. 559-573.

News and Perspectives

- Yamaguchi T & Kazahari N: Fission–fusion dynamics in a wild group of Japanese macaques (*Macaca fuscata*) on Kinkazan Island caused by the repeated separation of an alpha male being followed by females. pp. 575-582.

Correction

- Yamaguchi T & Kazahari N: Correction to: Fission–fusion dynamics in a wild group of Japanese macaques (*Macaca fuscata*) on Kinkazan Island caused by the repeated separation of an alpha male being followed by females. p. 583.

Original Article

- Yoshikawa M, Ogawa H, Koganezawa M & Idani G: Seasonal food changes and feeding behaviour adaptations of savanna chimpanzees at Nguye in Ugalla, Tanzania. pp. 585-601.
- Verspeek J, van Leeuwen EJC, Laméris DW & Stevens JMG: Self-interest precludes prosocial juice provisioning in a free choice group experiment in bonobos. pp. 603-610.

- Garzón-Ospina D & Buitrago SP: Immunoglobulin heavy constant gamma gene evolution is modulated by both the divergent and birth-and-death evolutionary models. pp. 611-625.

- Anand A, Balakrishna N, Singh M, Isbell LA, Sirigeri S, Saikia A & Arlet ME: Infant adoptions in wild bonnet macaques (*Macaca radiata*). pp. 627-635.

- Kifle Z & Beehner JC: Distribution and diversity of primates and threats to their survival in the Awi Zone, northwestern Ethiopia. pp. 931-943.

- Tsutaya T, Ogawa NO, Nomura T, Shimizu M, Ohkouchi N & Kuze N: Carbon and nitrogen stable isotopic offsets between diet and hair/feces in captive orangutans. pp. 637-645.

- Kraus JB & Strier KB: Geographic, climatic, and phylogenetic drivers of variation in colobine activity budgets. pp. 647-658.

- Nakamichi M, Ueno M & Yamada K: Male care in a free-ranging group of Japanese macaques (*Macaca fuscata*). pp. 971-980.

- Schreier AL, Voss KA & Bolt LM: Behavioral responses to riparian and anthropogenic edge effects in mantled howler monkeys (*Alouatta palliata*) in a disturbed riverine forest. pp. 659-670.

- Guimarães VY, Zanoni DS, Alves CEF, Amorim RL & Takahira RK: Immunohematological features of free-living *Alouatta belzebul* (Linnaeus, 1766) red-handed howler monkeys in the Eastern Amazon. pp. 671-682.

- Coleman BT, Setchell JM & Hill RA: Seasonal variation in the behavioural ecology of samango monkeys (*Cercopithecus albogularis schwarzi*) in a southern latitude montane environment. pp. 1005-1018.

- Malta A, Caselli C, Souto A, De la Fuente MF & Schiel N: Number of adult females in a group affects infant motor development of a cooperative breeding primate (*Callithrix jacchus*). pp. 683-689.

Book Review

- McGrew WC: Different: What apes can teach us about gender, by Frans de Waal. pp. 691-692.

Correction

- Fedigan LM: Correction to: My path to primatology: some stories from the field. p. 693.

- Acknowledgements pp. 695-696.

Volume 64, Number 1, January 2023

Cover Illustration

- Nakamichi M, Cavalcante T, Kanamori T, Bennett L & Carvalho S: Cover illustration of *Primates* vol. 64 (2023). pp. 1-2.

Editorial

- Nakamichi M: The *Primates* 2022 Social Impact Award. pp. 3-4.
- Huffman MA: The lessons of history and tradition- On becoming a monkey and other insights gained as a primatologist in Japan. pp. 5-8.

News and Perspectives

- Al-Razi H, Sattar A, Maria M, Guala C & Nekaris KAI: Mixed-species association and a record of a hybrid offspring between *Trachypithecus pileatus* and *Trachypithecus phayrei* in Bangladesh. pp. 9-15.

- Cárdenas-Navarrete A & Belle SV: Birth of a wild black howler monkey (*Alouatta pigra*) at an anthropogenic site. pp. 17-23.

Original Article

Yokoyama T & Furuichi T: Partner choice in genito-genital rubbing among female bonobos (*Pan paniscus*) is highly dependent on physical proximity. pp. 25-33.

Motes-Rodrigo A, Tennie C & Hernandez-Aguilar RA: Bone-related behaviours of captive chimpanzees (*Pan troglodytes*) during two excavating experiments. pp. 35-46.

Tomonaga M & Imura T: Going forward: perceptual bias for forward-facing motion in chimpanzees. pp. 47-63.

Leeds A, Schook MW, Dennis PM, Stoinski TS, Willis MA & Lukas KE: Urinary oxytocin and cortisol concentrations vary by group type in male western lowland gorillas (*Gorilla gorilla gorilla*) in North American zoos. pp. 65-77.

Suzuki H, Huffman MA & Takahata Y: Process of Japanese macaque group fission at Arashiyama and the influences of maternal kin relations and social relations between adult males and females on it. pp. 79-90.

Mazué F, Guerbois C, Fritz H, Rebut N & Petit O: Less bins, less baboons: reducing access to anthropogenic food effectively decreases the urban foraging behavior of a troop of chacma baboons (*Papio hamadryas ursinus*) in a peri-urban area. pp. 91-103.

Correction

Mazué F, Guerbois C, Fritz H, Rebut N & Petit O: Correction to: Less bins, less baboons: reducing access to anthropogenic food effectively decreases the urban foraging behavior of a troop of chacma baboons (*Papio hamadryas ursinus*) in a peri-urban area. p. 105.

Original Article

Bessone M, Kühl HS, Hohmann G, Herbinger I, N'Goran KP, Asanzi P, Da Costa PB, Dérozier V, Fotsing DBE, Ikembelo BB, Iyomi DM, Iyatshi BI, Kafando P, Kambere AM, Moundzoho BD, Musubaho LK & Fruth B: Assessing the effects of survey-inherent disturbance on primate detectability: Recommendations for line transect distance sampling. pp. 107-121.

Hoshino S, Seino S, Azumano A, Tuuga A, Nathan SKSS, Saldivar DAR, Benoit Goossens, Milena Salgado-Lynn, Ikki Matsuda & Masato Yayota: Modifying the diets of captive proboscis monkeys in a temperate zoo to reduce weight loss and renal disease. pp. 123-141.

Dias PAD, Coyohua-Fuentes A, Canales-Espinosa D & Rangel-Negrín A: Demography and life-history parameters of mantled howler monkeys at La Flor de Catemaco: 20 years post-translocation. pp. 143-152.

de Souza VK, Schott D, Wagner PGC, Pavarini SP, Alievi MM, Valle SF & Soares JF: Emergence of *Mansonella* sp. in free-ranging primates in southern Brazil. pp. 153-159.

McGuire KM & Sauther ML: Characterizing group and individual engagement in intergroup encounters between small groups of ring-tailed lemurs (*Lemur catta*) on St. Catherines Island, USA. pp. 161-176.

Koenig CMR, Koenig BL & Sanz CM: Portrayals of wild primates in documentary films: reason for concern? pp. 177-189.

Volume 64, Number 2, March 2023

Editorial

Robbins MM: Reflections on connections. pp. 191-197.

News and Perspectives

Minami T & Ishikawa H: Reactions to a dead adult female in Japanese macaques at Arashiyama: Why did a non-affiliated female groom the corpse? pp. 199-205.

Valença T & Falótico T: Life and death of a disabled wild capuchin monkey infant. pp. 207-213.

Original Article

Nurmi NO, Sonnweber R, Schülke O, Moscovice LR, Deschner T & Hohmann G: Bonobo mothers have elevated urinary cortisol levels during early but not mid or late lactation. pp. 215-225.

Tran DV, Le TT, Vu TT, Nguyen DD, Khotpathoom T, Phung KV, Tran HD, Le NV & Le TC: A review on the status and modeling of suitable habitats of the southern white-cheeked gibbon. pp. 227-237.

Kazahari N, Inoue E, Nakagawa N, Kawamoto Y, Uno T & Inoue-Murayama M: Genetic effects of demographic bottleneck and recovery in Kinkazan Island and mainland populations of Japanese macaques (*Macaca fuscata*). pp. 239-246.

Deng H, Hong W, Zhou J & Li J: A preliminary study on home range and daily travel distance of François' langur in a high-altitude area. pp. 247-259.

Anetai S, Tokita K, Anetai H, Kojima R, Aizawa Y, Kageyama I, Kumaki K, Hirasaki E & Endo H: Morphological significance of the medial brachial cutaneous nerve: An anatomical study of the brachial plexus in primates. pp. 261-272.

Book Review

Sommer V: Chasing after Chimpanzees: The Making of a Primatologist, by William C. McGrew. pp. 273-275.

2. 和文誌 「モンキー」の発行

モンキー編集委員会 (2023年3月31日現在)

編集長

林美里 (中部学院大学、日本モンキーセンター)

編集委員

赤見理恵 (日本モンキーセンター)

伊谷原一 (京都大学、日本モンキーセンター)

今井由香 (日本モンキーセンター)

江藤彩子 (日本モンキーセンター)

川上文人 (中部大学)

齋藤亜矢 (京都芸術大学)

新宅勇太 (京都大学、日本モンキーセンター)

高野智 (日本モンキーセンター)

田和優子 (京都市動物園)

早川卓志 (北海道大学)

平田加奈子 (京都大学)

平田聡 (京都大学)

松田一希 (中部大学)

山梨裕美 (京都市動物園)

湯本貴和 (ナチュラリスト)

綿貫宏史朗 (京都大学、日本モンキーセンター)

協賛団体

天野エンザイム株式会社

支援団体
株式会社三和化学研究所
株式会社フェイスワン

協力
京都大学霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院
中部大学創発学術院
京都芸術大学文明哲学研究所
京都大学野生動物研究センター
中部学院大学
京都市動物園

バックナンバーの公開：
<https://www.j-monkey.jp/lng/jmonkey/index.html>

目次

7巻1号（2022年6月1日発行）
表紙写真：屋久島のニホンザル（撮影：高野智）
特集グラビア：日本モンキーセンターのスタッフが
撮ったニホンザルの四季 2-3
連載「ぼくはこうしてゴリラになった」第22回
音楽が和を作る：山極壽一 4-5
連載「今日も OSARU 日和」第12回
獣医師の仕事：竹下景子 6-7
連載「生態学者が往く」第18回
愛知・犬山の旅：湯本貴和 8-9
連載「タイ王国を巡る」第1回
霊長類のホットスポット・タイ王国を巡る旅への誘い：
豊田有 10-11
連載「大型類人猿探訪」第25回
攻撃性の起源：林美里 12-13
連載「ワイワイワイルドライフ」第1回
キタオットセイをめぐる過去と現在：
三谷曜子 14-15
連載「自然と芸術」第22回
自然が芸術を模倣する？：吉岡洋 16-17
連載「動物園・水族館だより」第16回
カメラトラップでみる大文字山の動物たち：
田和優子 18-19
連載「環境教育実践」第24回
GIGA スクール時代に対応した博物館と学校の連携：
古市博之 20-21
ヤクザル調査隊：半谷吾郎 22-23
日本モンキーセンターだより チンパンジーのマモルとともに：
奥村文彦 24-25
世界の霊長類第5回 テングザル：赤見理恵 26
収蔵資料めぐり第5回 Pr. 5648 ドリル：高野智 27
雑誌モンキーのご案内・団体協賛制度のご案内 28
ニュース・編集後記 裏表紙裏

7巻2号（2022年9月1日発行）
表紙写真：クリイロリーフモンキー（撮影：綿貫宏史朗）
特集グラビア 野生のリーフイーターたち 30-31
連載「ぼくはこうしてゴリラになった」第23回
ナイロビでの日々：山極壽一 32-33
連載「今日も OSARU 日和」第13回
新しい風が吹いてきた：竹下景子 34-35

連載「生態学者が往く」第19回
新潟・松之山の旅：湯本貴和 36-37
連載「タイ王国を巡る」第2回
遺跡の街・ロブリーに住むカニクイザル：
豊田有 38-39
連載「大型類人猿探訪」第26回
ヒトをつなぐ言葉：林美里 40-41
連載「ワイワイワイルドライフ」第2回
ネパールで野生ユキヒョウを研究する：
木下こづえ 42-43
連載「自然と芸術」第23回
旅する猫をモチーフに：ヤノベケンジ 44-45
連載「動物園・水族館だより」第17回
アオウミガメの個性を調べる：工藤宏美 46-47
連載「環境教育実践」第25回
犬山市の小中学校との連携による理科授業
「モンキーワーク」の取り組み〈前編〉：
高野智 48-49
コロブスの消化器官研究ーモンキーセンター標本庫にてー：
松田一希 50-51
日本モンキーセンターだより リーフフェスティバルを
実施して：廣澤麻里 52-53
世界の霊長類第6回 マントヒヒ：綿貫宏史朗 54
収蔵資料めぐり第6回 P-F-115 アビシニアコロブス：
新宅勇太 55
雑誌モンキーのご案内・団体協賛制度のご案内 56
ニュース・編集後記 裏表紙裏

7巻3号（2022年12月1日発行）
表紙：ボノボ（撮影：綿貫宏史朗）
特集グラビア コンゴ民主共和国・ムバリのボノボの森 58-59
連載「ぼくはこうしてゴリラになった」第24回
マウンテンゴリラの学校へ留学する：
山極壽一 60-61
連載「今日も OSARU 日和」第14回
雨降りの慰霊祭、再び：竹下景子 62-63
連載「生態学者が往く」第20回
熊本・阿蘇の旅：湯本貴和 64-65
連載「タイ王国を巡る」第3回
白いまぶたが印象的なダスキールトン：
豊田有 66-67
連載「大型類人猿探訪」第27回
ヒトの言語の進化的起源を探る：林美里 68-69
連載「ワイワイワイルドライフ」第3回
キルギスで野生ユキヒョウを研究する：
木下こづえ 70-71
連載「自然と芸術」第24回
お地藏さまと里山と芸術大学：吉川左紀子 72-73
連載「動物園・水族館だより」第18回
「さわる」から「みつめる」への転換をめざして
～動物との「ふれあい」プログラムの改定：
山梨裕美 74-75
連載「環境教育実践」第26回
犬山市の小中学校との連携による理科授業
「モンキーワーク」の取り組み〈後編〉：
高野智 76-77
豪雪地域のニホンザルは厳冬期に防寒のために洞窟を利用する：
柏木健司 78-79

日本モンキーセンターだより 3年ぶりのボノボの森	
新宅勇太	80-81
世界の霊長類第7回 カニクイザル： 赤見理恵	82
収蔵資料めぐり第7回 Pr.5662 ポト： 高野智	83
雑誌モンキーのご案内・団体協賛制度のご案内	84
ニュース・編集後記	裏表紙裏

7巻4号 (2023年3月1日発行)

表紙：ゴールデンライオンタマリン (撮影：綿貫宏史朗)

特集グラビア

JMC 職員が撮影した CITES I に掲載された野生動物	86-87
連載「ぼくはこうしてゴリラになった」第25回	
6つの死火山： 山極壽一	88-89
連載「今日も OSARU 日和」第15回	
春よ、来い： 竹下景子	90-91
連載「生態学者が往く」第21回	
鹿兒島・屋久島の旅〈前編〉： 湯本貴和	92-93
連載「タイ王国を巡る」第4回	
タイの地獄寺に住むサル・アッサムモンキー：	
豊田有	94-95
連載「大型類人猿探訪」第28回	
愛着のはじまり： 林美里	96-97
連載「ワイワイワイルドライフ」第4回	
ワンバのボノボたちとの三年ぶりの再会：	
徳山奈帆子	98-99
連載「自然と芸術」第25回	
鮮やかな記憶： 戸坂明日香	100-101
連載「動物園・水族館だより」第19回	
ツシヤママネコって？： 伊藤英之	102-103
連載「環境教育実践」第27回	
モンキーキャンパス屋久島研修ツアー： 赤見理恵	104-105
野生生物の保全とワシントン条約：	
寺田佐恵子	106-107
日本モンキーセンターだより	
新アフリカ館ができるまで〈前編〉： 綿貫宏史朗	108-109
世界の霊長類第8回 シロテテナガザル：	
綿貫宏史朗	110
収蔵資料めぐり第8回 eb-2671 馬乗り猿 (木葉猿)：	
新宅勇太	111
雑誌モンキーのご案内・団体協賛制度のご案内	112
ニュース・お知らせ・編集後記	裏表紙裏

(5) 標本等の資試料の収集・管理及び展示

1. 骨格・液浸・剥製・毛皮標本

(1) 標本点数

学名	和名	骨格	臓器液浸	脳液浸	全身液浸	剥製	毛皮・仮剥製
Cheirogaleidae	コビトキツネザル科	4	7	7	1	4	0
<i>Microcebus murinus</i>	ハイロネズミキツネザル	4	7	7	1	4	0
Lemuridae	キツネザル科	69	74	58	73	9	8
<i>Eulemur fulvus</i>	ブラウンキツネザル	1	1	1	2	0	1
<i>Eulemur macaco</i>	クロキツネザル	7	9	7	8	0	1
<i>Eulemur mongoz</i>	マンゲースキツネザル	6	7	4	0	3	2
<i>Lemur catta</i>	ワオキツネザル	37	37	29	35	4	4
<i>Varecia variegata</i>	クロシロエリマキキツネザル	17	20	17	28	2	0
Lemuridae sp.		1	0	0	0	0	0
Galagidae	ガラゴ科	33	41	25	23	7	5
<i>Galago senegalensis</i>	ショウガラゴ	26	29	21	17	4	4
<i>Galagoides demidoff</i>	コビトガラゴ	0	2	0	0	0	0
<i>Otolemur crassicaudatus</i>	オオガラゴ	6	9	4	6	3	1
Galagidae sp.		1	1	0	0	0	0
Lorisidae	ロリス科	70	85	62	35	9	13
<i>Loris tardigradus</i>	スレンダーロリス	7	9	6	1	3	0
<i>Nycticebus bengalensis</i>	ベンガルスローロリス	1	3	3	0	0	0
<i>Nycticebus coucang</i>	スンダスローロリス	41	32	13	4	3	3
<i>Nycticebus pygmaeus</i>	レッサースローロリス	15	31	31	28	0	8
<i>Perodicticus potto</i>	ポト	5	10	9	2	3	2
Lorisidae sp.		1	0	0	0	0	0
Tarsiidae	メガネザル科	2	5	5	2	3	4
<i>Tarsius syrichta</i>	フィリピンメガネザル	2	5	5	2	3	4
Cebidae	オマキザル科	872	849	704	499	58	66
<i>Callimico goeldii</i>	ゲルディモンキー	15	18	13	13	2	3
<i>Callithrix geoffroyi</i>	シロガオマーモセット	30	39	35	11	3	4
<i>Callithrix jacchus</i>	コモンマーモセット	137	117	92	66	2	8
<i>Callithrix penicillata</i>	クロミミマーモセット	38	51	50	38	2	7
<i>Callithrix</i> sp.		5	0	0	0	0	0
<i>Mico argentata</i>	シルバーマーモセット	25	27	19	4	3	2
<i>Mico humeralifera</i>	サンタレムマーモセット	9	14	14	17	0	1
<i>Cebuella pygmaea</i>	ピグミーマーモセット	84	92	85	78	7	10
<i>Leontopithecus rosalia</i>	ゴールデンライオンタマリン	17	16	9	6	7	3
<i>Saguinus bicolor</i>	フタイロタマリン	2	2	2	0	1	0
<i>Saguinus fuscicollis</i>	セマダラタマリン	7	5	1	3	1	0
<i>Saguinus geoffroyi</i>	ジェフロイタマリン	11	11	10	0	1	0
<i>Saguinus imperator</i>	エンペラータマリン	5	6	5	6	2	0
<i>Saguinus labiatus</i>	ムネアカタマリン	35	36	31	18	3	1
<i>Saguinus leucopus</i>	シロテタマリン	8	9	6	0	3	0
<i>Saguinus midas</i>	アカテタマリン	13	15	15	6	2	0
<i>Saguinus mystax</i>	クチヒゲタマリン	30	33	31	23	2	2
<i>Saguinus nigricollis</i>	クロクビタマリン	62	53	47	22	1	0
<i>Saguinus oedipus</i>	ワタボウシタマリン	101	94	81	51	2	4
<i>Saguinus weddelli</i>	ウェッデルタマリン	11	9	9	9	2	2
<i>Saguinus</i> sp.		8	0	0	0	0	0
<i>Sapajus apella</i>	フサオマキザル	19	19	12	23	2	0
<i>Cebus albifrons</i>	シロガオオマキザル	9	9	10	8	1	1
<i>Cebus capucinus</i>	ノドジロオマキザル	10	12	16	9	1	1
<i>Cubus olivaceus</i>	ナキガオオマキザル	1	2	1	5	0	0
<i>Cebus</i> sp.		4	0	0	0	0	0

学名	和名	骨格	臓器液浸	脳液浸	全身液浸	剥製	毛皮・仮剥製
<i>Saimiri boliviensis</i>	ボリビアリスザル	8	10	9	14	0	5
<i>Saimiri sciureus</i>	コモンリスザル	89	77	59	26	3	2
<i>Aotus</i> sp.	ヨザル	74	73	42	43	5	10
Cebidae sp.		5	0	0	0	0	0
Atelidae	クモザル科	91	96	64	49	18	12
<i>Alouatta caraya</i>	クロホエザル	11	12	12	1	4	0
<i>Alouatta guariba</i>	カッシュクホエザル	1	1	1	0	2	0
<i>Alouatta seniculus</i>	アカホエザル	5	2	2	1	0	0
<i>Alouatta</i> sp.		6	1	1	0	0	0
<i>Ateles belzebuth</i>	ケナガクモザル	3	10	5	2	2	0
<i>Ateles geoffroyi</i>	ジェフロイクモザル	21	34	23	32	4	4
<i>Ateles paniscus</i>	クロクモザル	12	17	8	0	3	1
<i>Ateles</i> sp.		14	0	0	0	0	0
<i>Lagothrix lagotricha</i>	フンボルトウーリーモンキー	13	17	10	12	3	6
<i>Lagothrix cana</i>	ハイイロウーリーモンキー	4	2	2	1	0	1
<i>Lagothrix</i> sp.		1	0	0	0	0	0
Pitheciidae	サキ科	37	36	33	16	15	1
<i>Callicebus cupreus</i>	ドウイロティティ	2	1	2	0	2	0
<i>Callicebus donacophilus</i>	ボリビアハイイロティティ	5	5	4	0	2	1
<i>Callicebus moloch</i>	ダスキーティティ	13	13	14	8	2	0
<i>Callicebus torquatus</i>	エリマキティティ	1	1	0	0	0	0
<i>Callicebus</i> sp.		2	1	1	0	1	0
<i>Cacajao calvus rubicundus</i>	アカウアカリ	3	2	1	0	2	0
<i>Chiropotes satanas</i>	クロヒゲサキ	2	0	0	0	0	0
<i>Chiropotes chiropotes</i>	ヒゲサキ	0	1	0	0	0	0
<i>Pithecia monachus</i>	モンクサキ	5	6	5	0	4	0
<i>Pithecia pithecia</i>	シロガオサキ	4	6	6	8	2	0
Cercopithecidae	オナガザル科	2922	2033	1535	799	92	151
<i>Macaca arctoides</i>	ベニガオザル	11	13	8	5	0	0
<i>Macaca assamensis</i>	アッサムモンキー	5	6	4	1	0	0
<i>Macaca cyclopis</i>	タイワンザル	67	65	53	26	2	3
<i>Macaca fascicularis</i>	カンクイザル	669	300	190	123	1	71
<i>Macaca fuscata fuscata</i>	ニホンザル	703	526	400	187	11	18
<i>Macaca fuscata yakui</i>	ヤクシマザル	440	334	239	126	3	2
<i>Macaca fuscata</i>	(ニホンザル)	10	1	1	0	0	0
<i>Macaca maura</i>	ムーアモンキー	9	11	5	1	1	0
<i>Macaca mulatta</i>	アカゲザル	145	118	109	17	0	0
<i>Macaca nemestrina</i>	ミナミブタオザル	38	36	33	24	1	0
<i>Macaca nigra</i>	クロザル	9	7	7	0	0	0
<i>Macaca ochreata brunnescens</i>	ブーツマカク	2	0	0	0	0	0
<i>Macaca radiata</i>	ボンネットモンキー	65	59	41	38	2	3
<i>Macaca silenus</i>	シシオザル	12	14	14	8	2	0
<i>Macaca sinica</i>	トクモンキー	15	19	17	13	0	3
<i>Macaca sylvanus</i>	バーバリーマカク	14	17	14	10	2	2
<i>Macaca thibetana</i>	チベットモンキー	6	5	5	1	0	0
<i>Macaca tonkeana</i>	トンケアンモンキー	2	0	0	0	0	0
<i>Macaca hybrid</i>		2	1	0	0	3	0
<i>Macaca</i> sp.		94	0	0	0	0	0
<i>Cercocebus atys</i>	スーティーマンガベイ	5	5	3	2	1	1
<i>Cercocebus lunulatus</i>	シロカンムリマンガベイ	7	9	8	5	2	1
<i>Cercocebus agilis</i>	アジルマンガベイ	2	1	2	0	0	0
<i>Cercocebus chrysogaster</i>	ゴールデンマンガベイ	2	4	4	1	0	0
<i>Cercocebus torquatus torquatus</i>	シロエリマンガベイ	4	5	2	1	1	0
<i>Cercocebus hybrid</i>		2	1	2	0	0	0
<i>Cercocebus</i> sp.		3	0	0	0	0	0

学名	和名	骨格	臓器液浸	脳液浸	全身液浸	剥製	毛皮・仮剥製
<i>Lophocebus albigena</i>	ホオジロマンガベイ	2	2	1	0	2	0
<i>Mandrillus leucophaeus</i>	ドリル	13	12	3	5	3	1
<i>Mandrillus sphinx</i>	マンドリル	17	13	11	16	1	0
<i>Papio anubis</i>	アヌビスヒビ	61	48	39	62	1	1
<i>Papio cynocephalus</i>	キイロヒビ	17	15	6	0	0	0
<i>Papio hamadryas</i>	マントヒビ	5	4	5	16	0	1
<i>Papio papio</i>	ギニアヒビ	6	7	7	0	0	0
<i>Papio</i> sp.		15	0	0	0	0	1
<i>Theropithecus gelada</i>	ゲラダヒビ	5	5	2	2	1	0
<i>Allenopithecus nigroviridis</i>	アレンモンキー	1	1	1	1	1	0
<i>Cercopithecus albogularis</i>	サイクスモンキー	8	10	9	1	2	1
<i>Cercopithecus ascanius</i>	アカオザル	10	9	7	0	0	1
<i>Cercopithecus ascanius schmidti</i>	シュミットグエノン	4	3	3	0	1	0
<i>Cercopithecus cephus</i>	クチヒゲグエノン	5	6	4	0	1	0
<i>Cercopithecus diana</i>	ダイアナモンキー	2	3	2	0	1	0
<i>Cercopithecus doggetti</i>	シルバーグエノン	2	1	0	0	1	0
<i>Cercopithecus hamlyni</i>	フクロウグエノン	1	3	2	0	2	1
<i>Cercopithecus lhoesti</i>	ロエストグエノン	4	5	5	1	1	0
<i>Cercopithecus mitis</i>	ブルーモンキー	2	2	1	0	0	1
<i>Cercopithecus mona</i>	モナモンキー	12	13	9	10	1	1
<i>Cercopithecus neglectus</i>	ブラッサグエノン	14	15	12	3	1	2
<i>Cercopithecus petaurista buettikoferi</i>	バッティコファークグエノン	10	11	7	3	1	2
<i>Cercopithecus</i> sp.		3	1	1	0	0	1
<i>Chlorocebus aethiops</i>	サバンナモンキー	16	13	10	5	4	1
<i>Chlorocebus cynosuros</i>	マルブラウクモンキー	2	3	3	0	0	0
<i>Chlorocebus pygerythrus</i>	ベルベットモンキー	2	0	0	0	0	0
<i>Miopithecus talapoin</i>	タラポアン	14	14	12	2	4	1
<i>Miopithecus ogouensis</i>	キタタラポアン	0	1	1	0	0	0
<i>Erythrocebus patas</i>	パタスモンキー	125	81	67	21	2	5
<i>Cercopithecinae</i> sp.		21	0	0	0	0	0
<i>Colobus angolensis</i>	アンゴラコロブス	15	23	22	5	3	0
<i>Colobus guereza</i>	アビシニアコロブス	15	25	24	4	2	6
<i>Colobus polykomos</i>	キングコロブス	6	1	0	0	0	1
<i>Ptilocolobus badius</i>	ニシアカコロブス	3	3	0	0	3	1
<i>Presbytis melalophos</i>	クロカンムリリーフモンキー	0	1	1	0	0	0
<i>Semnopithecus entellus</i>	ハヌマンラングール	51	54	39	17	4	11
<i>Trachypithecus cristatus</i>	シルバールトン	24	29	29	27	2	1
<i>Trachypithecus francoisi</i>	フランソワルトン	11	10	10	5	3	2
<i>Trachypithecus obscurus</i>	ダスキールトン	11	10	7	0	1	1
<i>Trachypithecus pileatus</i>	ボウシラングール	6	7	4	2	3	0
<i>Trachypithecus vetulus</i>	カオムラサキラングール	3	3	2	0	1	1
<i>Trachypithecus vetulus vetulus</i>	ニシカオムラサキラングール	1	1	0	0	1	1
<i>Presbytis</i> sp.		4	0	0	0	0	0
<i>Nasalis larvatus</i>	テングザル	6	7	6	2	5	1
<i>Pygathrix nemaeus</i>	アカアシドゥクラングール	1	0	0	0	1	0
<i>Colobinae</i> sp.		1	1	0	0	0	0
<i>Cercopithecidae</i> sp.		22	0	0	0	0	0
Hylobatidae	テナガザル科	84	51	39	9	12	17
<i>Hylobates agilis</i>	アジルテナガザル	11	9	6	2	2	0
<i>Hylobates klossii</i>	クロステナガザル	2	2	0	0	0	0
<i>Hylobates lar</i>	シロテナガザル	41	18	15	1	4	2
<i>Hylobates moloch</i>	ワウワウテナガザル	3	4	3	2	1	0
<i>Hylobates pileatus</i>	ボウシテナガザル	5	1	0	0	1	2
<i>Hylobates (moloch + lar)</i>		1	1	1	0	0	0
<i>Hylobates</i> sp.		8	0	0	0	0	13

学名	和名	骨格	臓器液浸	脳液浸	全身液浸	剥製	毛皮・仮剥製
<i>Hoolock hoolock</i>	フーロックテナガザル	2	2	2	0	0	0
<i>Nomascus concolor</i>	カンムリテナガザル	3	2	4	0	1	0
<i>Symphalangus syndactylus</i>	フクロテナガザル	8	12	8	4	3	0
Hominidae	ヒト科	28	30	19	10	16	1
<i>Pongo pygmaeus</i>	ボルネオオランウータン	8	6	3	1	3	1
<i>Pan troglodytes</i>	チンパンジー	12	19	11	9	5	0
<i>Gorilla gorilla gorilla</i>	ニシローランドゴリラ	6	3	3	0	6	0
<i>Gorilla beringei graueri</i>	ヒガシローランドゴリラ	2	2	2	0	2	0
Primates 科不明	霊長目 科不明	1	0	0	0	0	0
misc. Primates		1	0	0	0	0	0
Scandentia	登木目	24	21	10	2	5	5
<i>Dendrogale melanura</i>	ミナミホソオツパイ	1	0	0	0	0	0
<i>Tupaia glis</i>	コモンツパイ	10	13	8	2	1	5
<i>Tupaia gracilis</i>	ホソツパイ	1	0	0	0	0	0
<i>Tupaia minor</i>	ショウツパイ	1	0	0	0	0	0
Tupaiaidae sp.		10	8	2	0	4	0
<i>Ptilocercus lowii</i>	ハネオツパイ	1	0	0	0	0	0
Other mammals	その他の哺乳類	231	2	0	3	1	8
Artiodactyla	偶蹄目	80	0	0	0	0	0
Carnivora	食肉目	71	0	0	0	1	3
Chiroptera	翼手目	1	0	0	0	0	0
Diprodontia	双前歯目	18	0	0	0	0	0
Dermoptera	皮翼目	1	0	0	0	0	0
Lagomorpha	兎形目	9	0	0	0	0	0
Perissodactyla	奇蹄目	4	0	0	0	0	0
Pilosa	有毛目	1	0	0	0	0	0
Rodentia	齧歯目	36	2	0	0	0	2
Soricomorpha	トガリネズミ形目	10	0	0	3	0	3
Others	その他	29	0	0	2	6	0
Aves	鳥類	21	0	0	0	6	0
Reptilia	爬虫類	8	0	0	1	0	0
Actinopterygii	硬骨魚類	0	0	0	1	0	0
霊長類 計		4213	3307	2551	1516	243	278
霊長類以外 計		284	23	10	7	12	13
総計		4497	3330	2561	1523	255	291
2022年度 収集数		43	22	20	2	0	11

(2) 資料の修復

① 剥製標本の修繕

修繕資料：P-S-0046 アカオザル、P-S-0175 ピグミーマーモセット、P-S-0180 ニホンザル 計3点

依頼先：アトリエ杉本

2. 寄生虫標本

宿主		寄生虫			
学名	和名	線虫	条虫	吸虫	その他
Cheirogaleidae	コビトキツネザル科	0	1	0	0
<i>Microcebus murinus</i>	ハイイロネズミキツネザル	0	1	0	0
Galagidae	ガラゴ科	5	3	0	1
<i>Galago senegalensis</i>	ショウガラゴ	2	1	0	0
<i>Otolemur crassicaudatus</i>	オオガラゴ	3	2	0	1
Lorisidae	ロリス科	9	5	1	1
<i>Loris tardigradus</i>	スレンダーロリス	3	0	0	0
<i>Nycticebus coucang</i>	スンダスローロリス	6	4	1	1
<i>Nycticebus pygmaeus</i>	レッサースローロリス	0	1	0	0
Tarsiidae	メガネザル科	0	1	0	0
<i>Tarsius syrichta</i>	フィリピンメガネザル	0	1	0	0
Cebidae	オマキザル科	109	5	1	6
<i>Callimico goeldii</i>	ゲルディモンキー	0	1	0	0
<i>Mico argentata</i>	シルバーマーモセット	4	0	0	1
<i>Callithrix geoffroyi</i>	シロガオマーモセット	3	0	0	0
<i>Callithrix jacchus</i>	コモンマーモセット	45	0	0	1
<i>Cebuella pygmaea</i>	ピグミーマーモセット	2	0	0	0
<i>Leontopithecus rosalia</i>	ゴールドンライオンタマリン	0	0	0	2
<i>Saguinus fuscicollis</i>	サドルバックタマリン	1	0	0	0
<i>Saguinus labiatus</i>	ムネアカタマリン	2	0	0	0
<i>Saguinus leucopus</i>	シロテタマリン	1	0	0	0
<i>Saguinus midas</i>	アカテタマリン	2	0	0	1
<i>Saguinus mystax</i>	クチヒゲタマリン	9	0	0	0
<i>Saguinus nigricollis</i>	クロクビタマリン	20	1	1	0
<i>Saguinus oedipus</i>	ワタボウシタマリン	4	0	0	1
<i>Cebus capucinus</i>	ノドジロオマキザル	0	1	0	0
<i>Saimiri sciureus</i>	コモンリスザル	15	2	0	0
<i>Aotus sp.</i>	ヨザル	1	0	0	0
Atelidae	クモザル科	11	3	0	1
<i>Alouatta caraya</i>	クロホエザル	0	2	0	0
<i>Alouatta sp.</i>		0	1	0	0
<i>Ateles geoffroyi</i>	ジェフロイクモザル	1	0	0	0
<i>Ateles panisucus</i>	クロクモザル	8	0	0	1
<i>Lagothrix lagotricha</i>	フンボルトウーリーモンキー	2	0	0	0
Pitheciidae	サキ科	2	2	0	0
<i>Callicebus cupreus</i>	ドウイロティティ	1	0	0	0
<i>Callicebus moloch</i>	ダスキーティティ	0	2	0	0
<i>Pithecia monachus</i>	モンクサキ	1	0	0	0
Cercopitheciidae	オナガザル科	243	14	11	8
<i>Macaca cyclopis</i>	タイワンザル	5	1	0	0
<i>Macaca fascicularis</i>	カニクイザル	51	1	8	3
<i>Macaca fuscata fuscata</i>	ニホンザル	76	7	0	0
<i>Macaca fuscata yakui</i>	ヤクシマザル	33	2	0	0
<i>Macaca maura</i>	ムーアモンキー	2	0	0	0
<i>Macaca mulatta</i>	アカゲザル	26	1	0	2
<i>Macaca nemestrina</i>	ブタオザル	1	0	0	1
<i>Macaca radiata</i>	ボンネットモンキー	2	0	0	0
<i>Macaca sylvanus</i>	バーバリーマカク	1	0	0	0
<i>Macaca thibetana</i>	チベットモンキー	1	0	0	0
<i>Macaca hybrid</i>		1	0	0	0
<i>Mandrillus sphinx</i>	マンドリル	1	0	0	0
<i>Papio anubis</i>	アヌビスヒヒ	1	0	0	0

宿主		寄生虫			
学名	和名	線虫	条虫	吸虫	その他
<i>Papio cynocephalus</i>	キイロヒビ	6	1	0	0
<i>Papio hamadryas</i>	マントヒビ	1	0	0	0
<i>Papio papio</i>	ギニアヒビ	1	0	0	0
<i>Cercopithecus albogularis</i>	サイクスモンキー	1	0	0	0
<i>Cercopithecus ascanius</i>	アカオザル	0	1	0	0
<i>Cercopithecus mitis</i>	ブルーモンキー	1	0	0	0
<i>Cercopithecus mona</i>	モナモンキー	1	0	0	0
<i>Chlorocebus aethiops</i>	サバンナモンキー	1	0	0	0
<i>Miopithecus talapoin</i>	タラポアン	2	0	0	0
<i>Erythrocebus patas</i>	パタスザル	24	0	1	0
<i>Colobus guereza</i>	アビシニアコロブス	0	0	1	0
<i>Ptilocolobus badius</i>	ニシアカコロブス	1	0	0	0
<i>Semnopithecus entellus</i>	ハヌマンラングール	2	0	0	2
<i>Trachypithecus francoisi</i>	フランソワルトン	0	0	1	0
<i>Trachypithecus obscurus</i>	ダスキールトン	1	0	0	0
Hylobatidae	テナガザル科	8	2	0	0
<i>Hylobates agilis</i>	アジルテナガザル	1	0	0	0
<i>Hylobates lar</i>	シロテナガザル	3	2	0	0
<i>Hoolock hoolock</i>	フーロックテナガザル	1	0	0	0
<i>Symphalangus syndactylus</i>	フクロテナガザル	3	0	0	0
Hominidae	ヒト科	15	0	0	0
<i>Pan troglodytes</i>	チンパンジー	15	0	0	0
Scandentia	登木目	4	0	0	0
Tupaiaidae sp.		4	0	0	0
Others	その他	1	0	0	1
Aves	鳥類	1	0	0	1
霊長類 計		402	36	13	17
総計		407	36	13	18
2022年度 収集数		0	0	0	0

3. 複製資料

標本番号	学名	性別・部位等
KNM-CA 380	<i>Micropithecus clarki</i>	下顎骨
KNM-SO 700	<i>Rangwapithecus gordonii</i>	上顎骨
KNM-RU 1850	<i>Dendropithecus macinnesi</i>	上下顎骨
KNM-RU 2087	<i>Proconsul nyanzae</i>	下顎骨
KNM-RU 7290	<i>Proconsul heseloni</i>	頭骨
KNM-SO 396	<i>Proconsul major</i>	下顎骨
KNM-FT 46	<i>Kenyanthropus wickeri</i>	上顎骨片と犬歯
KNM-KP 29281, 29283, 28285B, 28285A	<i>Australopithecus anamensis</i>	上下顎, 脛骨
KNM-WT 40000	<i>Kenyanthropus platyops</i>	頭骨
KNM-WT 17000	<i>Paranthropus aethiopicus</i>	頭骨
KNM-ER 406	<i>Paranthropus boisei</i>	頭骨
KNM-ER 729	<i>Paranthropus boisei</i>	下顎骨
KNM-CA 732	<i>Paranthropus boisei</i>	頭骨
KNM-ER 999	<i>Homo habilis</i>	大腿骨
KNM-ER 1470	<i>Homo rudolfensis</i>	頭骨
KNM-ER 1472	<i>Homo habilis</i>	右大腿骨
KNM-CA 1802	<i>Homo habilis</i>	下顎骨
KNM-ER 1813	<i>Homo habilis</i>	頭骨
KNM-ER 3733	<i>Homo ergaster</i>	頭骨
KNM-WT 15000	<i>Homo ergaster</i>	全身骨格
KNM-WT 16999	<i>Afropithecus turkanensis</i>	頭骨
OH-2	<i>Australopithecus afarensis</i>	下顎骨
OH-5	<i>Paranthropus boisei</i>	頭骨
OH-7	<i>Homo habilis</i>	下顎骨
OH-8	<i>Homo habilis</i>	足骨
OH-13	<i>Homo habilis</i>	上下顎骨
OH-24	<i>Homo habilis</i>	頭骨
WN-64 (Peninj-160)	<i>Paranthropus boisei</i>	下顎骨
SK 48	<i>Paranthropus robustus</i>	頭骨
STS 5	<i>Australopithecus africanus</i>	頭骨
Taung Child	<i>Australopithecus africanus</i>	頭骨
Peking Man	<i>Homo erectus</i>	頭骨
Sangiran 17	<i>Homo erectus</i>	頭骨
Kabwe Skull	<i>Homo heidelbergensis</i>	頭骨
La Ferrassie 1	<i>Homo neanderthalensis</i>	頭骨
LB-1	<i>Homo floresiensis</i>	頭骨
CGM 40237	<i>Aegyptopithecus zeuxis</i>	頭骨
PIN 3381-236	<i>Parapresbytis eohanuman</i>	下顎骨
GSP 15000	<i>Sivapithecus indicus</i>	頭骨
<i>A. afarensis</i> 復元頭蓋	<i>Australopithecus afarensis</i>	頭骨
Zos 50	<i>Gorilla gorilla</i>	オスの頭骨
Zos 53	<i>Pan troglodytes</i>	オスの頭骨
SH-10	<i>Homo sapiens</i>	男性の頭骨
JMC-Re-1	<i>Homo sapiens</i>	男性の全身骨格
JMC-Re-2	<i>Pan troglodytes</i>	オスの全身骨格
JMC-Re-3	<i>Homo sapiens</i>	アジア人男性の頭骨
JMC-Re-4	<i>Pan troglodytes</i>	オスの頭骨
JMC-Re-5	<i>Gorilla gorilla</i>	オスの頭骨
JMC-Re-6	<i>Homo sapiens</i>	女性の頭骨、骨盤、右上腕骨、右大腿骨
JMC-Re-7	<i>Homo sapiens</i>	子供（5歳）の頭骨、骨盤、右上腕骨、右大腿骨
JMC-Re-8	<i>Panthera leo</i>	頭骨
JMC-Re-9	<i>Daubentonia madagascariensis</i>	頭骨
JMC-Re-10	<i>Daubentonia madagascariensis</i>	右前肢

標本番号	学名	性別・部位等
JMC-Re-11	<i>Tarsius sp.</i>	頭骨
JMC-Re-12	<i>Cynocephalus volans</i>	頭骨
JMC-Re-13	<i>Castor canadensis</i>	頭骨
JMC-Re-14	<i>Phascolarctos cinereus</i>	頭骨
JMC-Re-15	<i>Homo sapiens</i>	胎児頭骨
JMC-Re-16	<i>Pan troglodytes</i>	胎児頭骨
JMC-Re-17	<i>Pan troglodytes</i>	骨盤

2022 年度収集数 0 点

4. 分野別民俗資料点数 (猿二郎コレクション)

分類番号	種別	点数	分類番号	種別	点数
00			583.97	縄製品	1
050	逐次刊行物	16	586.27	綿製品 (たおる、てぬぐい)	14
070	和書	29	586.37	麻製品	4
090	古書	17	586.78	織機	1
200			588.38	飴菓子	5
288.9	旗	1	588.39	雑菓子	5
300			588.55	果実酒 (容器)	17
336.94	暖簾、看板	20	589.211	和服	7
337.31	金貨	3	589.215	子供服、Tシャツ	2
337.32	銀貨	4	589.224	ネクタイ	5
337.33	補助貨幣 (銅貨など)	1	589.225	ハンカチ	7
337.4	紙幣	2	589.23	靴下、足袋	4
348.6	タバコ関係	31	589.24	マフラー、ネックチーフ	2
375.9	教科書	8	589.253	靴、スリッパ	1
380	風俗、習慣、民俗	37	589.27	ハンドバック、袋物 (財布)	21
383.3	アクセサリ、マスコット、根付	146	589.28	ボタン、タイピン、カフス	9
383.55	髪飾、小間物 (くし、こうがい、かんざし)	3	589.3	傘、扇、団扇	19
383.9	居住、民具	5	589.4	洋傘	1
386	祭礼	2	589.49	杖、ステッキ	1
387	信仰、民間信仰と迷信	45	589.5	ブラシ	1
387.1	絵馬	200	589.7	文房具、運動具、貯金箱	102
400			594.1	モール	4
458	岩石	11	596.5	厨房具、食器	59
470	植物	13	597	住居、家具、調度	38
474.8	菌類	7	597.2	カーテン、簾、タペストリー	16
489.9	霊長類	1	597.7	床飾、インテリア	2
499.88	薬用動物	1	599.8	絵本	3
500			600		
524	天井	1	629.61	灯籠	9
524.86	出入口 (窓、戸)	3	674.7	宣伝広告用印刷物、新聞、PR 誌、 シール、チラシ、案内状、シオリ	219
535.2	時計	2	674.71	千社札	44
545.28	電灯支持具、照明	4	674.72	ポスター	164
545.5	灯具 (行燈、提灯、ランプ)	4	674.73	カレンダー	24
573.38	タイル	6	675.18	包装、ラベル、容器	39
576.4	蝋燭	1	675.181	マッチラベル	274
581	金属製品	7	688.5	観光みやげ物	219
581.1	鋳物製品	32	693.8	切手、葉書、スタンプ	275
581.7	刃物類 (スプーン、 フォーク、ナイフ、鉄)	6	699.67	ラジオ、テレビ、演劇、娯楽	1
583	木製品	13	700		
583.92	竹製品	3	711.9	仮面 (郷土玩具を除く)	15
583.94	蔓製品 (藤、籐、あけび)	3	713	木彫	285
583.96	藁製品	2	714	石彫	85
			717	粘土彫刻、テラコッタ、蝋、石鹼	7

分類番号	種別	点数
718.4	石仏、仏像	5
720	絵画	37
721.2	大和絵、絵巻物	36
721.3	水墨画	10
721.6	写生画	15
721.7	文人画、南画、俳画、色紙	81
721.8	浮世絵、錦絵、大津絵	49
724.8	ガラス絵	1
726.58	絵葉書	125
726.7	児童画	1
726.8	影絵（シュリエット）	1
728.8	書跡	9
729.3	墨	4
729.5	硯	8
729.6	文鎮	9
729.7	水差し	5
733	木版画、版木	22
739.1	印章材料	10
745	陽画（写真）	47
751.3	陶磁器（皿、絵皿）	455
751.31	灰皿	20
751.32	徳利、杯	17
751.33	急須、湯呑	17
751.4	埴輪、古瓦	16
751.5	ガラス工芸	20
751.9	プラスチック	45
752	漆工芸	3
753.7	刺繍	11
753.8	染物	2
754	木工芸	95
754.7	竹工芸	36
754.9	紙工芸（折り紙、せん紙、 ペーパークラフト）	38
755.4	牙角細工	21

分類番号	種別	点数
755.5	革細工	3
755.6	貝細工	6
756.14	鍍金	78
756.6	刀剣、鐔	14
756.7	甲冑	1
759	人形、玩具	340
759.9	郷土玩具、郷土人形	19
759.91	土人形、土笛、土面	541
759.92	首人形	13
759.93	土鈴、陶鈴、鈴	164
759.94	張り子	99
759.95	凧	5
759.96	張り子面、土面子	159
759.97	紙塑	5
759.98	練り物	6
759.99	木、竹、その他	159
774	歌舞伎	2
777.1	人形浄瑠璃	6
777.8	影絵芝居、ギニョール、 マリオネット	30
791.5	茶器、菓子器	23
792.6	香合、香炉	16
793.5	花器	7
900		
909.3	童話	10
000	未分類	1
合計		5,678点

2022年度新規登録数 11点

5. 音響・映像資料

2023年3月31日現在、42点の映像資料、および以下の映像機器が登録されている。

ビデオデッキ		液晶プロジェクター	
SONY VHS SLV-F6	1	東芝 TLP781J	1
カラービデオカメラ		EPSON EMP1710	1
SONY CCD-G5	1	EPSON EH-TW5200	1 (PWS)
デジタルビデオカメラ		CD/DVD プレーヤー / レコーダー	
Panasonic NV-GS50	1	SONY DVP-NS53P	1
SONY DCR-PC5	1	Panasonic DVD-S39	1
SONY DCR-HC62	1	Victor SR-DVM700	1
デジタルハイビジョンビデオカメラ		CCD-001	1
Panasonic HDC-HS100	2	テレビモニター	
8mm 映写機		TOSHIBA REGZA 37C7000	1
エルモ E80	1	By D:sign d:4222GJV3	1
16mm 映写機		Panasonic VIERA TH-37TX50	1
BELL & HOWELL	1	I・O Data LCD-MF223FBR-T	1 (PWS)
スライドプロジェクター		Panasonic TH-42AS600	1 (PWS)
ファミリーキャビン	1		
Master Lux	1		
オーバーヘッドプロジェクター	1		

6. 図書資料

2022 年度に受け入れた資料は、次のとおりである。

図書	6 点
定期刊行物（雑誌類等）	418 点

2023 年 3 月 31 日現在、保有する登録図書資料（製本分を含む）は、次のとおりである。

和書	6,086 点
洋書	3,745 点
計	9,831 点

逐次刊行物を受贈した機関は次のとおりである。

〈一般および研究関係等〉

Springer	環境省自然環境局生物多様性センター	全日本写真連盟	日本生物多様性情報イニシアチブ
愛銀教育文化財団	北白川書房	丹波篠山市	日本動物愛護協会
愛知学院大学歯学会	京都大学生態学研究センター	中国科学院昆明動物研究所	日本動物心理学会
愛知県生涯学習推進センター	京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科	中部科学技術センター	日本霊長類学会
愛知県立明和高等学校	公正事業支援協会	同志社大学博物館学芸員課程	農林水産省動物検疫所
石川県白山自然保護センター	國學院大學博物館学研究室	東京農業大学学術情報通信課程	放送大学愛知学習センター
一般社団法人実践倫理宏正会	国立感染症研究所	名古屋国際センター	ボルネオ保全トラスト・ジャパン
岩手大学農学部附属寒冷フィールドサイエンス教育研究センター	国立極地研究所	なごや生物多様性センター	三重県林業研究所
岩波書店	国立文化財機構文化財活用センター	なごや生物多様性保全活動協議会	宮城のサル調査会
栄研化学株式会社	古今怪奇刊行会	成田山名古屋別院大聖寺	明治大学学芸員養成課程
大阪自然環境保全協会	市民 ZOO ネットワーク	南山考古文化人類学研究会	野生生物保全論研究会
神奈川大学日本常民文化研究所		日本自然保護協会	野生動物保護管理事務所
川村学園女子大学		日本人類学会	山階鳥類研究所

〈博物館等〉

熱田神宮宝物館	神奈川県立生命の星・地球博物館	徳島県立博物館	平塚市博物館
犬山城白帝文庫	蟹江町歴史民俗資料館	栃木県立博物館	福井市自然史博物館
茨城県自然博物館	刈谷市歴史博物館	鳥取県立博物館	鳳来寺山自然科学博物館
岩手県立博物館	北九州市立自然史・歴史博物館	富山市科学博物館	北海道博物館
江戸東京博物館	岐阜県博物館	豊田市郷土資料館	みのかも文化の森
大阪市立自然史博物館	京都大学総合博物館	豊橋市美術博物館	みよし市立歴史民俗資料館
大阪歴史博物館	群馬県立自然史博物館	名古屋博物館	山口県立山口博物館
大府市歴史民俗資料館	国立民族学博物館	奈良県立民俗博物館	和歌山県立自然博物館
大町山岳博物館	たばこと塩の博物館	日本大学生物資源学部	
岡崎市美術博物館	田原市博物館	日本博物館協会	
華山会	千葉県立中央博物館	半田市立博物館	

〈動物園・水族館等〉

アクアマリンふくしま	市動物総合センター	しまね海洋館アクアス	のとじま水族館
アクアワールド茨城県大洗水族館	東京都恩賜上野動物園	世界淡水魚園水族館アクア・トトぎふ	浜松市動物園
旭川市旭山動物園	葛西臨海水族園	仙台市八木山動物公園	日立市かみね動物園
熱川バナナワニ園熱帯動植物友の会	鴨川シーワールド	天王寺動物園	姫路市立動物園
いしかわ動物園	釧路市動物園	東京動物園協会	広島市みどり生きもの協会
岡崎市東公園動物園・岡崎	高知県立のいち動物公園	鳥羽水族館	福山市立動物園
	札幌市円山動物園	名古屋港水族館	横浜市緑の協会

(6) 霊長類の福祉に配慮した動物園の設置及び経営

1. 飼育動物一覧（2023年3月31日現在）

(1) 霊長類

種名	学名	合計	オス	メス	不明
ワオキツネザル	<i>Lemur catta</i>	50	19	31	0
クロシロエリマキキツネザル	<i>Varecia variegata</i>	1	0	1	0
クロキツネザル	<i>Eulemur macaco</i>	2	1	1	0
ブラウンキツネザル	<i>Eulemur fulvus</i>	1	0	1	0
レッサースローロリス	<i>Nycticebus pygmaeus</i>	6	3	3	0
ポト	<i>Perodicticus potto</i>	3	2	1	0
ショウガラゴ	<i>Galago senegalensis</i>	1	1	0	0
コモンマーモセット	<i>Callithrix jacchus</i>	6	5	1	0
クロミミマーモセット	<i>Callithrix penicillata</i>	9	7	2	0
アカテタマリン	<i>Saguinus midas</i>	7	5	2	0
ムネアカタマリン	<i>Saguinus labiatus</i>	1	0	1	0
ワタボウシタマリン	<i>Saguinus oedipus</i>	9	4	5	0
ヨザル	<i>Aotus spp.</i>	10	4	6	0
シロガオサキ	<i>Pithecia pithecia</i>	1	1	0	0
ヒゲサキ	<i>Chiropotes chiropotes</i>	2	1	1	0
ノドジロオマキザル	<i>Cebus capucinus</i>	5	2	3	0
シロガオオマキザル	<i>Cebus albifrons</i>	5	3	2	0
フサオマキザル	<i>Sapajus apella</i>	22	12	10	0
ボリビアリスザル	<i>Saimiri boliviensis</i>	22	14	8	0
コロンビアクロクモザル	<i>Ateles fuscipes</i>	1	0	1	0
ペルークロクモザル	<i>Ateles chamek</i>	1	1	0	0
クモザル（種間交雑）	<i>Ateles hybrid</i>	7	4	3	0
ジェフロイクモザル	<i>Ateles geoffroyi</i>	6	2	4	0
ハイロウーリーモンキー	<i>Lagothrix cana</i>	2	2	0	0
バーバリーマカク	<i>Macaca sylvanus</i>	17	8	9	0
トクモンキー	<i>Macaca sinica</i>	23	8	15	0
ボンネットモンキー	<i>Macaca radiata</i>	13	4	9	0
シシオザル	<i>Macaca silenus</i>	9	3	6	0
ミナミブタオザル	<i>Macaca nemestrina</i>	7	3	4	0
カニクイザル	<i>Macaca fascicularis</i>	78	32	46	0
アカゲザル	<i>Macaca mulatta</i>	3	0	3	0
タイワンザル	<i>Macaca cyclopis</i>	1	1	0	0
チベットモンキー	<i>Macaca thibetana</i>	5	1	4	0
ニホンザル	<i>Macaca fuscata fuscata</i>	118	59	59	0
ヤクシマザル	<i>Macaca fuscata yakui</i>	143	75	68	0
ゴールデンマンガベイ	<i>Cercocebus chrysogaster</i>	1	1	0	0
アヌビスヒヒ	<i>Papio anubis</i>	80	32	48	0
マントヒヒ	<i>Papio hamadryas</i>	6	3	3	0
マンドリル	<i>Mandrillus sphinx</i>	12	6	6	0
クチヒゲゲエノン	<i>Cercopithecus cephus</i>	1	0	1	0
サイクスモンキー	<i>Cercopithecus alboglaris</i>	1	0	1	0
ブラッサグエノン	<i>Cercopithecus neglectus</i>	2	1	1	0
アカオザル	<i>Cercopithecus ascanius</i>	4	0	4	0
ショウハナジロゲエノン	<i>Cercopithecus petaurista</i>	1	0	1	0
ベルベットモンキー	<i>Chlorocebus pygerythrus</i>	7	1	6	0
キタタラポアン	<i>Miopithecus ogouensis</i>	3	1	2	0
パタスモンキー	<i>Erythrocebus patas</i>	6	2	4	0

種名	学名	合計	オス	メス	不明
フランソワルトン	<i>Trachypithecus francoisi</i>	2	1	1	0
アビシニアコロブス	<i>Colobus guereza</i>	3	1	2	0
アンゴラコロブス	<i>Colobus angolensis</i>	1	1	0	0
シロテテナガザル	<i>Hylobates lar</i>	4	3	1	0
ボウシテナガザル	<i>Hylobates pileatus</i>	4	3	1	0
ミユラーテナガザル	<i>Hylobates muelleri</i>	1	0	1	0
フクロテナガザル	<i>Symphalangus syndactylus</i>	9	4	5	0
ニシゴリラ	<i>Gorilla gorilla gorilla</i>	1	1	0	0
チンパンジー	<i>Pan troglodytes</i>	8	5	3	0
計		754	353	401	0

(2) その他動物

種名	学名	合計	オス	メス	不明
イヌ	<i>Canis familiaris</i>	1	0	1	0
シバヤギ	<i>Capra hircus</i>	1	1	0	0
チリアンコモン	<i>Grammostola rosea</i>	1	0	0	1
総計		3	1	1	1

2. ブリーディングローン動物一覧（2023年3月31日現在）

(1) 貸付動物

種名	個体数	出園日 / 誕生日	現飼育施設
ハイイロウーリーモンキー <i>Lagothrix cana</i>	オス 1	1999年2月18日 (横浜市立よこはま動物園で出生)	横浜市立よこはま動物園
シシオザル <i>Macaca silenus</i>	オス 1	1999年9月3日 (長野市茶臼山動物園で出生)	天王寺動物園
ブラッサグエノン <i>Cercopithecus neglectus</i>	オス 1	2003年5月4日 (広島市安佐動物公園にて出生)	広島市安佐動物公園
シシオザル <i>Macaca silenus</i>	メス 1	2005年11月12日 (出園)	東武動物公園
ブラッサグエノン <i>Cercopithecus neglectus</i>	メス 1	2006年5月22日 (広島市安佐動物公園にて出生)	神戸市立王子動物園
ワオキツネザル <i>Lemur catta</i>	オス 2 メス 2	2014年7月23日 (出園)	旭川市旭山動物園
ワオキツネザル <i>Lemur catta</i>	オス 6 メス 2	2014年10月21日 (出園)	神戸どうぶつ王国
ワオキツネザル <i>Lemur catta</i>	メス 2	2014年10月21日 (出園) (神戸どうぶつ王国から移動)	那須どうぶつ王国
ブラッサグエノン <i>Cercopithecus neglectus</i>	メス 1	2014年10月23日 (神戸市立王子動物園にて出生)	神戸市立王子動物園
ワオキツネザル <i>Lemur catta</i>	オス 2	2014年11月16日 (出園)	熊本市動植物園
マンドリル <i>Mandrillus sphinx</i>	オス 1	2014年11月27日 (出園)	鹿児島市平川動物公園
ポリビアリスザル <i>Saimiri boliviensis</i>	メス 1	2014年11月27日 (出園)	鹿児島市平川動物公園
フサオマキザル <i>Sapajus apella</i>	メス 2	2014年11月27日 (出園)	鹿児島市平川動物公園
アビシニアコロブス <i>Colobus guereza</i>	メス 1	2014年11月27日 (出園)	鹿児島市平川動物公園
マンドリル <i>Mandrillus sphinx</i>	メス 1	2015年6月23日 (出園)	おびひろ動物園
マンドリル <i>Mandrillus sphinx</i>	オス 1	2015年6月23日 (出園)	札幌市円山動物園
ワオキツネザル <i>Lemur catta</i>	メス 1	2015年6月29日 (熊本市動植物園にて出生)	熊本市動植物園
コモンマーモセット <i>Callithrix jacchus</i>	オス 1	2015年10月13日 (出園)	浜松市動物園
ワオキツネザル <i>Lemur catta</i>	オス 10	2015年10月19日 (出園)	NIFREL

種名	個体数	出園日 / 誕生日	現飼育施設
マンドリル <i>Mandrillus sphinx</i>	メス 1	2015年11月24日(出園)	浜松市動物園
ワオキツネザル <i>Lemur catta</i>	オス 1	2016年3月12日 (旭川市旭山動物園にて出生)	旭川市旭山動物園
ワオキツネザル <i>Lemur catta</i>	オス 2	2016年3月16日 (熊本市動植物園にて出生)	熊本市動植物園
アカテタマリン <i>Saguinus midas</i>	オス 1	2016年3月29日(出園)	市川市動植物園
ワオキツネザル <i>Lemur catta</i>	オス 1	2016年4月5日 (神戸どうぶつ王国にて出生)	神戸どうぶつ王国
ワオキツネザル <i>Lemur catta</i>	メス 1	2016年4月5日 (神戸どうぶつ王国にて出生)	那須どうぶつ王国
ワオキツネザル <i>Lemur catta</i>	オス 1	2016年6月6日 (熊本市動植物園にて出生)	熊本市動植物園
シロテテナガザル <i>Hylobates lar</i>	オス 1	2016年6月30日(出園)	伊豆シャボテン動物公園
ヨザル <i>Aotus trivirgatus</i>	オス 1	2016年6月30日(出園)	伊豆シャボテン動物公園
コモンマーモセット <i>Callithrix jacchus</i>	オス 1	2016年9月10日(出園)	東京都恩賜上野動物園
ヨザル <i>Aotus trivirgatus</i>	メス 1	2016年9月10日(出園)	東京都恩賜上野動物園
ワオキツネザル <i>Lemur catta</i>	メス 1	2016年10月8日 (神戸どうぶつ王国にて出生)	那須どうぶつ王国
ボウシテナガザル <i>Hylobates pileatus</i>	メス 1	2016年12月9日(出園)	横浜市立よこはま動物園
ワオキツネザル <i>Lemur catta</i>	オス 1	2017年4月3日 (神戸どうぶつ王国にて出生)	神戸どうぶつ王国
ワオキツネザル <i>Lemur catta</i>	オス 1	2018年3月15日 (神戸どうぶつ王国にて出生)	神戸どうぶつ王国
ワオキツネザル <i>Lemur catta</i>	メス 1	2018年3月15日 (神戸どうぶつ王国にて出生)	那須どうぶつ王国
ボリピアリスザル <i>Saimiri boliviensis</i>	メス 1	2018年3月16日(出園)	豊橋総合動植物公園
ワオキツネザル <i>Lemur catta</i>	オス 1	2018年4月14日 (神戸どうぶつ王国にて出生)	神戸どうぶつ王国
マンドリル <i>Mandrillus sphinx</i>	オス 1	2018年8月19日 (浜松市動物園にて出生)	浜松市動物園
ヨザル <i>Aotus trivirgatus</i>	メス 1	2019年1月4日 (伊豆シャボテン動物公園にて出生)	伊豆シャボテン動物公園
ワオキツネザル <i>Lemur catta</i>	オス 4	2019年1月16日(出園)	富士自然動物公園
アカテタマリン <i>Saguinus midas</i>	オス 1	2019年1月31日(出園)	伊豆シャボテン動物公園
コモンマーモセット <i>Callithrix jacchus</i>	メス 1	2019年3月20日(出園)	川崎市夢見ヶ崎動物公園
フクロテナガザル <i>Symphalangus syndactylus</i>	オス 1	2019年11月10日(出園)	鹿児島市平川動物公園
パタスモンキー <i>Erythrocebus patas</i>	オス 1	2020年5月26日(出園)	千葉市動物公園
ハイイロウーリーモンキー <i>Lagothrix cana</i>	メス 2	2020年10月27日(出園)	横浜市立よこはま動物園
フクロテナガザル <i>Symphalangus syndactylus</i>	オス 1	2020年10月27日(出園)	秋田市大森山動物園
ボウシテナガザル <i>Hylobates pileatus</i>	メス 1	2021年1月13日 (横浜市立よこはま動物園にて出生)	横浜市立よこはま動物園
シロテテナガザル <i>Hylobates lar</i>	オス 1	2021年3月27日(出園)	福岡市動植物園
クロシロエリマキキツネザル <i>Varecia variegata</i>	メス 1	2022年11月25日(出園)	仙台市八木山動物公園

(2) 借受動物

種名	個体数	来園日 / 誕生日	来園元
ボウシテナガザル <i>Hylobates pileatus</i>	オス 1	1994年5月19日(来園)	横浜市立野毛山動物園 (帰属は横浜市立よこはま動物園)
シロガオサキ <i>Pithecia pithecia</i>	オス 1	2006年3月17日(来園)	静岡市立日本平動物園
ペルークロクモザル <i>Ateles chamek</i>	メス 1	2010年12月16日(来園)	愛媛県立とべ動物園
クロシロエリマキキツネザル <i>Varecia variegata</i>	メス 1	2011年4月30日(出生)	JMC 生まれ (帰属は静岡市立日本平動物園)
チンパンジー <i>Pan troglodytes</i>	メス 1	2013年6月6日(来園)	豊橋総合動植物公園
フランソワルトン <i>Trachypithecus francoisi</i>	メス 1	2016年4月22日(出生)	JMC 生まれ (帰属は鯖江市西山動物園)
クワキツネザル <i>Eulemur macaco</i>	オス 1	2017年11月8日(来園)	浜松市動物園
フランソワルトン <i>Trachypithecus francoisi</i>	オス 1	2022年11月22日(来園)	横浜市立よこはま動物園

3. 動物の異動

(1) 出園

① 霊長類

交換 1種2頭	内訳：静岡市立日本平動物園	クロミミマーモセット <i>Callithrix penicillata</i>	オス1頭, メス1頭
譲渡 2種5頭	内訳：静岡市立日本平動物園 豊橋総合動植物公園	コモンマーモセット <i>Callithrix jacchus</i>	メス2頭
ブリーディングローン 1種1頭	内訳：仙台市八木山動物公園	ボリビアリスザル <i>Saimiri boliviensis</i>	オス1頭, メス2頭
その他 1種1頭	内訳：東京都恩賜上野動物園	クロシロエリマキキツネザル <i>Varecia variegata</i>	メス1頭
		クロシロエリマキキツネザル <i>Varecia variegata</i> (静岡市立日本平動物園帰属個体)	オス1頭

(2) 来園

① 霊長類

交換 2種3頭	内訳：静岡市立日本平動物園 静岡市立日本平動物園	クロミミマーモセット <i>Callithrix penicillata</i>	オス1頭, メス1頭
		アビシニアコロボス <i>Colobus guereza</i> (東京都恩賜上野動物園帰属個体)	オス1頭
ブリーディングローン 1種1頭	内訳：横浜市立よこはま動物園	フランソワルトン <i>Trachypithecus francoisi</i>	オス1頭

(3) 出産 (現存・死亡は2023年3月31日現在)

種名	学名	出産	現存	死亡	流産	備考
ボリビアリスザル	<i>Saimiri boliviensis</i>	1	1	0	0	自然哺育
ヤクシマザル	<i>Macaca fuscata yakui</i>	1	1	0	0	自然哺育
計 2種 2頭		2	2	0	0	

(4) 死亡

① 霊長類

種名	学名	死亡
ワオキツネザル	<i>Lemur catta</i>	2
レッサースローロリス	<i>Nycticebus pygmaeus</i>	3
クロミミマーモセット	<i>Callithrix penicillata</i>	2
アカテタマリン	<i>Saguinus midas</i>	1
ヨザル	<i>Aotus sp.</i>	1
ボリビアリスザル	<i>Saimiri boliviensis</i>	2
ヤクシマザル	<i>Macaca fuscata yakui</i>	5
カニクイザル	<i>Macaca fascicularis</i>	5
タイワンザル	<i>Macaca cyclopis</i>	1
トクモンキー	<i>Macaca sinica</i>	1
ボンネットモンキー	<i>Macaca radiata</i>	1
バーバリーマカク	<i>Macaca sylvanus</i>	1
アヌビスヒビ	<i>Papio anubis</i>	1
マントヒビ	<i>Papio hamadryas</i>	1
マンドリル	<i>Mandrillus sphinx</i>	2
パタスモンキー	<i>Erythrocebus patas</i>	1
シルバールトン	<i>Trachypithecus cristata</i>	2
フランソワルトン	<i>Trachypithecus francoisi</i>	1
シロテテナガザル	<i>Hylobates lar</i>	1
計 19種		34

② 霊長類以外の動物

種名	学名	死亡
モルモット	<i>Cavia porcellus</i>	1
ウサギ	<i>Oryctolagus cuniculus</i>	1
レッドコロソマ	<i>Piaractus brachypomum</i>	1
計 3種		3

4. 高齢動物（年齢は2023年3月31日現在）

種名	個体名	性別	年齢	摘要
ワオキツネザル <i>Lemur catta</i>	レイコ	メス	31	1991/4/2 生
ヨザル <i>Aotus</i> sp.	ザザ	メス	32	1990/6/7 生
フサオマキザル <i>Sapajus apella</i>	トム	オス	30	1992/4/4 生
コロンビアクロクモザル <i>Ateles fuscipes</i>	アイレス	メス	38	1985/3/22 生
ジェフロイクモザル <i>Ateles geoffroyi</i>	レイコ	メス	37	1985/4/5 生
ジェフロイクモザル <i>Ateles geoffroyi</i>	チロ	メス	31	1991/7/21 生
クモザル（種間交雑） <i>Ateles hybrid</i>	オバケ	メス	48 以上	1974/6/27 来園
クモザル（種間交雑） <i>Ateles hybrid</i>	エマ	メス	32	1990/11/14 生
バーバリーマカク <i>Macaca sylvanus</i>	リン	メス	31 以上	1991/12/19 来園
バーバリーマカク <i>Macaca sylvanus</i>	チェン	メス	31 以上	1991/12/19 来園
シシオザル <i>Macaca silenus</i>	ドウ	メス	33 以上	1989/6/22 来園
ミナミブタオザル <i>Macaca nemestrina</i>	ルイ	オス	32 以上	1991/3/19 来園
ミナミブタオザル <i>Macaca nemestrina</i>	マリー	メス	32 以上	1991/3/19 来園
カニクイザル <i>Macaca fascicularis</i>	モズク	メス	38	1985/3/19 生
カニクイザル <i>Macaca fascicularis</i>	ツムギ	メス	36	1986/4/13 生
カニクイザル <i>Macaca fascicularis</i>	モン	メス	34	1988/7/16 生
カニクイザル <i>Macaca fascicularis</i>	アジャリ	オス	33	1990/3/12 生
カニクイザル <i>Macaca fascicularis</i>	モルゴ	オス	32	1990/4/24 生
カニクイザル <i>Macaca fascicularis</i>	モンペ	メス	30	1992/4/23 生
カニクイザル <i>Macaca fascicularis</i>	モナリザ	メス	30	1992/6/23 生
ヤクシマザル <i>Macaca fuscata yakui</i>	ウグイス	オス	31	1991/4/27 生
ヤクシマザル <i>Macaca fuscata yakui</i>	タイマイ	オス	31	1991/6/9 生
アヌビスヒヒ <i>Papio anubis</i>	ゾヘ	メス	32	1990/9/5 生
アヌビスヒヒ <i>Papio anubis</i>	ナレル	メス	31	1990/9/5 生
ゴールデンマンガベイ <i>Cercocebus chrysogaster</i>	リート	オス	32	1990/11/27 生
ベルベットモンキー <i>Chrolocebus pygerythrus</i>	シン	メス	35 以上	1988/12/15 来園
ボウシテナガザル <i>Hylobates pileatus</i>	ドント	オス	推定 55	1969 年推定 2 歳で日本平へ入園 1994/5/19 来園
ニシゴリラ <i>Gorilla gorilla</i>	タロウ	オス	49	1973/4/20 生
チンパンジー <i>Pan troglodytes</i>	フジコ	メス	推定 52	1971 年出生と推定 1983/6/13 来園
チンパンジー <i>Pan troglodytes</i>	アキラ	オス	推定 42	1980 年出生と推定 1987/7/2 来園

5. 獣医療

(1) 年間診療件数

入院	262 件	退院	243 件
麻酔	331 件	外科手術	119 件
歯科処置	34 件	避妊処置（インプラント）	66 件
補液・注射	965 件	避妊処置（インプロバック）	30 件
外用薬塗布	24 件	洗浄・消毒	55 件
マイクロチップ挿入	3 件	マイクロチップ確認	176 件
検便	208 件	検尿	82 件
X線検査	88 件	血液検査	63 件
エコー検査	91 件	外注検査	3 件
薬処方	1,821 件		
		総診察数	3,743 件

6. 動物の給餌量（園全体、購入分のみ、2023年3月31日現在）

品目	週間給餌量	品目	週間給餌量	品目	週間給餌量	品目	週間給餌量
白菜	17.5kg	トマト	38.5kg	リンゴ	231.7kg	パン	29斤
生ニンジン	248.8kg	生サツマイモ	511.9kg	バナナ	235.6kg	卵	287個
蒸ニンジン	162.2kg	蒸サツマイモ	184.8kg	ミカン	53.9kg	コオロギ	700匹
						固形飼料	150kg

カットフルーツ・カット野菜

品目	週間給餌量	品目	週間給餌量
パイナップル(芯)	561kg	外葉	698kg
オレンジ(芯)	68kg	カボチャ	121kg

7. 月別入場人員数

入園区分	有料		無料	合計	前年比	開園日数	休園日
	一般	団体					
2022年4月	5,787	610	1,377	7,774	119.9%	22日	火曜・水曜
5月	12,484	889	2,219	15,592	164.8%	24日	火曜・水曜（5/3-4は開園）
6月	4,139	878	1,160	6,177	124.6%	21日	火曜・水曜
7月	2,305	98	833	3,236	87.8%	16日	火曜・水曜・7/1・7/4-8・7/11-15
8月	4,023	35	994	5,052	147.8%	23日	火曜・水曜（8/10・8/17は開園）
9月	3,887	977	1,039	5,903	119.2%	21日	火曜・水曜（9/19は台風のため臨時休園）
10月	7,959	3,066	1,924	12,949	99.9%	27日	火曜
11月	6,013	2,284	1,556	9,853	79.2%	25日	火曜
12月	4,578	285	956	5,819	74.8%	23日	火曜・水曜（12/24は雪のため午前休園）
2023年1月	6,248	30	1,183	7,461	107.4%	15日	1/10-13・1/16-20・1/23-27・1-30-31
2月	3,616	113	916	4,645	129.1%	14日	2/1-3・2/6-10・2/13-15・2/21-22・2/28
3月	6,322	830	1,387	8,539	101.0%	24日	火曜・水曜（3/21・3/29は開園）
合計	67,361	10,095	15,544	93,000	109.2%	255日	

（参考）過去の年間入場者数の推移（2013年度までの数値は遊園地日本モンキーパークとの総計）

年度	入場人員	年度	入場人員	年度	入場人員	年度	入場人員
2002年	798,353	2007年	773,256	2012年	562,465	2017年	112,965
2003年	711,889	2008年	725,870	2013年	548,045	2018年	107,841
2004年	776,068	2009年	604,306	2014年	147,523	2019年	104,868
2005年	594,590	2010年	595,391	2015年	154,378	2020年	66,668
2006年	734,906	2011年	560,920	2016年	118,113	2021年	85,141

8. 土地・主な施設および設備の一覧と変動

〈土地〉 (2023年3月31日現在)

地区名	面積 (m ²)
官林地区	173,480.04
栗栖地区	6,153.62
小野洞地区	759,061.22

〈施設・設備〉 (2023年3月31日現在)

施設名	構造	面積 (m ²)	建設・変動年
動物園管理事務所	鉄筋コンクリート2階造	565.5	平成15年
飼料調理倉庫	鉄骨造	64.8	平成15年
動物園出改札詰め所	鉄骨造	50.4	平成15年
ビジターセンター	鉄筋コンクリート造	860	平成元年
ベビールーム	ブロック積鉄柱梁組サイドボード張コロニアル葺造	16.24	平成10年
Waoランドmini	ステンレス檻 木造寝室 木造デッキ	35.1	平成21年
マダガスカル館	鉄筋コンクリート造(建物) 芝張り、硝子、電気柵(島)	193 235	平成13年
アフリカ館	鉄骨ブロック造	446	昭和39年
南米館	鉄筋コンクリート2階造	480	昭和41年
南米館用バコティンヒーター室	上屋鉄骨組ルーフデッキ葺 サイディングボード張りスレート葺造	9.25	平成10年
ボイラー室と変電室(旧モンキーアパート関係)	鉄骨ブロック造	49	昭和38年
アジア館	鉄筋コンクリート造	375	昭和53年
Waoランド	木造 ブロック積 水張り 電柵併用	1,000	平成17年
アフリカセンター	鉄筋コンクリート造	2,240	昭和55年
トイレ(アフリカセンター)	鉄筋コンクリート造	60	昭和55年
障害者用トイレ(アフリカセンター前)	鉄筋ALC張切板葺	10.2	平成15年
セミナーハウス白帝	鉄筋コンクリート平屋建造	261	昭和39年
駐車場			平成15年
屋外収容棟	鉄骨金網張り造	129.6	平成9年
収容棟	ルーフデッキ葺造	71.28	平成9年
診療および資料棟	ブロック積鉄柱梁組サイディングボード張 ルーフデッキ葺造	217.74	平成9年
検疫棟	ルーフデッキ葺造	91.08	平成9年
標本作成棟	ルーフデッキ葺造	18.5	平成9年
資材倉庫	プレハブ造	17	平成9年
焼却炉	プレハブ造	7.3	平成27年
ニホンザルの丘	放養式フェンス、電気柵造	1,647	平成23年
ヒビの城	放養式鉄筋コンクリート造	415	平成15年
モンキーバレイ	放養式フェンス電気柵造	3,321.7	平成9年
エコドーム寝室	鉄筋コンクリート造	45	平成3年
休憩所(エコドーム横)	鉄筋組ルーフデッキ葺造	85.8	平成3年
リスザルの島	鉄筋コンクリート水張り造	1,507	昭和37年
テナガ・クモザルの島	鉄筋コンクリート石積水張造一部電柵併用	1,500	平成9年
ギボンハウス	鉄筋強度セメント中空押出整形張 ALC葺シート防水SOS メッシュ張造2棟	164.4 ×2棟	平成6年
無料休憩所	鉄骨2階造	166.87	昭和55年
くすのきの森	透水路路面工法 トレーラーハウス カーポート付デッキ 軽量鉄骨造休憩室	568	平成27年
トイレ(くすのきの森横)	鉄筋コンクリートコロニアル葺造	36	平成28年
営繕小屋	鉄骨造	36	平成30年
ビジターセンター裏スタッフ詰所	プレハブ造	20	令和2年
おでかけタマリン	鉄骨造		令和2年
バックヤードおひさまエリア	鉄骨金網張り造		令和3年
新アフリカ館 原野と森の家	鉄骨造	2,860	令和4年

9. 施設配置図



- | | | |
|----------------|--------------|--------------------|
| 1 管理事務所 | 18 セミナーハウス白帝 | 36 エコドーム |
| 2 飼料倉庫 | 19 駐車場 | 37 リスザルの島 |
| 3 資材倉庫 | 20 倉庫 | 38 テナガ・クモザルの島 |
| 4 ガレージ | 21 倉庫 | 39 ギボンハウス 2 |
| 5 ポンプ場 | 22 ポンプ場 | 40 ギボンハウス 1 |
| 6 モニュメント | 23 屋外収容棟 | 41 トイレ |
| 7 動物園正門出札 | 24 収容棟 | 42 楽猿（レストラン） |
| 8 ビジターセンター | 25 診療棟および資料棟 | 43 無料休憩所 |
| 9 Wao ランド mini | 26 検疫棟 | 44 モンキーバー（軽食） |
| 10 マダガスカル館 | 28 資料作成室 | 45 くすのきの森 |
| 11 アフリカ館 | 30 焼却炉 | 46 トイレ |
| 12 南米館 | 31 猿塚 | 47 宮繕小屋 |
| 13 ボイラー室 | 32 ポンプ場 | 48 ビジターセンター裏スタッフ詰所 |
| 14 アジア館 | 33 ニホンザルの丘 | 49 おひさまエリア |
| 15 Wao ランド | 34 ヒヒの城 | 50 おでかけタマリン |
| 16 アフリカセンター | 35 駐車場 | 51 新アフリカ館『原野と森の家』 |
| 17 トイレ | | |

10. 主な施設新設・改修工事

(1) 新アフリカ館 原野と森の家 追加工事
 期間：2022年5月11日～2022年11月28日
 (株式会社シンエイライフ、安達建築株式会社、所沢建築)

(2) リスザルの島 デッキ改修
 期間：2022年7月11日～2022年8月13日
 (株式会社安江工務店)
 備考：一般財団法人日本宝くじ協会
 令和4年度公益法人等が行う公益事業への助成
 対象事業
 事業名：博物館/動物園における教育普及の
 ための展示施設整備
 助成額：7,040,000円

(3) モンキーバー裏 キュービクル新設工事
 期間：2022年8月29日～2022年10月11日
 (株式会社フジサービス)

(4) ソーラーパネル 設置工事
 期間：2022年9月12日～2023年2月28日
 (株式会社フジサービス、グレー株式会社)

(5) 園内看板貼り替え
 日程：2023年3月28日
 (株式会社白帝社)
 備考：株式会社モンベル
 寄付つきTシャツの寄附金を使用

(6) 新アフリカ館 新井戸掘削工事
 期間：2023年3月28日～
 (所沢建築、株式会社中央住設)

11. 施設修繕(業者工事)

2022年4月8日 南米館ガスボイラー部品交換修理(ヒラカワ)
 4月19日 アフリカセンター屋内運動場交換/
 冷凍庫修理(文化電気)
 4月20日 ヒヒの城 FA 暖房部品交換(泉商店)
 4月25～26日 駐車場危険木伐採(ハウス工房)
 4月27日 アジア館窓ガラス交換(橋爪ガラス)
 5月24日 バックヤード収容棟改修工事(所沢建築)
 5月28日 マダガスカル館分電盤内ヒューズ交換
 (文化電気)
 6月2日 バックヤード収容棟改修工事(所沢建築)
 6月20日 アフリカ館照明器具交換(文化電気)
 6月20日、26日 くすのきの森メインハウスエアコン修理
 (文化電気)
 6月30日 バックヤード収容棟エアコン交換工事
 (文化電気)
 7月1日 Wao ランドエアコン交換(文化電気)
 7月5日 クモザル・テナガの島電柵不良復旧(文化電気)
 7月11,12日 アフリカセンター寝室扉修理(所沢建築)
 7月12日 ゲート横駐車場周辺の危険木伐採(ハウス工房)
 7月13日 リスザルの島前路面補修(安江工務店)
 7月20日 バックヤード収容棟エアコン修理(ダイキン)
 7月25日 駐車場マンホールとアフリカセンター
 トイレ排配管清掃(リンエイ)

7月27日 ビジターセンター周辺危険木伐採(ハウス工房)
 8月1日、18日 ゲート横トイレ鍵修理(ハウス工房)
 8月6日 アジア館蛍光灯交換(文化電気)
 8月6日 アフリカセンター水道タイマー修理(文化電気)
 8月8日 アジア館寝室蛍光灯交換(文化電気)
 8月9日 マダガスカル館エアコン修理(東芝)
 8月18日 駐車場と外周通路危険木伐採(ハウス工房)
 8月19日 駐車場の木の伐採(NTTシーキューブ)
 8月22日 南米館冷蔵庫修理(文化電気)
 8月26日 ワゴン車バッテリー交換
 (アクセスコーポレーション)
 8月30日 アジア館放飼場扉交換(所沢建築)
 9月6日 モンキーバレイ東側フェンス内
 スズメバチの巣駆除(マルヨ住設)
 9月8～9日 エアコン(Wao ランド mini、隔離舎、
 バックヤード収容棟)、蛍光灯交換
 (アフリカセンター) 工事(文化電気)
 9月20日 リスザルの島給水バルブ修理(有川設備)
 9月21日、22日、27日 リスザルの島杭設置工事(安江工務店)
 10月7日 南米館ガス暖房機センサー交換(ヒラカワ)
 10月8日 南米館ガス暖房修理(ヒラカワ)
 10月11日 ヒヒの城 FA 暖房修理(泉商店)
 10月21日 アジア館ポンプ修理、ビジター裏ポンプ
 調整(竹下電気)
 10月25日 南米館中型寝室扉ガラス交換(橋爪ガラス)
 10月31日 モンキーパーク(ニルスゾーン) ポンプ
 交換(リンエイ)
 11月2日 ビジターセンター裏ポンプ調整(有川設備)
 11月4日 飼料倉車給湯器取り換え工事(イワタニ東海)
 11月8日 アジア館排水溝詰まり取り(リンエイ)
 11月12～17日 駐車場交通事故破損箇所修復工事(保安企画)
 12月5日 ビジターセンター裏ポンプ加圧センサー
 交換工事(有川設備)
 12月12日 ヒヒの城エアコン壁リモコン取り換え工事
 (文化電気)
 12月19日 リスザルの島の前手洗い場凍結による漏水
 箇所修理(有川設備)
 2023年1月12日 ビジターセンター裏ポンプパッキン交換
 (有川設備)
 1月26日 バックヤード隔離舎エアコン交換(文化電気)
 1月31日、2月3日 ヒヒの城エアコン基盤交換(ダイキン)
 2月1日 アフリカセンター周辺木剪定(ハウス工房)
 2月1日～7日 楽猿天井雨漏り工事(ハウス工房)
 2月3日 ヒヒの城寝室エアコン基盤交換(ダイキン)
 2月27日 アフリカセンターエアハンドリング
 ユニット交換修理(渡辺工業)
 3月11日、22日 楽猿テラス屋根テント破損箇所交換工事
 (ブライトサイン)
 3月16日 バックヤード解剖室蛍光灯交換(文化電気)
 3月27日、29日 Wao ランド寝室エアコン交換(文化電気)

12. 施設修繕（自営作業、溶接など一部のみ）

2022年4月5日
 エコドーム寝室溶接
 4月13日 アフリカ館シュート取っ手溶接
 4月20日 アフリカ館放飼場檻溶接
 4月20日、27日
 Wao ランド観覧デッキ交換と整備
 4月20日 ビッグループ放飼場デッキ補修
 4月27日 アジア館窓ガラス部分 鉄板溶接

 4月29日 リスザルの島観覧デッキ補修
 5月5日、30日
 リスザルの島 デッキ交換
 5月7日 アフリカセンター寝室油圧扉修理
 5月10日 バックヤード隔離舎ケージにL字金折溶接
 5月11日 アフリカ館屋外放飼場溶接
 5月13日 南米館ホールシュート補修
 5月31日 ヒヒの城 水道配管補修
 6月4日 モンキーバレイフェンス下コンクリート補修、土留め増設
 6月4日 バックヤード収容棟壁付ケージ外れ溶接
 6月7日、9日 ヨザル神社鳥居撤去
 6月17日 アジア館放飼場溶接外れ補修
 6月17日 ヒヒの城寝室ラッチ、寝室間シュート溶接
 6月17日 ニホンザルの丘放飼場整備フェンス補修用ステンレス檻溶接・取り付け
 6月19日 モンキーバレイ消毒液の土台溶接修繕
 6月22日 エコドーム屋内天井フェンス補修
 6月24日 エコドーム屋内フェンス補修
 6月27日～30日、7月2日～11日
 リスザルの島 観覧デッキ撤去
 7月1日 アジア館シュート内側鉄板補修
 7月2日 ニホンザルの丘寝室ケージ修理
 7月6日 アフリカ館シュート取っ手溶接
 7月10日～14日
 マダガスカル館池掃除
 7月10日、19～20日
 リスザルの島寝室に小運動場用ケージ作成
 7月13日 アフリカ館屋外放飼場檻溶接
 7月13日 ヒヒの城副室窓格子溶接
 7月22日 Wao ランド観覧デッキ補修
 8月3日 バックヤードおひさまエリア溶接
 8月17日 テナガ舎シュート補修
 8月22日 ニホンザルの丘デッキ下改修（ベンチ作製）
 8月27日 南米館中型シュートおよび放飼場檻溶接補修
 8月30日 Wao ランド観覧デッキ交換
 8月31日 アフリカセンター予備室シュート戸袋修繕
 9月6日 バックヤード屋外収容棟溶接外れ補修
 9月7日 南米館中型運動場檻溶接
 9月16日 アフリカセンター屋内運動場天井部分ダクトの支柱補修
 9月22日 エコドーム溶接外れ補修
 9月24日 エコドームシュート補修
 9月25日 エコドーム放飼場補修
 9月25日 テナガ舎寝室天井補修
 9月29日 バックヤード屋外収容棟溶接
 10月11日、15日～16日、11月3日～30日
 新アフリカ館垂木アングル溶接
 10月14日 バックヤード屋外収容棟溶接外れ補修

10月19日 ヒヒの城寝室シュートチェーンのガイドパイプ溶接作業
 10月30日 アジア館屋外檻溶接
 11月2～3日 Wao ランドデッキ補修
 11月15日 アフリカ館屋外運動場フェンス溶接
 11月20日 モンキーバレイ土留め補修
 11月23日 モンキーバレイフェンス補修
 12月7日、16日、18日
 Wao ランドデッキ補修
 12月11日 バックヤード小型ケージ2台溶接修繕
 12月13日 テナガ・クモザルの池水中電柵支柱土台交換
 12月18日 アフリカセンター寝室油圧修理
 12月18～27日
 南米館中型シュート破損修繕
 12月19日、27日
 南米館中型シュート作成、溶接設置
 12月24日 新アフリカ館寝室上部シュート取っ手取り付け
 2023年1月1日
 クモザルの島 寝室シュート補修
 1月8日、14～15日
 アフリカ館蛍光灯カバー溶接作成
 1月9日 アフリカ館シュート持ち手、檻溶接
 1月13日 南米館中型シュート溶接
 1月19日 モンキーバレイ 石上げ
 2月12日、14日
 ギボンハウスシュートスクイズ設置
 2月14日 モンキーバレイ 石上げ
 2月17日、28日
 ヒヒの城寝室シュート取っ手溶接
 3月1日、8日 ギボンハウスシュートヘスクイズ設置と補修
 3月1～2日、8日
 ヒヒの城寝室間シュート扉溶接
 3月2日 モンキーバレイ東側放飼場整備
 3月7日 Wao ランド屋根補修
 3月16日 エコドーム寝室天井補修
 3月22日 Wao ランド観覧デッキ交換

13. 設備点検

2022年4月19日
 簡易専用水道検査
 4月26日 事務所ガス点検（イワタニ東海）
 5月23日 ビジターセンター自動ドア定期検査（ナブコドア）
 6月14日 電気設備点検（中部電気保安協会）
 6月28日 消防設備点検（ALSOK）
 8月1日 バックヤード外部放射線による線量当量率測定（テクノ中部）
 9月27日 アフリカセンター、南米館ガス暖房タンク点検（名古屋プロパン瓦斯）
 9月28日～30日
 FA 暖房点検（泉商店）
 10月6日 南米館ガス暖房機点検（渡辺工業）
 12月27日 消防設備点検（ALSOK）
 2023年2月7日
 バックヤード外部放射線による線量当量率測定（テクノ中部）

14. その他諸手続き

- (1) 動物愛護管理法関係（愛知県動物愛護センター）
- ① 特定動物飼養・保管増減届出書（2021年度1月～3月分）の提出 2022年4月
 - ② 第一種動物取扱業変更届出書の提出 2022年7月
 - ③ 特定動物飼養・保管増減届出書（2022年度4月～6月分）の提出 2022年7月
 - ④ 特定動物飼養・保管許可申請の提出（新アフリカ館6種） 2022年10月
 - ⑤ 特定動物飼養・保管増減届出書（2022年度7月～9月分）の提出 2022年10月
 - ⑥ 特定動物飼養・保管増減届出書（2022年度10月～12月分）の提出 2023年1月
- (2) 外来生物法関係（環境省中部地方環境事務所）
- ① 特定外来生物飼養飼養状況届出書の提出 2022年7月
- (3) 感染症法関係（厚生労働省・農林水産省）
- ① 輸入サル飼育施設指定申請書の提出 2022年8月
- (4) 麻薬及び向精神薬取締法関係（江南保健所）
- ① 麻薬施用者免許更新申請の提出 2022年10月
 - ② 令和4年度麻薬管理者免許・麻薬研究者免許年間麻薬譲渡・譲受届の提出 2022年10月
 - ③ 年間向精神薬輸入・輸出・製造届の提出 2023年2月
- (5) 銃砲刀剣類所持等取締法関係（犬山警察署）
- ① 麻醉銃所持者変更手続き書類一式の提出 2022年4月
 - ② 麻醉銃所持許可申請の提出 2022年11月
 - ③ 麻醉銃検査 2022年5月、2023年2月
- (6) 家畜伝染病予防法関係（愛知西部家畜保健衛生所尾張支所）
- ① 令和4年度定期報告書の提出 2022年4月
 - ② 令和5年度定期報告書の提出 2023年2月
- (7) 消防法関係（犬山市消防本部）
- ① 消防計画作成（変更）届等の提出 2022年4月

(8) 研究会、講演会の開催

1. 研究会の開催

(1) 第67回プリマーテス研究会の開催

日程：2023年2月26日

会場：ビジターセンターホール、特別展示室ほか

参加者：会場参加70名

内容：口頭発表9題

ポスター発表13題

発表賞：

最優秀中高生口頭発表賞

関舞子・林美花（愛知県立明和高等学校）

優秀中高生ポスター発表賞

川上若葉（関西大倉高等学校）・梶六花（関西大倉高等学校）・山口隼（関西大倉高等学校）・鈴木空翔（大阪府立北野高等学校）・本田克樹（大阪府立北野高等学校）

関口遥・渡辺葵（南山高等学校・中学校女子部科学実践活動霊長類学入門）

特別奨励賞

田中莉理子（各務原市立鵜沼第三小学校）

プログラム

10:00 受付開始

10:25 開会

10:30～11:30 口頭発表①

O-1 オンラインでのアウトリーチ活動と環境教育の可能性について

村松明穂（京都大学高等研究院）

O-2 日本モンキーセンター飼育霊長類標本データベース（Caprico）：公開10年を経過しての課題

新宅勇太^{1,2}（¹ 京都大学野生動物研究センター、² 公益財団法人日本モンキーセンター）

O-3 飼育ジェフロイクモザルの尾の使い方と集団コミュニケーションについて

関舞子、林美花（愛知県立明和高等学校）

O-4 ワカモノ期のチンパンジーの親離れ

寺尾彰人（東山中学校）

13:00～14:00 ポスター発表

14:15～15:30 口頭発表②

O-5 京都・善気山におけるニホンジカの日周活動パターン
田和優子¹、山梨裕美¹、久山喜久雄²（¹ 京都市動物園生き物・学び・研究センター、² フィールドソサイエティ）

- O-6 A preliminary comparison of time budgets and behavior patterns in brown capuchin monkeys (*Sapajus apella*) at Kyoto City Zoo and Japan Monkey Centre
Peini Chen¹, Zhihong Xu², Misato Hayashi^{3,4}, Rie Akami⁴, Koshiro Watanuki^{2,4}, Yumi Yamanashi^{2,5}, Andrew J. J. MacIntosh² (¹Faculty of Science, Kyoto University, ²Wildlife Research Center, Kyoto University, ³Chubu Gakuin University, ⁴Japan Monkey Centre, ⁵Kyoto City Zoo)
- O-7 The impact of tourist visits on mountain gorilla behavior in Uganda
Raquel Costa^{1,2} (¹JSPS Postdoc fellow, ²Japan Monkey Centre)
- O-8 霊長類学から見たヒトの子どもの言語発達
林美里^{1,2} (¹公益財団法人日本モンキーセンター, ²中部学院大学教育学部)
- O-9 房総半島におけるマカク外来種の交雑モニタリングの近況
川本芳¹, 羽山伸一¹, 山川央², 白井啓³, 岡野美佐夫³, 近藤竜明³, 加藤敬介³, 白鳥大祐⁴ (¹日本獣医生命科学大学, ²かずさDNA研究所, ³野生動物保護管理事務所, ⁴猴森)
- ポスター発表
- P-1 日本モンキーセンターにおけるマンドリルの群れ管理について
阿野隆平¹, 星野智紀¹, 田中ちぐさ¹, 廣澤麻里^{1,2}, 綿貫宏史朗^{1,2} (¹公益財団法人日本モンキーセンター, ²京都大学野生動物研究センター)
- P-2 モンキーキャンパス受講生有志による屋久島研修ツアー
石樽玲子¹, 中野洋二郎¹, 加藤美知子¹, 杉本賢治¹, 福岡雅¹, 土性亮賀², 赤見理恵² (¹日本モンキーセンター友の会, ²公益財団法人日本モンキーセンター)
- P-3 飼育下の子キリンにおける社会的行動の傾向の変化
川上若葉¹, 梶六花¹, 山口隼¹, 鈴木空翔², 本田克樹², 川村康太郎³, 岩井宏平³, 池山睦衛⁴, 徳山奈帆子⁵, 山本真也^{5,6} (¹関西大倉高等学校, ²大阪府立北野高等学校, ³京都大学農学部, ⁴京都大学法学部, ⁵京都大学野生動物研究センター, ⁶京都大学高等研究院)
- P-4 カモの最適な生活環境に関する考察
木村ななみ¹, 清水郁未², 中井悠人², 森純怜², 渡邊萌衣², 迫田祐樹³, 村上聡³, 徳山奈帆子⁴, 山本真也^{4,5} (¹大阪府立北野高等学校, ²関西大倉高等学校, ³京都大学農学部, ⁴京都大学野生動物研究センター, ⁵京都大学高等研究院)
- P-5 ミーアキョットの見張り行動と周囲環境との関係
小林亜美¹, 齋藤華¹, 高月美乃里¹, 中島彩希², 横尾凜子², 権藤岳³, チンペイニ⁴, 徳山奈帆子⁵, 山本真也^{5,6} (¹関西大倉高等学校, ²大阪府立北野高等学校, ³京都大学大学院医学研究科, ⁴京都大学理学部, ⁵京都大学野生動物研究センター, ⁶京都大学高等研究院)
- P-6 国内動物園・水族館におけるクラウドファンディングを通じた動物観の表出と資金調達の現況
白井孝典 (日本モンキーセンター友の会)
- P-7 「リスザルの島」における家系間の親密度
関口遥, 渡辺葵 (南山高等学校・中学校女子部科学研究実践活動霊長類学入門)
- P-8 犬山市北部およびその周辺における野生哺乳類の分布状況について
武田康祐 (公益財団法人日本モンキーセンター)
- P-9 ワオキツネザルとフサオマキザルの行動観察
田中莉理子 (各務原市立鶴沼第三小学校)
- P-10 テナガザル iPS 細胞の樹立と胚芽細胞分化誘導法の検討
濱寄裕介, 今村公紀 (京都大学ヒト行動進化研究センター)
- P-11 長生きしてねタロウさん！エンリッチメントサークルの軌跡
林直弘¹, 中村千晶¹, 倉持淳子¹, 水野礼子¹, 綿貫宏史朗² (¹日本モンキーセンター友の会, ²公益財団法人日本モンキーセンター)
- P-12 「リスザルの島」におけるボリビアリスザルの植物利用
向田結愛 (南山高等学校・中学校女子部科学研究実践活動霊長類学入門)
- P-13 日本のオランウータン飼育史
綿貫宏史朗^{1,2} (¹京都大学野生動物研究センター, ²公益財団法人日本モンキーセンター)

2. 講演会の開催

- (1) 卯年講演会「野生のウサギの知られざる生活」
日程：2023年1月8日
講師：山田文雄
(沖縄大学客員教授・沖縄大学地域研究所特別研究員)
会場：ビジターセンターホール
(Zoomによるオンライン配信併用)
- (2) 特別展関連講演会「植物学者がいく ジャングル探検記」
日程：2023年3月26日
講師：湯本貴和 (ナチュラリスト・京都大学名誉教授)
会場：ビジターセンターホール
(Zoomによるオンライン配信併用)

3. シンポジウムの共催

- (1) 第4回 動物園水族館大学シンポジウム
「動物園・水族館が挑む保全活動」
主催：京都大学野生動物研究センター
日程：2023年3月12日
方式：会場参加・オンライン参加のハイブリッド
会場：キャンパスプラザ京都 (京都府京都市)

(9) 展示、保全、環境教育及び 社会普及活動に関わる人材の育成

1. 京都大学野生動物研究センター実習

- (1) 野生動物・動物園科学基礎論
 内容：レクチャー、飼育実習、標本実習、来園者調査、
 獣医療見学 など
 日程：2022年6月3日～6月5日 6名

2. 飼育研修の受け入れ 計5名

- (1) 東京農工大学
 2022年7月15日～7月28日
 共同獣医学科 6年生 1名
- (2) 福岡 ECO 動物海洋専門学校
 2022年8月8日～8月21日 2年生 1名
- (3) 帝京科学大学
 2022年8月18日～8月31日 3年生 1名
- (4) 名古屋 ECO 動物海洋専門学校
 2022年9月4日～9月17日 2年生 1名
 2023年3月1日～3月14日 1年生 1名

3. 職場体験・インターンシップの受け入れ 計20名

- (1) 扶桑町立扶桑中学校
 2022年6月22日～6月23日 2年生 2名
- (2) 岐阜県立岐阜農林高等学校
 2022年7月23日～7月25日 2年生 1名
 2022年7月28日～7月30日 2年生 2名
 2022年8月4日～8月6日 2年生 2名
- (3) 愛知県立犬山南高等学校
 2022年8月1日 2年生 1名、3年生 1名
 2022年8月25日 1年生 1名
 2022年8月26日 1年生 1名
- (4) 大口町立大口中学校
 2022年9月7日～9月8日 2年生 2名
- (5) 多治見市立小泉中学校
 2022年10月20日～10月21日 2年生 2名
- (6) 各務原市立那加中学校
 2022年11月10日～11月11日 2年生 2名
- (7) 犬山市立東部中学校（職場見学）
 2022年11月10日 2年生 3名

4. 博物館実習の受け入れ 計10名

- (1) 名古屋造形大学
 2022年4月28日～5月9日 4年生 1名
- (2) 都留文科大
 2022年8月6日～8月17日 3年生 1名
- (3) 岐阜大学
 2022年8月6日～8月17日 3年生 1名
- (4) 静岡大学
 2022年8月18日～8月29日 3年生 1名
- (5) 名城大学
 2022年8月18日～8月29日 4年生 1名
 2022年10月19日～10月30日 4年生 1名
- (6) 北海道大学
 2022年9月1日～9月12日 修士1年生 1名
- (7) 愛知県立芸術大学
 2022年9月22日～10月5日 4年生 1名
- (8) 東京農業大学
 2022年11月4日～11月14日 4年生 1名
- (9) 東京工芸大学
 2022年11月4日～11月14日 4年生 1名

5. 獣医実習の受け入れ 計1名

- (1) 岡山理科大学
 2022年6月20日～7月3日 獣医学部 5年生 1名

(10) その他

1. 友の会

会員数：1,318名（2023年3月31日時点）
うち、サポート会員 289名
年会費：サポート会員 5,000円以上
大人（高校生以上） 3,000円
小中学生 2,000円
幼児（3才以上） 1,500円
（2023年3月31日まで）

(1) モンキーセンター友の会 NEWS LETTER の発行
Vol. 9-1（通巻第17号） 2022年9月21日 発行
Vol. 9-2（通巻第18号） 2023年3月1日 発行

(2) 友の会のつどいの開催

① 第15回

日程：2022年4月3日 10:30～15:15
方式：ビジターセンターホールでの現地参加
Youtube 同時配信によるオンライン参加 併用
内容：講演「チンパンジーの出産と育児」
伊谷原一（JMC 所長）
新入社員辞令交付
JMC 活動報告
1 期工事完了 新施設紹介 綿貫宏史朗
参加型活動へのお誘い 高野智、星野智紀
バックヤードの施設改修報告 藤森唯
特別ガイドツアー
新施設見学ツアー
綿貫宏史朗、赤見理恵
特別展紹介ツアー 新宅勇太
標本庫見学ツアー 高野智

② 第16回

日程：2022年10月16日 13:00～16:10
方式：ビジターセンターホールでの現地参加
Youtube 同時配信によるオンライン参加 併用
内容：講演「ニホンザルとチンパンジーから学んだこと」
長谷川壽一（東京大学名誉教授、JMC 理事）
JMC 活動報告
クラウドファンディング報告 武田康祐
3年ぶりの海外調査 新宅勇太
リスザルの鳥デッキ改修について 土性亮賀
新アフリカ館ガイドツアー
綿貫宏史朗、赤見理恵

(3) サポーター専用ページの運用

2017年4月1日より運用開始
2022年度中に記事16本を公開

(4) 友の会会員有志による環境整備作業

第1回：2022年5月21日 32名
第2回：2022年6月11日 27名
内容：ビジターセンター周辺の環境整備

2. 日本モンキーセンター団体協賛制度

2022年4月9日より運用開始
協賛団体（2023年3月現在）
天野エンザイム株式会社

3. オンラインサロン「猿分補給」

2021年3月6日より運用開始
登録メンバー数：175名（2023年3月31日時点）
月額会費：1,000円以上
プラットフォーム：
CAMPFIRE
ブログ「飼育の部屋」（2023年9月～）
内容：飼育員による限定記事配信
オンライン交流会の開催など

4. 会議・研修

(1) 令和4年度 PRI-JMC-KS 獣医師合同カンファレンス
（Zoom によるオンライン開催）

① 第1回合同カンファレンス

日程：2022年4月15日
報告：シシオザルのてんかん治療薬について（岡部）
岡部直樹、武田康祐

② 第2回合同カンファレンス

日程：2022年6月3日
報告：カニクイザル消化管腫瘍の手術（岡部）
岡部直樹、武田康祐

③ 第3回合同カンファレンス

日程：2022年7月22日
報告：クロミマーモセット、ヨザルの死亡例（岡部）
岡部直樹、武田康祐

④ 第4回合同カンファレンス

日程：2022年9月2日
報告：アヌビスヒヒの破傷風疑い症例（岡部）
岡部直樹、武田康祐

⑤ 第5回合同カンファレンス

日程：2022年10月21日
報告：マンドリルのパイプカット（岡部）
バーバリーマカクの敗血症症例（武田）
岡部直樹、武田康祐

⑥ 第6回合同カンファレンス

日程：2022年12月9日
報告：ニホンザルの鼠経ヘルニア整復手術（岡部）
岡部直樹、武田康祐

⑦ 第8回合同カンファレンス

日程：2023年3月17日
報告：ニホンザルの骨肉腫に対する断脚手術（岡部）
岡部直樹、武田康祐

(2) 愛知県博物館協会

① 令和4年度愛知県博物館職員等研修会

日程：2022年11月29日
方式：オンライン開催 高野智、江藤彩子

② 第46回東海三県博物館協会研究交流会

日程：2022年12月7日
会場：セラミックパーク MINO（岐阜県多治見市）
高野智

5. その他

(1) 酒類販売管理研修

日程：2022年5月18日

場所：岐阜市文化センター（岐阜県岐阜市） 林美里

(2) あいちサイエンスフェスティバル実行委員会

日程：2022年6月3日

場所：ウインク愛知（愛知県名古屋市） 高野智

(3) 屋久島いきもの調査隊理事会

日程：2022年6月7日

方式：オンライン開催 赤見理恵

(4) アーク溶接講習

日程：2022年7月16日～7月18日

場所：那加クレーンセンター 奥村文彦

(5) サル類の疾病と病理のための研究会役員会

日程：2022年11月11日

方式：オンライン開催 岡部直樹

(6) サル類の取扱者に対する検疫・安全講習会

日程：2022年12月2日

場所：関西国際空港（大阪府泉佐野市） 奥村文彦

(7) 日本動物園水族館教育研究会運営委員会

日程：2023年1月13日

方式：オンライン開催 赤見理恵

(8) 環境省モニタリングサイト1000里地調査全国講習会

日程：2023年1月14日

方式：オンライン開催 赤見理恵

(9) 動物取扱責任者講習

日程：2023年1月24日

方式：春日井市市民会館（愛知県春日井市） 綿貫宏史朗

(10) ボイラー取扱技能講習会

日程：2023年2月20日～2月21日

場所：岐阜県福祉農業会館 廣澤麻里

(11) あいちサイエンスフェスティバル実行委員会

日程：2023年2月22日

方式：オンライン開催 高野智

II 収益事業

(1) 動物園における物品並びに飲食物販事業

1. ミュージアムショップの運営

場所： ビジターセンター内
取扱商品： 書籍、海外民芸品、美術作品、
オリジナル雑貨、菓子類、委託販売品等
新規商品の開発：
ワオしっぽ（ショート・ロング）
動物園イベント関連デザイン商品の開発
（タオル、てぬぐい、トートバッグなど）

2. 他企業との新規商品開発

- (1) 澤田酒造（愛知県常滑市）
オリジナルラベル商品の販売
第2弾：「萌猿」 2022年4月21日～
第3弾：「猿結び」 9月3日～
第1弾：「爛猿」再販 12月1日～
第4弾：「Bone to be wild」 12月25日～
- (2) 柳沢製茶かつき園（鹿児島県志布志市）
オリジナルラベル商品の販売
- (3) swanscafe（愛知県犬山市）
奇跡のミカンを使ったパウンドケーキの販売
（100個限定） 2023年1月28日～

3. 他企業と開発した商品の販売（継続分）

- (1) 株式会社ユニクロ
UTme!にてオリジナルデザイン商品のオンデマンド
販売（衣料品）
- (2) GMOペパボ株式会社
オンラインサイトSUZURIにてオリジナルデザイン
商品のオンデマンド販売（衣料品、スマホケースなど）
- (3) LINE株式会社
クリエイターズスタンプの販売
- (4) 株式会社電通
京都大学野生動物研究センターとコラボした
キーホルダーの販売
- (5) Amazon
Merch by Amazonにてオリジナルデザイン商品の
オンデマンド販売（日・米・独・伊で展開、衣料品）
- (6) 世界のごちそう博物館
コラボによるレトルト食品の販売

4. 自動販売機の設置

オリジナルラッピングを施した自動販売機を
園内15か所に設置

5. YouTube動画配信の収益化

広告およびスーパーチャットの導入

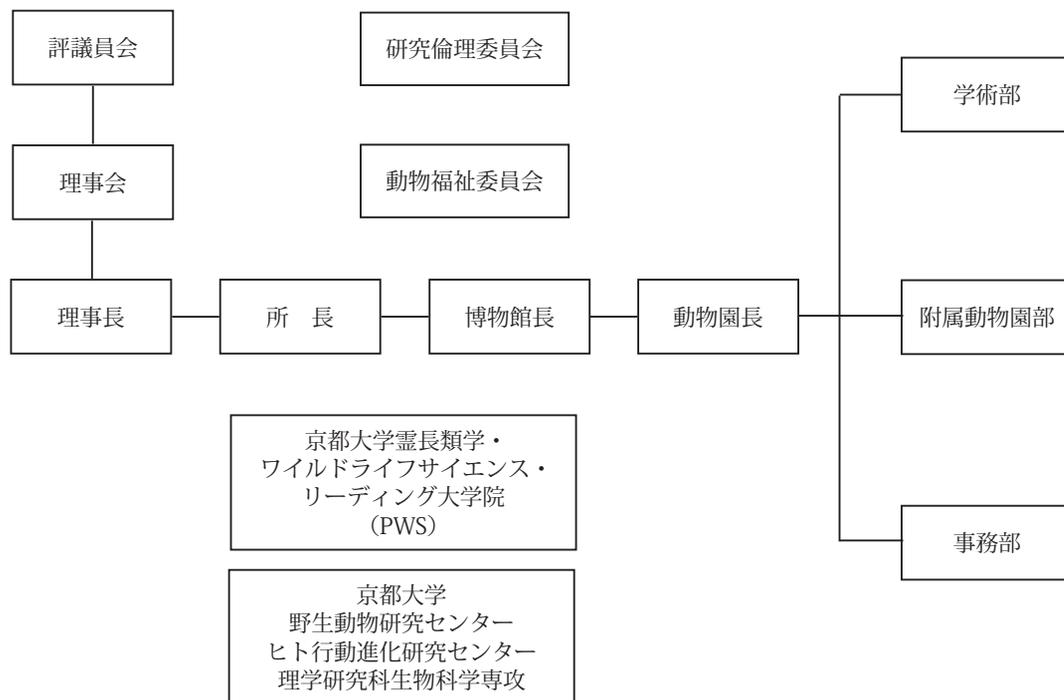
(2) 所有する土地・建物の賃貸事業

1. 犬山市大字犬山字官林他 土地建物
賃貸先：京都大学
目的：サルの飼育・繁殖・観察並びに教育研究
2. 犬山市大字善師野字小野洞他 土地
賃貸先：京都大学
目的：サルの飼育・繁殖・観察並びに教育研究
3. 犬山市大字犬山字官林（JMC管理棟） 建物
賃貸先：京都大学
目的：教育等
4. 犬山市大字犬山字官林（JMC管理棟） 建物
賃貸先：（株）名鉄インプレス
目的：日本モンキーパークの運営
5. 犬山市大字犬山字官林 駐車場施設
賃貸先：（株）名鉄インプレス
目的：駐車場
6. 犬山市大字犬山字官林 土地
賃貸先：グレー株式会社
目的：太陽光発電

III 総務

(1) 組織

1. 組織図 (2023年3月31日現在)



2. 役員 (2023年3月31日現在、50音順、敬称略)

理事長		
尾池 和夫	京都大学名誉教授 静岡県立大学 学長	
常務理事		
伊谷 原一	京都大学野生動物研究センター センター長 日本モンキーセンター 所長	
山極 壽一	総合地球環境学研究所 所長 日本モンキーセンター 博物館長	
湯本 貴和	京都大学名誉教授 日本フードスタディーズカレッジ 学長	
理事		
牛田 一成	中部大学創発学術院 教授	
長谷川 壽一	独立行政法人大学改革支援・学位授与 機構 参与	
古橋 幸長	名古屋鉄道(株) 常務執行役員	
吉川 泰弘	岡山理科大学 獣医学部長	

監事		
中野 雄介	中野公認会計士事務所 所長	
松下 明	名古屋鉄道(株) 常任監査役	
評議員		
今井 啓雄	京都大学ヒト行動進化研究センター 教授	
小川 秀司	中京大学国際教養学部 教授	
黒邊 雅実	名古屋市東山動物園 園長	
川本 祥子	国立遺伝学研究所 准教授	
齋藤 亜矢	京都芸術大学文明哲学研究所 教授	
坂本 英房	京都市動物園 園長	
鷺見 勝彦	(株)名鉄インプレス 社長	
田中 正之	京都市動物園 生き物・学び・研究 センター長	
村山 美穂	京都大学野生動物研究センター 教授	
平田 聡	京都大学野生動物研究センター 教授	

3. 職員（2023年3月31日現在、同日付退職者を含む）

理事長

尾池 和夫（静岡県立大学・学長）

所長・附属動物園長（兼任）

伊谷 原一（京都大学野生動物研究センター・センター長）

博物館長

山極 壽一（総合地球環境学研究所・所長）

国際学術顧問

James R. Anderson（京都大学名誉教授）

学術部長

林 美里（中部学院大学・准教授）

附属動物園部長・キュレーター（兼任）、動物取扱責任者

綿貫 宏史朗（京都大学野生動物研究センター・特定研究員）

学術部

高野 智 キュレーター、標本・資料管理責任者

赤見 理恵 キュレーター、教育責任者

新宅 勇太 キュレーター
（京都大学野生動物研究センター・特定研究員）

友永 雅己 研究員

Raquel Costa 研究員
（日本学術振興会・外国人特別研究員）

江藤 彩子 エデュケーター

阪倉 若菜 エデュケーター

附属動物園部

岡部 直樹 獣医師・病院長
（京都大学野生動物研究センター・特定研究員）

奥村 文彦 動物管理責任者

坂口 真悟 施設・設備管理責任者

田中 ちぐさ 企画責任者

星野 智紀 飼育責任者

阿野 隆平

荒木 謙太

市原 涼輔

浮瀬 百々香

川原 宇翔

鈴木 かさね 植物管理

武田 康祐 獣医師

辻内 祐美

土性 亮賀

廣澤 麻里（京都大学野生動物研究センター・特定研究員）

藤森 唯

堀川 晴喜

宗像 大和

事務部

安倍 由里香

今井 由香

根本 真菜美

大岡 幸男

仙石 久子

大坊 早苗

中野 留美

山首 友理奈

(2) 人事

1. 採用

2022年4月1日付
附属動物園部
川原宇翔
鈴木かさね
祖父江滯
堀川晴喜
宗像大和

2022年6月1日付
学部
友永雅己

2022年8月1日付
事務部
中野留美

2022年10月7日付
事務部
山首友理奈

2022年11月16日付
附属動物園部
森拓斗

2023年3月1日付
附属動物園部
川崎千穂

2023年3月16日付
事務部
木村陽子

2. 就任

2022年4月1日付
附属動物園部長
綿貫宏史朗

3. 退職

2022年7月31日付
附属動物園部
根本慧
舟橋昂
山田将也

2022年10月31日付
附属動物園部
寺尾由美子

2022年12月26日付
附属動物園部
森拓斗

2023年1月31日付
附属動物園部
祖父江滯

2023年3月31日付
学部
附属動物園部
事務部
友永雅己
市原涼輔
中野留美
山首友理奈

4. 退任

2023年3月31日付
理事長
尾池和夫

(3) 総務

1. 理事会、評議員会の開催

(1) 第22回公益財団法人日本モンキーセンター理事会
日程：2022年6月1日

(2) 第11回公益財団法人日本モンキーセンター
定時評議員会
日程：2022年6月22日

(3) 第23回公益財団法人日本モンキーセンター理事会
日程：2022年6月30日（みなし決議）

(4) 第24回公益財団法人日本モンキーセンター理事会
日程：2023年3月8日（みなし決議）

(5) 第12回公益財団法人日本モンキーセンター
臨時評議員会
日程：2023年3月22日（みなし決議）

2. 訓練の実施

(1) 初期消火訓練 2022年6月8日

(2) AED取扱講習 2023年2月15日

(4) 寄附

1. 寄附受領

(1) 寄附金の受入

内訳	金額 (円)
法人寄附	133,412,764
個人寄附	10,169,611
合計	143,582,375

(2) 寄附物品の受領

① 動物用飼料の寄附

年間で 98 品目を受領

② Amazon ほしいものリストの運用

2019 年 4 月 25 日運用開始

③ 中古でもいいからほしいものリストの掲載

2019 年 8 月 20 日開始

④ 愛知東邦大学「東邦プロジェクト A」

有志学生によるクラウドファンディング企画

期間：2023 年 1 月 6 日～1 月 31 日

目標金額：160,000 円

達成金額：196,000 円

2023 年 3 月 28 日 ギボンハウスにエアコンを設置

⑤ その他寄附物品の受領

(3) クラウドファンディング

① デジタルレントゲン撮影機とオートクレーブが欲しい！

期間：2022 年 6 月 1 日～2022 年 7 月 31 日

目標金額：1,500,000 円

支援金額：1,543,000 円

2022 年 6 月 29 日 デジタルレントゲン搬入・設置

2022 年 7 月 13 日 オートクレーブ搬入・設置

(4) れこると大須「日本モンキーセンター支猿プラン」

(株式会社レコファーム)

レンタル農地での農業体験に、収穫した

サツマイモの寄附プランを設定

2022 年 6 月 26 日 作付け

2022 年 11 月 6 日 収穫

令和 4 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」はありません。

令和 5 年 6 月

公益財団法人日本モンキーセンター